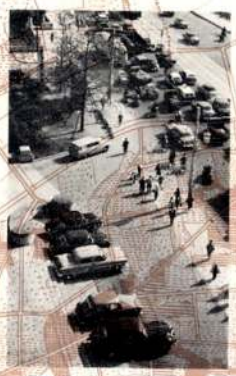
昭和24年3月19日第3種郵便物認可 昭和34年6月20日印刷 昭和34年6月25日発行 第40輯第6号（毎月1回25日発行）







都市計画特集（大阪の場合）









日本建築協会

6 1959

建築と社会

近代感覚の先端をゆく！



大阪歌舞伎座納エスカレータ

日立 エスカレータ

天井扇　換気扇
蛍光灯　電気設備
送風機　冷凍機
ポンプ　ダムウエータ
エレベータ　エスカレータ

日立製作所

TRADE MARK



DOG

メンブレン式防水

の補強材料は30余年の経厂を誇る

ドッグ印で!!

ドツグ印　アスファルトルーフィング
〃　アスファルトフエルト
〃　石綿ルーフィング
〃　砂付ルーフィング
〃　メルタイトルーフィング
〃　キンマレアタイト（高級濃青金麻布）
〃　ヘッシャンファブリック（濃青黄麻布）
〃　コットンファブリック（濃青綿布）
〃　白麻ファブリック（濃青苧麻布）
〃　ゲオンタイト（伸縮目地板）

地下鉄道、高架鉄道の如き激しい震動箇所でも弊社製品は完璧の防水効果を発揮して居ります

型録・見本・仕様書
御報呈上

株式会社 工英社

本社・工場　大阪市西成区橘通9丁目24番地　電話天下茶屋㊿8861・8862番



新しい
建築には

軽量形鋼

- 耐震、耐風の不燃建築が出来ます。
- 適当な被覆によって耐火構造にも出来ます。
- 軽量なため施工が簡単で工費が低廉です。
- 乾式構造が可能で量産に適し工期が短縮できます。
- 構造品種が豊富なため合理的な設計が出来ます。
- 鋼材の使用量がぐんと節約出来て仕上に十分費用をかけられます。
- 木造並みの予算で、白蟻にも犯されない耐久建築が出来ます。
- 外観が軽快優美で近代的な建築になります。

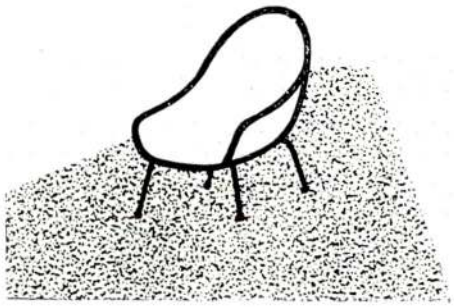
主要製品

軽量形鋼		簡易鋼矢板	
デッキプレート		ガードレール	
サッシバー		サッシフレーム	
電縫鋼管		ロックシームチューブ	

中之島製鋼株式会社
本社・工場　大阪市東区弁天町4　電㊾5031—5
東京事務所　東京都中央区西八丁堀4—10　電㊽1515—6

八幡製鐵株式会社

皆様の設計と施工に東洋の床材



リノリューム
リノタイル
ビニール系新製品
ビニラートタイル
ビニール製
スポンヂシート

◇ソフトな感触
◇優秀な耐久力
◇美しい色彩

カタログ進呈

東洋リノリューム株式会社

本社工場　兵庫県伊丹市伊丹558
電話伊丹(代)3531・大阪(48)4490
東京支店　東京都中央区銀座4丁目三和ビル
電話京橋 ㊺1701・2564
大阪事務所　大阪市東区瓦町2丁目三和ビル
電話北浜 ㉓0375～0379



建築用セメダインを用いて施工される
ノンスリップ（大阪・東映会館）

施工法を一変した

“液体のクギ”

セメダイン
NO. 195…木レンガ・ノンスリップ
テックス・ハードボード等
をコンクリート又は木部へ
NO. 601…合板・内装化粧板・クロ
ス類の接着
NO.1500…金属・ガラス・プラスチッ
クスの接着

建築用 セメダイン

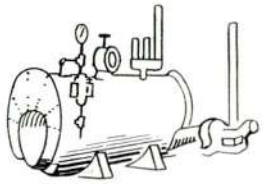
発売元 東京セメダイン商事株式会社 東京都千代田区神田五軒町3 (83)3131
大阪セメダイン商事株式会社 大阪市南区大宝寺町東之丁41 (27)3456
名古屋セメダイン商事株式会社 名古屋市中区上前津町 (24)0845

特許

平川-MPボイラ

煙管式ボイラの「革命兒」現る！

大阪府立工業奨励館
公式試験成績
汽缶効率 81.2%
石炭焚にて
排ガス温度 197°C



経費節減527万円の
利益を生む

☆高性能・輻射型
☆石炭・オイル・ガス焚
☆1年間(7200時間)の燃料節約額
7′×30′ランカシヤボイラと
比較して
527万円益
（但し E.E.2000kg/hr.
6000カロリー石炭6000円/屯
1日24時間1月25日として）

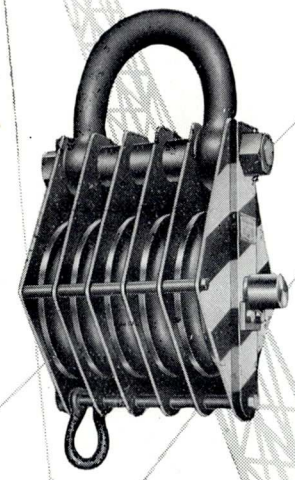
◁営業科目▷ 平川～水管ボイラ、平川～機関車型ボイラ
平川～竪型ボイラ、外ボイラ全般・輸送機械

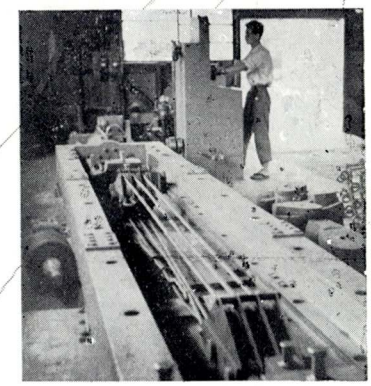
株式會社 平川鉄工所
本社・工場 大阪市大淀区大仁西2の1 電話福島㊾1975－8
東京営業所 東京都中央区八重州6の7 電話㊽5883・7787－8
九州出張所 福岡県小倉市富野545 電話 小倉⑥1362

強力型 重荷用 鉄ブロック スナッチ

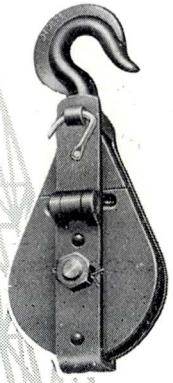
MKK

技術・性能・信用を誇る
安全度の高い





アムスラー油圧式横型引張試験機
（日本海事協会検定No. 3788）
製品は本機によって試験す



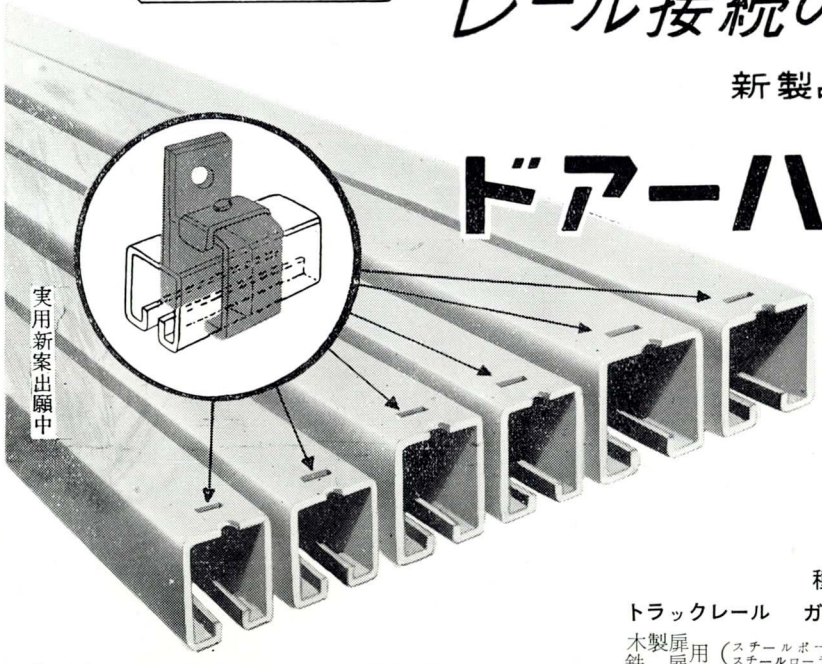
御用命は全国有名土木機械工具
金物店へ御照会願います

MKK

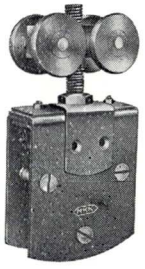
レール接続の革命！

新製品 完全防錆

ドアーハンガー



実用新案出願中



御用命は全国各地有名建築金物店へ御照会願います

種　目

トラックレール　ガイドレール　カーブレール

木製扉用（スチールボール スチールローラー入）複車・単車ハンガー
鉄　扉

軽 50㎜, 60㎜, 70㎜

その他ブラケット附属品一切

株式会社 三谷製作所
東京都足立区高野町二一八番地
TEL 足立 (88) 4048・4239

最も進歩した建築には最も進歩した床材

ビニアスタイル（2粍厚）

新製品



K－タイル（1·5粍厚）

アスタイル

藤森建材株式会社

本　　社　東京都中央区日本橋通1ノ2（大倉ビル）
電　　話　東　京　㉗　6　4　3　2　～　5
大阪出張所　大阪市西区土佐堀通1－1（大同生命ビル内）
電　　話　大　阪　㊹　1623・3798・8461～4
九州出張所　福岡市薬院大通2－73　電話福岡④1945

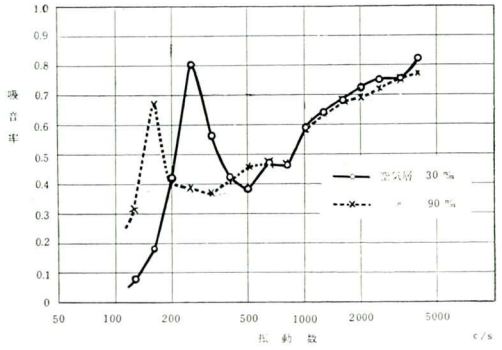
権威者もびつくりした

ダイケン·吸音板

DAIKEN BOARD

☆　高音は勿論，低音もよく吸収
☆　正確なカット
☆　軽くて丈夫
☆　施工が簡単
☆　値段が安い

残響室法吸音率
No. 590064
ダイケン吸音板　昭和34年2月11日測定



昭和34年2月20日　財団法人 小林理学研究所

最高級と折紙付 ➡

9㎜, 12㎜	30.3cm角　面取り
12㎜	30.3cm角　さねはぎ付

大建ウォールボード工業株式会社

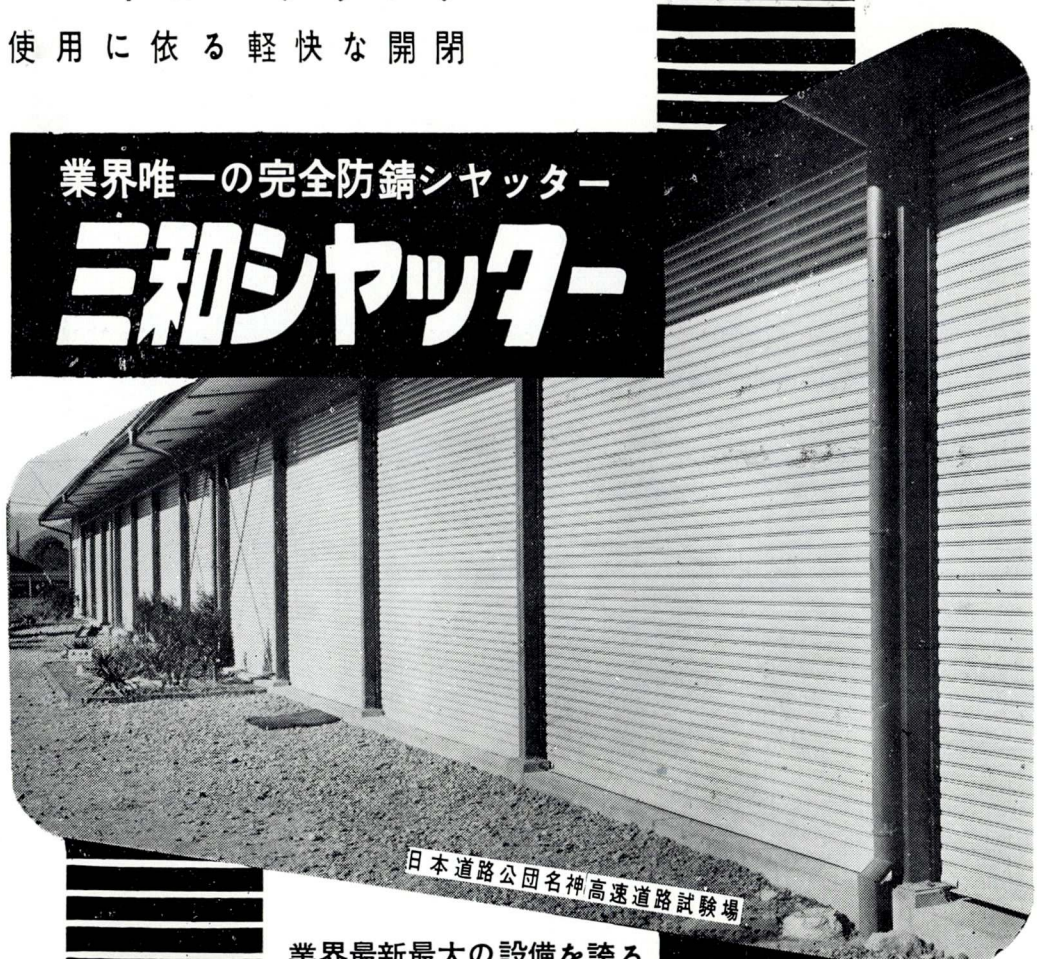
本　　社　大阪市北区中之島2ノ22（新朝日ビル9階）
電　　話　大　阪　(26)　代　表　5　1　0　2
東京支社　東京都中央区日本橋小舟町2ノ1(小倉ビル)
電　　話　東　京　(66)　9　0　0　0・7　0　0　0

パーカライジング
下地に赤外線焼付加工

ニードルベアリング
使用に依る軽快な開閉

業界唯一の完全防錆シャッター

三和シャッター



業界最新最大の設備を誇る

株式会社 三和シャッター製作所

本社	尼崎市久々知字コエ二三	電話 大阪㊽5341・2959
東京	東京都新宿区西大久保一丁目三七〇	電話 東京㉞2478・9678
札幌	札幌市南九条西六丁目	電話 札幌③1368④4878
仙台	仙台市土樋一一二	電話 仙台③3296
名古屋	名古屋市中村区広井町二丁目四五	電話 名古屋㊹2846
代行店	稚内．留萌．士別．網走．北見．釧路．帯広．函館．青森．弘前．盛岡．秋田．山形	
	福島．会津若松．喜多方．白河．前橋．宇都宮．水戸．千葉．横浜．甲府．長岡．富山	
	金沢．福井．松本．岐阜．焼津．蒲郡．一宮．四日市．京都．奈良．和歌山．西脇	
	岡山．津山．福山．広島．宇部．鳥取．松江．高松．徳島．高知．松山．八幡．福岡	
	久留米．伊万里．佐世保．長崎．熊本．大分．別府．延岡．鹿児島	

（カタログ進呈）

社団法人

日本サッシュ協会

関西支部賛助会員

スチールシャッター
日本シャッター製作所
小俣製作所大阪出張所
鈴木シヤタア商会

錠前
谷山製作所
昭和金属工業株式会社

サッシュ附属金物
近松金物株式会社
平安伸銅工業株式会社
株式会社石倉商店

建築金物
渋谷幸雄商店

ドアー・ハンガー・オペレーター
三高製作所

サッシュバー
加納鉄鋼株式会社大阪支店
東都実業株式会社大阪出張所
東鋼商事株式会社大阪営業所
東京シヤリング株式会社
大阪営業所
西村金属株式会社大阪出張所

サッシュ・ドアー諸機械製造
関西鉄工所

パーカー
日本パーカライジング
株式会社大阪出張所

驚異的近代感覚の吸音壁貼材料

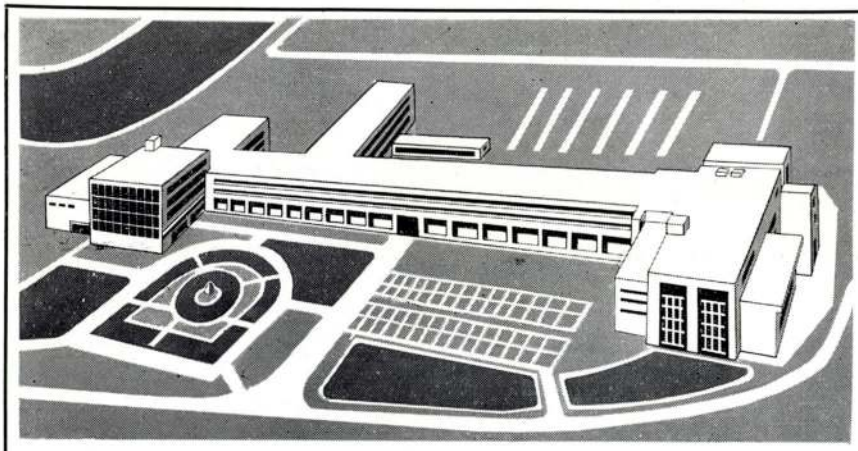
新製品
カラド クロース
原紙に着色せる優秀製品

ニッポン クロース
壁

オリエンタル クロース
壁

製造発売元
河津装飾株式会社
本社 大阪市北区堂島上一ノ二四 TEL大阪㉞1351—3

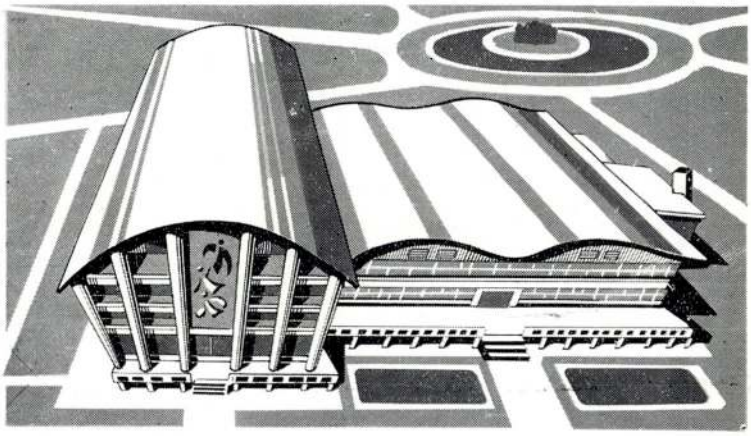
東京営業所
東京都千代田区神田猿楽町2の7
TEL ㉙9375
出張所 名古屋・広島・福岡



軽量、緩勾配屋根に
軽快な近代建築材

日泝スーパーアルソイド
日泝ゴールデンルーフイング

伸縮目地材　エキスパンタイト
　　セロタイト
コーギング材　シールセメント



日泝化学工業株式会社

本　　社　東京都中央区八重洲1—3
　　TEL（27）7000・5463～5
営業所及東京工場　東京都荒川区尾久町 6—101
　　TEL（807）代表016 1～5

大阪営業所及大阪工場
大阪市東淀川区堀上通り 3—39
TEL(39)0924～5・2045・2079

東陶の衛生陶器と付属金具

L-92 に代る

L-220

オパール



ビル・アパートはもとより一般住宅

にも御採用頂けるよう寸法や価格の点では従来最もよく

御愛用頂いていた製品L－92を基準として考慮いたしました。

定　価

陶　器(1級)L 220 ¥ 2,750

金　具（Toyotoki印）

立水栓 T205Y
@¥ 600（2個） ¥ 1,200

止水栓 T4AY
@¥ 670（2個） ¥ 1,340

排水金具 T6P ¥ 1,210

バックハンガ
取付木ネジTL220D ¥ 200

計 ¥ 6,700

参考定価

陶　器(並級)L 220 ¥ 2,200

金　具（TTK印）

立水栓 K205Y
@¥ 510（2個） ¥ 1,020

止水栓 K4AY
@¥ 570（2個） ¥ 1,140

排水金具 K6PC ¥ 1,030

Toyotoki

東洋陶器株式会社

本　社
小倉市篠崎町458
TEL ⑤2481～5

大阪営業所　大阪市東区高麗橋5－32　TEL ㉓4518～9
各地営業所　東京・名古屋・小倉・広島・高松・札幌　TEL 2105～8

茅ケ崎工場
神奈川県茅ケ崎市

いつも新しい感覚で清潔感のある

川口ゴムのビニール建材

硬質塩化ビニールの波板・平板

ロンプレート

丈夫で美しい壁・襖貼材料

ロンフイックス

採光屋根・間仕切・壁体・天井・装飾用等に好適な近代建材です。
明るく美しい，軽くて強い，燃えない，安い

透明・不透明・艶消し・曇り
型押・網入・模様板各種

厚さ：1，1.5，2，3，4，5mm
平板：巾91cm（3尺）×長182cm（6尺）
波板：巾72cm（2.4尺）×長182cm（6尺）
エンドレス：巾121cm（4尺）
（長尺波板） 140cm（4.6尺）×長10m（33尺）

「ビニールが簡単に貼れたら」……
これを解決したのがロンフイックスです。
どんな棚でも誰にでも容易に貼れ（特殊加工）、どんな汚れも石鹸水か、揮発油できれいにとれて変質せず半永久的に新鮮で、優雅な新製品です。（実用新案登録第469550号）
単色・二色・フラノ：巾96cm（3.17尺）×18m（5坪巻）

6尺巾長尺の床材
標準寸法 厚さ2.5mm×巾183cm（6尺）×長27.45m（15坪巻）
踏心地がよく疲れない、耐磨耗性は極めて優秀、色彩優美、手入れは水拭きでよく清潔・経済的、暑気・寒気・薬品・油脂等に変質しない。

最高級ビニールタイル
（尺角）30.3cm×30.3cm×2mm
ジヤスペ12色

床材料の決定版！

ロンリウム
ロンタイル

川口ゴム工業株式会社
東京都葛飾区木田四ッ木町54　電話葛飾（69）1946～9

全国有名内装工事店に御照会下さい。

カタログ進呈

昭和34年6月

通　常　総　会

会と催

通常総会開催御通知

本年度通常総会を下記のとおり開催致します。御多忙中恐縮に存じますが，何卒お繰合せ多数会員の御出席をお願い申し上げます。

以上公告申します。

昭和34年6月1日

社団法人　日本建築協会　会長　尾崎久助

記

1. 日　時　6月16日（火）　午後3時
1. 場　所　大阪建設会館6階集会室（大阪東区京橋3丁目70）
1. 会議の目的事項
   (1) 昭和33年度事業報告
   (2) 昭和33年度決算報告承認の件
   (3) 昭和34年度収支予算承認の件

以　上

『新しい鉄の時代』と『中尊寺』の映画を見る会

前記通常総会後同所で文化映画会を催します。この好機に会員おさそい合せの上ご出席下さい。

1. とき　6月16日（火）　午時4時～5時
1. ところ　大阪建設会館6階集会室（天神橋）
1. 映　画

『新しい鉄の時代』　提供　社団法人　鋼材倶楽部

イーストマンカラー　4巻　製作　株式会社岩波映画社

（私達の身近にある「平和の鉄」についての存在とその役割を，映画の画面のテンポと音楽と現実音との結びつきで表現されている）

『中　尊　寺』　製作　株式会社日映新社

（藤原氏四代に渉る平泉文化のあとをたどる貴重な記録映画で，ミイラの主貌がよく描かれている）

この映画会開催について，社団法人鋼材倶楽部から格別のご協力をいただきました。

昭和33年度決算報告

一　般　勘　定

貸　借　対　照　表
財　産　目　録
収　支　内　訳　表

近畿建築会館特別勘定

貸　借　対　照　表
収　支　内　訳　表

昭和33年度決算報告

一　般　勘　定

貸　借　対　照　表

昭和34年3月31日現在

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
現金	94,311	什器償却準備金	28,839
当座預金	43,116	借入金	400,000
普通預金	28,983	未払金	2,025,378
郵便振替貯金	33,724	仮受金	52,275
定期預金	20,000	未経過収入金	117,400
未収入金	757,221	基本金	47,672
仮払金	27,641	事業準備金	347,300
未経過支払金	427,291	故日高胖氏事業資金	209,408
什器	299,789		
会館出資金	1,000,000		
前期繰越金	243,486		
収支勘定	252,710		
合計	3,228,272	合計	3,228,272

財　産　目　録

昭和34年3月31日現在

資産之部			負債之部		
摘要	金額		摘要	金額	
固定資産		299,789	引当勘定		633,219
什器			基本金	47,672	
流動資産		220,134	事業準備金	347,300	
当座預金	43,116		什器償却準備金	28,839	
普通預金	28,983		故日高胖氏事業資金	209,408	
定期預金	20,000		流動負債		2,477,653
郵便振替貯金	33,724		借入金	400,000	
現金	94,311		仮受金	52,275	
雑勘定		784,862	未払金	2,025,378	
仮払金	27,641		未経過収入金		117,400
未収入金	757,221				
未経過支払金		427,291			
前期繰越金		243,486			
近畿建築会館出資金		1,000,000			
本年度収支勘定		252,710			
合計		3,228,272	合計		3,228,272

一般勘定

収支内訳表

昭和34年3月31日現在

収入の部

科目	費目	決算額	予算額	増△減
会費収入	正会員会費	2,913,500	3,036,000	△ 122,500
	団体会員会費	2,736,900	2,880,000	△ 143,100
	地方会費	180,888	163,200	17,688
	準会員会費	214,435	216,000	△ 1,565
	小計	6,045,723	6,295,200	△ 249,477
事業収入	雑誌収入	9,658,830	7,300,000	2,358,830
	講習会収入	355,660	500,000	△ 144,340
	演講会収入	763,310	475,000	288,310
	建材審査料	102,000	100,000	2,000
	請負約款売上収入	225,000	180,000	45,000
	一般図書売上収入	1,639,429	1,600,000	39,429
	雑	652,497	100,000	552,497
	小計	13,396,726	10,255,000	3,141,726
雑収入		633,884	599,800	34,084
	収入合計	20,076,333	17,150,000	2,926,333

支出の部

科目	費目	決算額	予算額	増△減
事業費	会議費	107,093	100,000	△ 7,093
	部会費	2,470	20,000	17,530
	委員会費	176,218	150,000	△ 26,218
	雑誌費	10,122,390	7,520,000	△ 2,602,390
	講習会費	340,551	530,000	189,449
	演会費	865,452	600,000	△ 265,452
	図書発行費	1,144,304	1,100,000	△ 44,304
	雑	1,106,643	330,000	△ 776,643
	小計	13,865,121	10,350,000	△ 3,515,121
支部費	支部交付金	237,493	260,000	22,507
	支部補助金	62,335	100,000	37,665
	小計	299,828	360,000	60,172
事務費	電話料	238,823	240,000	1,177
	通信費	22,325	30,000	7,675
	旅費交通費	106,335	180,000	73,665
	集金費	617,127	540,000	△ 77,127
	印刷費	93,655	72,000	△ 21,655
	文房具費	42,229	42,000	△ 229
	雑	134,316	120,000	△ 14,316
	小計	1,254,810	1,224,000	△ 30,810
諸給与	給料	2,895,200	2,925,000	29,800
	超勤手当	99,360	100,000	640
	賞与	607,000	610,000	3,000
	小計	3,601,560	3,635,000	33,440
厚生費	健康保険料	133,215	132,000	△ 1,215
	厚生年金保険料	43,755	43,000	△ 755
	失業保険料	29,184	30,000	816
	労災保険料	6,251	5,000	△ 1,251
	職員福利費	7,454	20,000	12,546
	小計	219,859	230,000	10,141
諸賦課金		27,690	30,000	2,310
会館繰入金		960,000	960,000	0
予備費		100,175	361,000	260,825
	支出合計	20,329,043	17,150,000	△ 3,179,043

収支差引表

差引収入不足金　252,710

収支不足金処分

収支不足金　252,710を次期に繰越す

近畿建築会館特別勘定

貸　借　対　照　表

昭和34年3月31日現在

借　方	勘　定　科　目	貸　方
	建築会館基金	230,000
16,547,095	建物	
	建物償却準備金	303,083
139,400	電話設備	
982,350	什器	
570,531	銀行預金	
130,740	現金	
180,000	有価証券	
1,020,000	未収入金	
	一般会計繰入金	1,000,000
	寄附金	309,415
	借入金	16,655,000
	未払利息	631,532
	収支勘定	441,086
19,570,116	合計	19,570,116

収　支　内　訳　表

昭和34年3月31日現在

収入

科目	決算額	予算額	増△減
第二，一般会計繰入金	960,000	960,000	0
貸室料	1,020,000	1,020,000	0
雑収入	83,924	100,000	△ 16,076
計	2,063,924	2,080,000	△ 16,076

支出

科目	決算額	予算額	増△減
借入金利子	833,750	832,750	0
電気料	104,962	96,000	△ 8,962
瓦斯代	149,619	171,000	21,381
水道代	6,123	9,600	3,477
借地料	97,716	49,000	△ 48,716
火災保険料	20,900	19,800	△ 1,100
公課	134,280	151,520	17,240
修理費	34,270	50,000	15,730
人件費	125,090	126,000	910
雑費	117,128	78,000	△ 39,128
計	1,622,838	1,583,670	△ 39,168

差引収入超過　441,086

剰余金処分　建物償却準備金　320,000

次期繰越金　121,086

昭和34年度収支予算

本誌5月号会告に掲載してありますので御参照下さい。

会員の受賞

会　員　の　受　賞

下記会員諸氏は，5月3日の憲法記念日に建設関係功労者として大阪府知事から表彰を受けられました。

ここに誌してその栄誉をお慶び申し上げます。

記

石川純一郎 君　　今西　末吉 君　　川崎　盛治 君　　栗原　信虎 君
鴻池　藤一 君　　鈴木　末尾 君　　鷲尾　九郎 君

会館基金の寄附金受領

会館基金え寄附金受領

さきに近畿建築会館建設資金の借用金の一部償還を行いましたが，その内下記のとおりその償還金を会館基金え御寄附戴きました。本会の基礎を愈々強固ならしむるものとまことに感謝に堪えない次第で，ここに誌して厚く御礼申上げます。

記

¥　200,000　　株式会社　大　林　組　殿
¥　100,000　　日建設計工務株式会社　殿

委員追加委嘱

委員会委員追加委嘱

5月13日の理事会に於て下記の方々にそれぞれ委員を御委嘱申し上げましたのでここに御氏名を掲載致します。

（敬称略）

法規委員会委員　　大塚　　隆（市建築局）
災害委員会委員　　平田　定男（平田構造研究所）

受表彰候補者推薦委員会委員

受表彰候補者推薦委員会委員氏名

去る4月8日の理事会に於て，下記の方々に上記委員会委員を御委嘱申し上げましたのでここに御氏名を掲載致します。

（敬称略・五十音順）

青木　友一（東洋々瓦）
桐本　楠雅（市建築局）
菅谷　三郎（大阪電気暖房商会）
竹内　成夫（府営繕課）
三国　利道（安井事務所）
鷲尾　九郎（竹中工務店）
岡橋作太郎（日建設計工務）
佐藤　　太（近畿電気工事）
銭高　輝之（銭高組）
中沢誠一郎（中沢事務所）
森　　忠一（村野・森事務所）

昭和34年度第1回古建築見学会

奈良の古建築を見る会

1. **と　き**　6月14日（日）　午前10時（集合）～5時（解散）
1. **集合所**　近鉄奈良駅出口前右の交番附近
1. **申　込**　6月10日までに会費（150円・拝観料その他）を添えてお申込みのこと。
1. 交通費は各自負担，昼食は各自持参のこと。（昼食は元興寺極楽坊の予定）
1. 現地解説者　**浅野　清**氏（大阪市立大学教授）
1. **コース：**興福寺→元興寺極楽坊→十輪院本堂→今西邸書院→新薬師寺→春日大社→奈良駅前解散の予定

興福寺，元興寺，新薬師寺，春日 見学の栞

奈良古寺めぐりの表通りは東大寺であり，薬師寺，唐招提寺であるが，それに圧倒されて，忘れられているのが，これらの寺々である。

興福寺には奈良時代の建築は一つも残らないが，鎌倉時代に再建された傑作である北円堂を始め，国宝四棟（三重塔，北円堂，東金堂，五重塔）を持ち，奈良時代の遺跡をよく残している。さすがに藤原氏の氏寺であっただけに，中世末近くまで，繁栄し，その勢力は東大寺を遙かにしのぎ，大和一国の領主として君臨していた。最近宝物収蔵庫が完成し，奈良から鎌倉に至る日本彫刻の粋を一堂に集めて展示している。

元興寺は中世まで尚寺の景観を相当残していたのであるが，寺の衰微するにつけて，民家におかされてしまい，五重塔は江戸時代の末に焼失し，今は昔の僧房の一廓を残し伝えて，元興寺極楽房と呼んでいる寺が残っている。この僧房で智光が極楽を感得して，極楽浄土図を描かせたというので有名であるが，今は僧房の一部が堂に改造されたものを本堂とし，僧房の一部が鎌倉時代に再建されて（禅室）今に残されているのは貴重である。何れも国宝。十輪院も旧元興寺境内にあるが，簡素な四脚門と，本堂を持つ。本堂は建ちの低い，風格のある建物で，元来は礼堂である。ささやかな堂であるが，特に国宝に指定されている。この近くにある今西家の書院は格式の高い興福寺の頭塔の建物を移したもの。中世の邸宅を偲ばせるものである。

福智院本堂も鎌倉時代の建築であるが，下層が新しく，余り格好もすぐれない。通りすがりに眺めれば足りる。新薬師寺は奈良時代に創建された寺であるが，今本堂のみが奈良時代の建築である。この堂の元来の用途は不明であるが，現在は円形仏壇上に薬師と十二神将をまつっており，簡素な落付いた建物である。建ちが低く，壁が多いこと等と相まっておかし難い風格を作っている。この国宝の本堂の他に鎌倉時代に属する四棟の重要文化財を持つ。何れも小品であるが，棟門である東門は他に類例少い存在であり，鐘楼，地蔵堂とも可憐な建築である。この他に正門になっている四脚門がある。

春日神社は藤原氏の氏神として興福寺と共に南都の大勢力であった。興福寺が廃仏毀釈のいたでをうけたのに対し，こちらはよく保存されていて，深い森の中に丹土もあざやかにはえ出ていて，王朝時代のおおらかな気分を十分味わせる。尤も式年造替で建物は比較的新しいが，形式はかなりよく伝えられている。

第4回建築写真コンクール

6月末締切，多数ご応募下さい。今回の入選作品の内から「建築と社会」表紙に採用されることになっております。募集規定は4月号会告欄に掲載しておりますからご参照下さい。

大阪市中央体育館見学

位置	大阪市東区法円坂6	
規模	本館地階	317.52平方米
	1 〃	4,236.98平方米
	2 〃	1,510.74平方米
	3 〃	1,197.36平方米
	バルコン	445.40平方米
	合計	7,828.00平方米
	附属家（機械室）	120.00平方米
構造	R.C造 大屋根 鉄骨アーチ架構（P.D.式）	
高サ	最高部高サ	21.00m
	軒高	10.42m
	競技場天井高	16.20m
工期	昭和33年11月21日～34年5月31日	

新刊図書「床の仕上」発行

以上図書が新刊発行されましたので，希望者は本会事務局へお申込下さい。

昭和34年1級建築士試験

体育館の見学と座談の会

（大阪市中央体育館）

1. と　き　6月22日（月）午後4時集合
1. ところ　大阪市中央体育館正面玄関（大阪市馬場町 大阪中央放送局向側）
1. 申　込　電話で20日までに願います。
1. 見学会　午後4時～5時
1. 座談会　午後5時～6時（見学会終了後参加者有志と設計・施工者を囲んで同体育館食堂で催します）

基本設計　大阪市建築局営繕課　　工事監理　大阪市建築局営繕課
設計施工　株式会社　大林組

日本建築協会新刊図書

「床の仕上」 A5版　150頁　定価220円　会員特価200円　送料32円

編集　出版委員会

▶**監修並びに執筆者**（50音順）

大井弘治郎氏（日建設計工務技師）
奥島　正一氏（大阪大学教授・工博）
北山二十三氏（竹中工務店技術部長）
斎藤　四郎氏（内外木材工業取締役）
後川　春雄氏（大阪建築事務所取締役）
竹内　　孝氏（近畿日本鉄道建築部長）
武下　政治氏（住江織物）
谷口　尚武氏（大林組工務課長）
中西　政一氏（日本醗青工業）

▶**目　次**

第1部　張りもの
第1章　木材系統
第2章　石材系統
第3章　ゴム・樹脂系統
第4章　繊維系統
第2部　塗りもの
第1章　ポルトランドセメント系統
第2章　マグネシヤセメント系統
第3章　瀝青系統
第4章　合成樹脂系統
第3部　特殊床
第1章　特殊床
第2章　電気電導性床
第3章　滑り止め塗仕上
附　録
日本建築学会建築工事標準仕様書
JASS19 内装工事（抜萃）
材料名別業者案内
特別資料欄

昭和34年1級建築士試験について

昭和34年1級建築士試験は，下記のとおり8月22，23日の両日実施される。申込期日は例年より約1ケ月早く6月22日から7月7日までである。

1，**試験地**　札幌市，青森市，仙台市，新潟市，東京都，横浜市，金沢市，静岡市，名古屋市，大阪市，神戸市，松江市，広島市，高松市，福岡市，熊本市，鹿児島市

2．**試験期日・時間割**

8月22日（土）	午前9時—11時	建築計画
	午前11時45分—午後1時45分	建築施工
	午後2時—午後4時	建築法規
8月23日（日）	午前9時—11時	建築構造
	午前11時45分—午後5時15分	建築設計製図

3，**受験申込書提出期間**　6月22日～7月7日

4，**受験申込書提出場所**　住所地の都道府県建築主務課

5，**受験申込書等の交付**　6月15日から各都道府県建築主務課で交付

6，**合格発表**　12月上旬の予定

7，建築設計製図の設計課題は6月22日付官報で公告。

第 3 回　現 場 管 理 講 習 会 要 項

1. **目　的**　学校を卒業し新たに採用された技術者を対象として学校教育における一般知識の不足を補い，現場実務において直ちに役立つ実際的知識を，各方面におけるそれぞれのエキスパートによる一連の系統的講習によって会得せしめ，従来の長期を要した経験的知識の習得期間を短縮し，かつ確実に把握せしめることによって，より有用な技術者を養成しようとするものである。
2. **対　象**　本年および昨年高校を卒業したもの。
3. **会　期**　昭和34年6月16日—7月14日毎週（火曜・木曜・土曜）3日
   毎日・4時間（午前8時30分—12時30分）延13日間（50時間）
4. **会　場**　大阪建設会館6階集会場（大阪市東区京橋3丁目）
5. **申　込**　6月10日までに申込書に受講料（¥ 2,000）を添えて本会事務局（大阪市東区北浜3—37・但し市電北浜2・3丁目電停中間北側）へ申込のこと。尚会場の都合により定員（120名）に達した際は締切ります。
6. **月日・科目・講師**

月　日	科　目	講　師（敬称略）
6月16日	建築工事の着工から竣工迄の業務総論（契約，支払などの事務手続を含む）	大阪市調度課係長　田中三郎
6月16日・6月18日	現場に関する諸法規とその手続	(株)大林組工務部　浅野繁雄
6月18日・6月20日	建築労務者の管理	大成建設(株)大阪支店総務課次席　野村増治
6月20日・6月23日	現場における危険防止，災害防止とその措置	(株)竹中工務店労務課長　堤東一郎
6月23日・6月25日	仮設物と仮設材料の管理	(株)松村組監査役　政岡基次
6月25日・6月27日	機械器具，工具類の管理	(株)竹中工務店大阪工作所機械課長　楠瀬泰雄
6月27日・6月30日	材料の検収とその管理	(株)鴻池組事業所主任　横山裕
6月30日・7月2日	土工事，基礎工事，排水工事の施工と管理	(株)間組建築課長　渡辺勇
7月2日・7月4日	鉄筋コンクリート工事，鉄骨工事の施工と管理	清水建設(株)工事主任　鬼頭寿郎
7月4日・7月7日	木工事，屋根工事，金属工事，雑工事の施工と管理	鹿島建設(株)建築部長　岩下久哉
7月7日・7月9日	石工事，タイル工事，ブロック工事の施工と管理	(株)藤木工務店工務部長　矢野豊作
7月9日・7月11日	防水工事，左官工事，塗装工事の施工と管理	(株)銭高組技術部長　七尾健三
7月11日・7月14日	設備工事の施工と管理	(株)大林組建築部次長　高橋誠義

7. **現場見学**　を予定しております。

- 6月16日には開講式・7月14日には終講式を挙行して終了証書を受講者にお渡します。
- 講習時間割は受講お申込の際お渡しします。
- 「鉄筋コンクリート施工指針」および各講義毎に項目別のテキストをお渡しします。

会　費　払　込　み　お　願　い

6月10日付にて本年度上半期会費の御請求申し上げますので，本月号挿入の振替用紙御利用の上，至急，お払込み下さいますようお願い申し上げます。

日　本　建　築　協　会

ゴ　ル　フ　同　好　会　ニ　ュ　ー　ス

本同好会は日本建築協会会員のゴルフ同好者で結成いたしております。創立総会は昭和33年8月6日に催して会則その他を決議しました。爾後会の基礎も着々と整えられ，本年に入って会の基金・優勝カップ・レプリカの製作のため，会員有志各社より寄附を募り**右掲の優勝カップ・レプリカ**を製作して競技会の優勝者に授与しております。本年度の通常総会は4月25日開催して下記の新役員を選出し，より一層会の発展を図ることになっております。

◆入会希望者は事務局へ8円切手同封申込下さい◆

昭和34年度日本建築協会ゴルフ同好会役員氏名

会　長		伊東　五郎氏	(大阪市建築局長)
代表幹事		梶本　秀尾氏	(八千代電設社長)
幹　事	(会計)	今村　騰氏	(中央電気工業社長)
同	(同)	尾亀清四郎氏	(三晃商会常務)
同	(庶務)	馬場　善雄氏	(大阪大学助教授)
同	(同)	渡辺　道輝氏	(渡辺建築事務所副所長)
同	(競技・練習会)	浅沼　茂夫氏	(浅沼組副社長)
同	(同)	伊東　正也氏	(伊東建築事務所長)
同	(同)	諫早　信夫氏	(日本住宅公団大阪支所次長)
同	(同)	神田　正平氏	(日本シヤッター製作所社長)
同	(同)	南　長吉氏	(斉久工業大阪支店長)
同	(同)	山口　吾郎氏	(不二建設社長)
同	(同)	山本　義樹氏	(銭高組取締役)
同	(会誌)	木村　精一氏	(清水建設大阪支店設計部長)
同	(同)	笹川　季男氏	(大成建設大阪支店設計課長)
同	(同)	村上　秀夫氏	(日本住宅公団大阪支所)

(50音順)

競　技　会（第1回・第2回）成　績　表

会場くずはゴルフ場

競技法18ホールズ・メダルプレー

第1回　　3月10日　スタート11時

N	O	I	G	H	N	R
伊東　正也	46	47	93	31	62	1
諫早　信夫	51	48	99	36	63	2
浅沼　茂夫	42	45	87	23	64	3
永橋　和己	51	49	100	36	64	4
田辺　正雄	52	47	99	31	68	5
藤原　巧	51	49	100	30	70	B・B
山口　吾郎	46	47	93	25	68	
南　長吉	44	43	87	18	69	
梶本　秀尾	40	42	82	12	70	
玉置信三郎	54	57	111	36	75	
渡辺　道輝	55	51	106	30	76	

(注) 2回より，伊東氏は28，諫早氏34のハンデイになった。



第2回　　4月24日　スタート12時

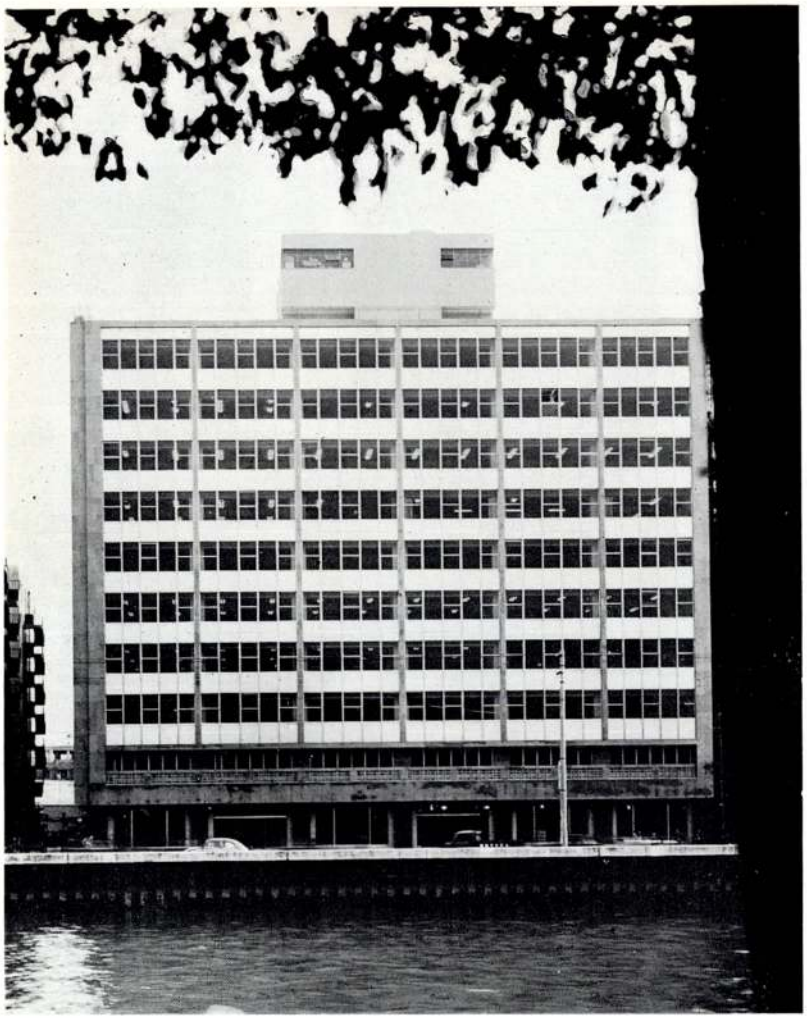
オフシアルハンデイの8掛を当日のハンデイとした。

	O	I	G	H	N	R
諫早　信夫	46	45	91	27	64	1
渡辺　道輝	41	47	88	24	64	2
田辺　正雄	47	42	89	25	64	3
藤原　巧	44	46	90	24	66	4
野中　駒市	39	43	82	14	68	5
木村　精一	45	49	94	24	70	6
永橋　和己	51	48	99	29	70	7
南　長吉	47	49	96	14	82	B.B
清野　慎一	48	51	99	29	70	
河野　正男	50	50	100	29	71	
井上　浄夫	45	51	96	24	72	
神田　正平	46	48	94	22	72	
武井　伴治	46	55	101	29	72	
山口　吾郎	46	47	93	20	73	
井原　熊	47	45	92	18	74	
伊東　正也	51	44	95	20	75	
梶本　秀尾	41	44	85	10	75	
谷山　俊輔	50	55	105	29	76	
岩住　欣一	45	46	91	14	77	
新谷　和夫	52	55	107	29	78	
大山　昭典	52	58	110	29	81	
陶浪　貞彦	56	64	120	29	91	

(注) 諫早・渡辺・田辺3氏のNは同点になったが，Hを小数点1位まで出し，次により順位を決めた。なお他の順位で同点の場合は年令順とした。

諫早氏　G H N　91－27.2＝63.8　渡辺氏　G H N　88－24.0＝64.0　田辺氏　G H N　89－24.8＝64.2

●3回からのハンディ	諫早氏26	渡辺氏26	田辺氏28	藤原氏28	野中氏16



対岸より望んだ全景

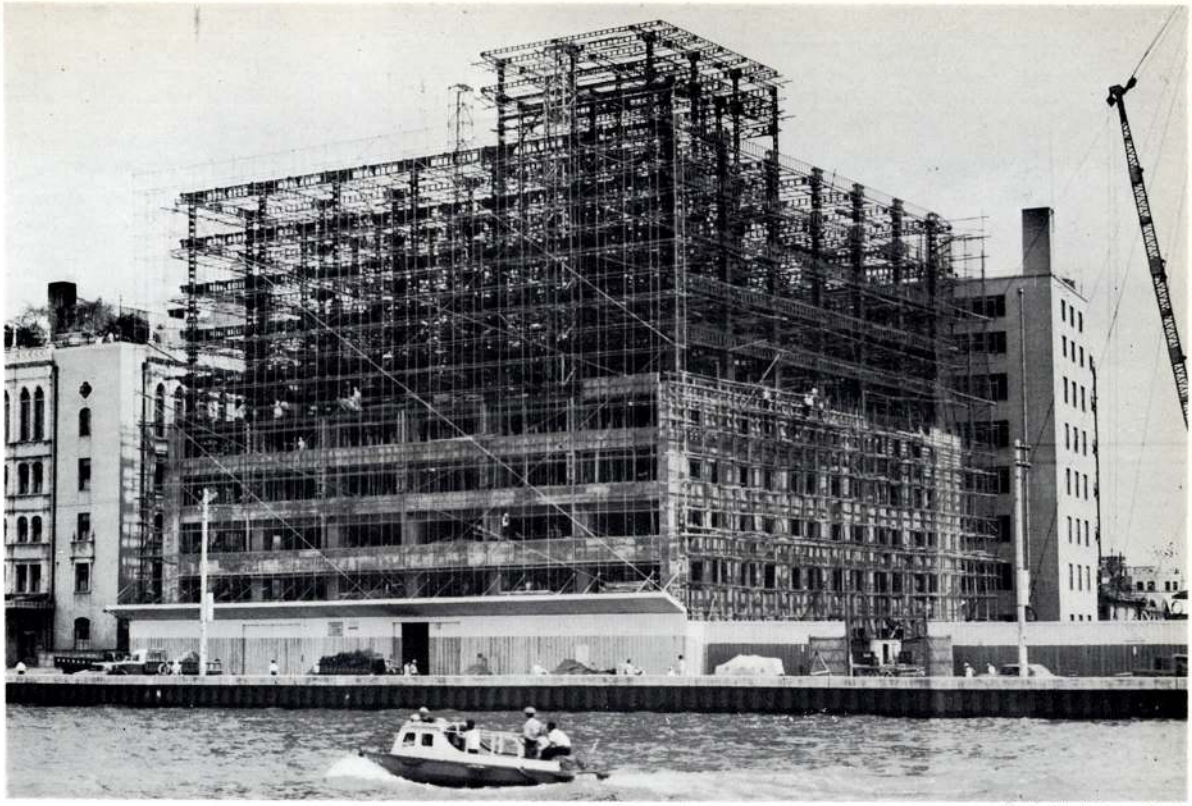
三　井　ビ　ル　デ　ィ　ン　グ

設　計　株式会社 横河工務所

施　工

株式会社　竹　中　工　務　店

三　井　建　設　株　式　会　社

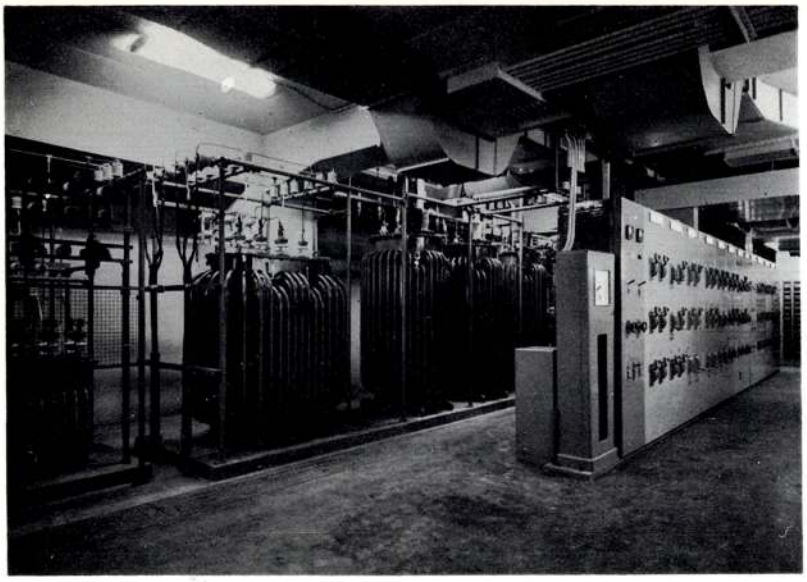


鉄骨建方中の写真

三　井　ビ　ル　デ　ィ　ン　グ

鉄骨工事施工　株式会社　片　山　鉄　工　所

三井ビルディング



電気設備　栗原工業株式会社

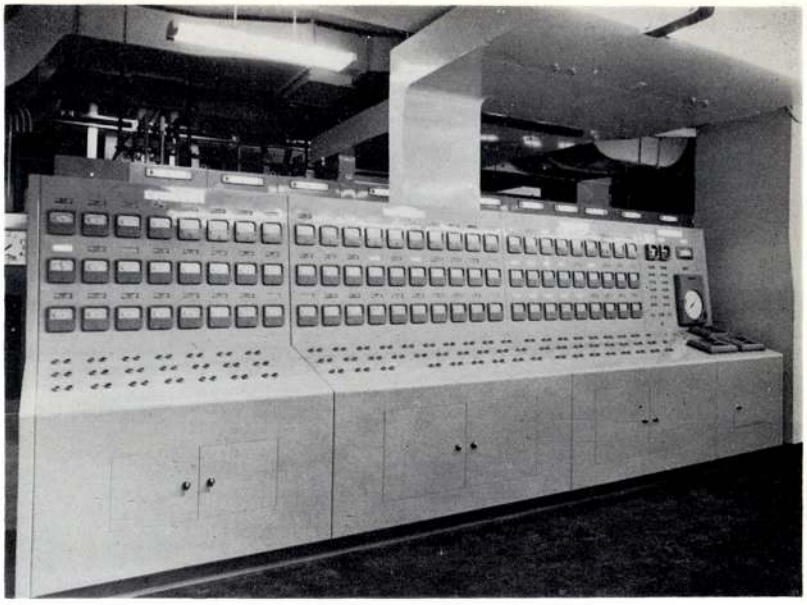
冷暖房換気設備

東洋キヤリア工業株式会社大阪支店

キヤリア17M遠心冷凍機350T



三井ビルディング

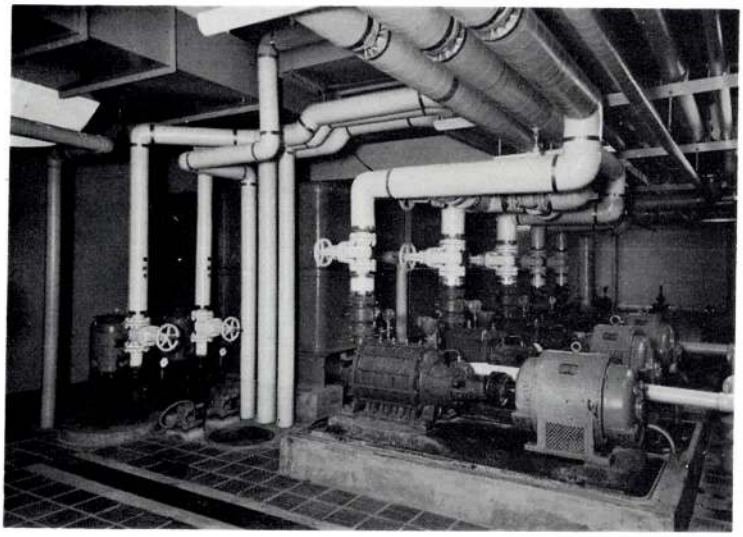


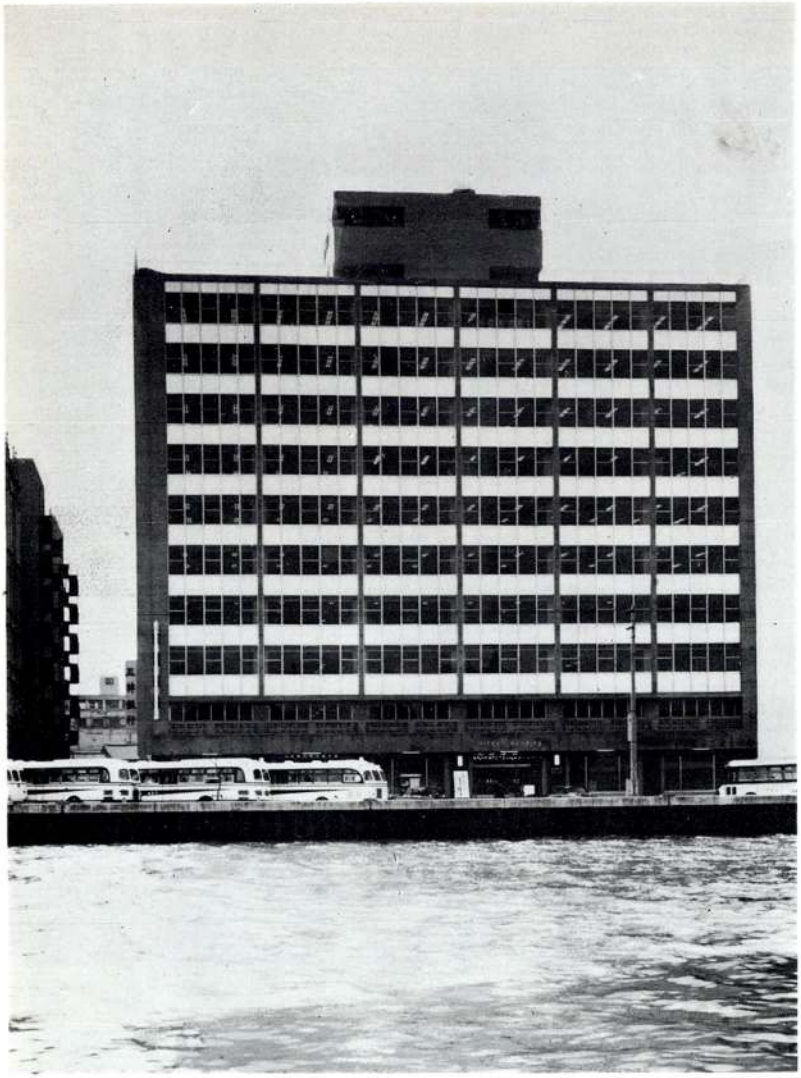
電気室監視盤

電気設備　三機工業株式会社

給排水衛生設備

株式会社　大阪電気商会
大阪暖房商会





三　井　ビ　ル　デ　ィ　ン　グ

カーテンウオール
材質　アルミニウム
　　ステンレス

東　京　鋼　板　工　業　株　式　会　社

三井ビルディング



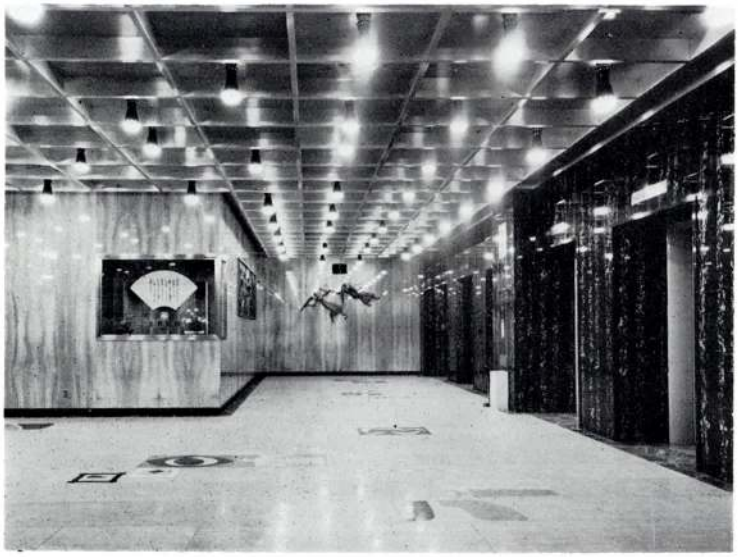
特別食堂床：リノタイル

東洋リノリューム株式会社

東洋オーチスエレベータ株式会社

株式会社　矢橋大理石商店

1階エレベータホール壁・床敷石：外国産大理石



各階エレベータ壁

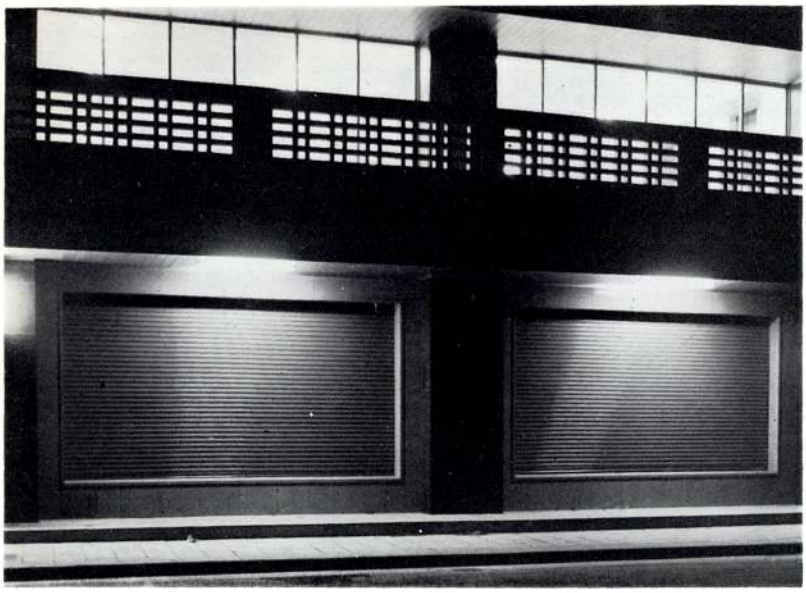
銀行関係

営業室柱・壁貼り：大理石

営業カウンター甲板腰：御影石及大理石

客溜り床：大理石乱貼り現研

三井ビルディング



シャタア工事　株式会社　鈴木シヤタア商会

エレベータホール・階段塗装工事

三木塗装店

非常口階段壁面塗料コスミコート
及びアコーデオンドアー

亀井株式会社



三井ビルディング

タイル

株式会社 平田タイル

サッシ

株式会社 不二製作所



小野田セメント　小野田セメント株式会社

小野田レミコン　小野田レミコン株式会社



マツダ螢光灯照明器具

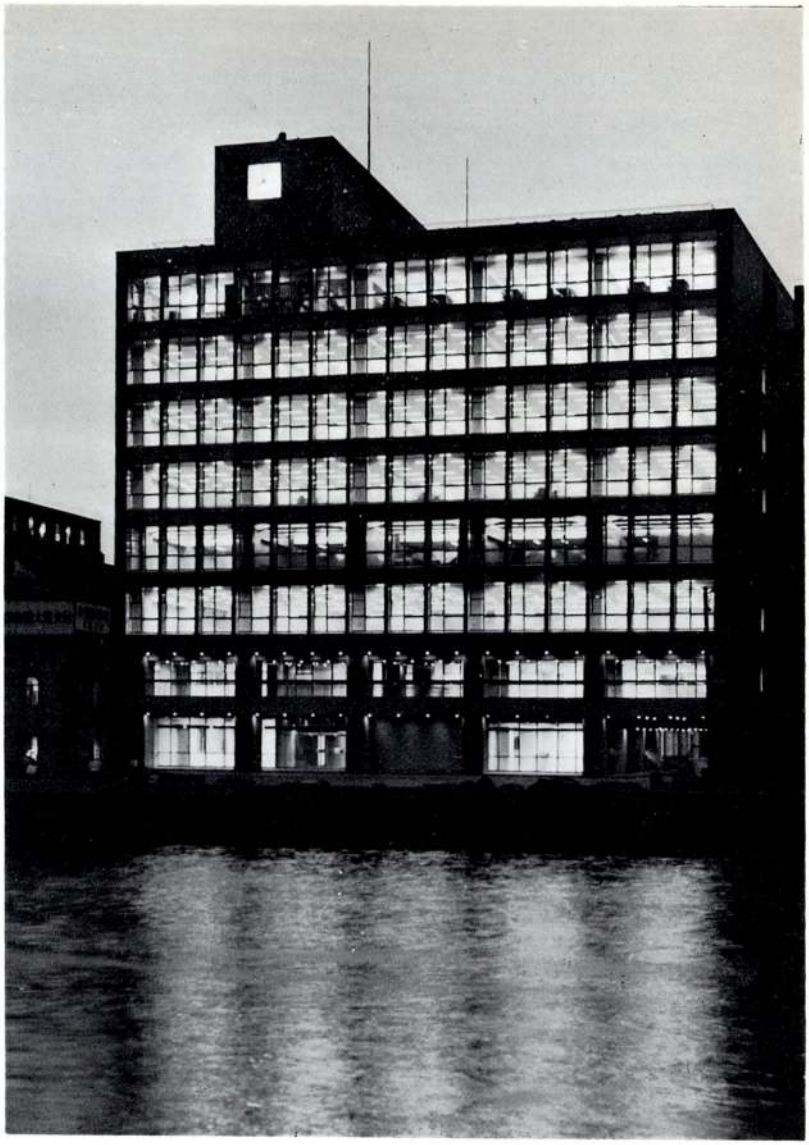
東芝商事株式会社大阪支店

三井ビルディング

ビニエスタイル3mm厚使用

日新工業株式会社

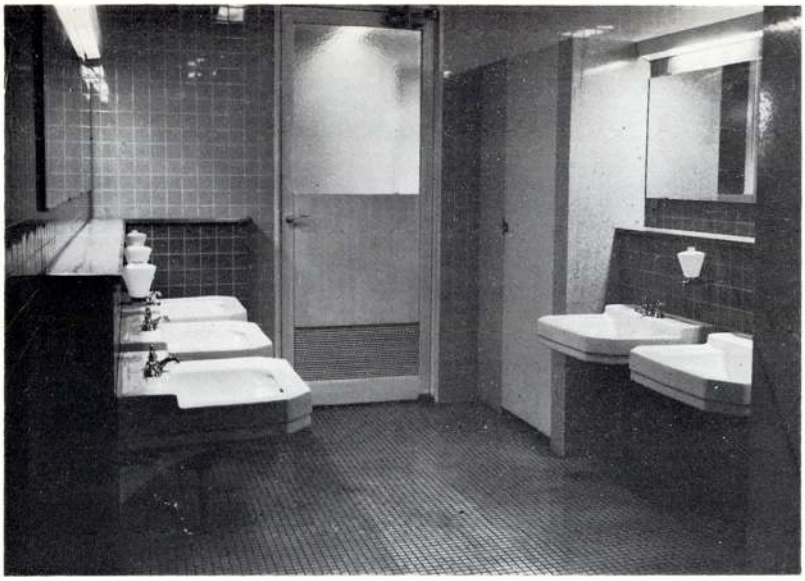




住友生命保険相互会社

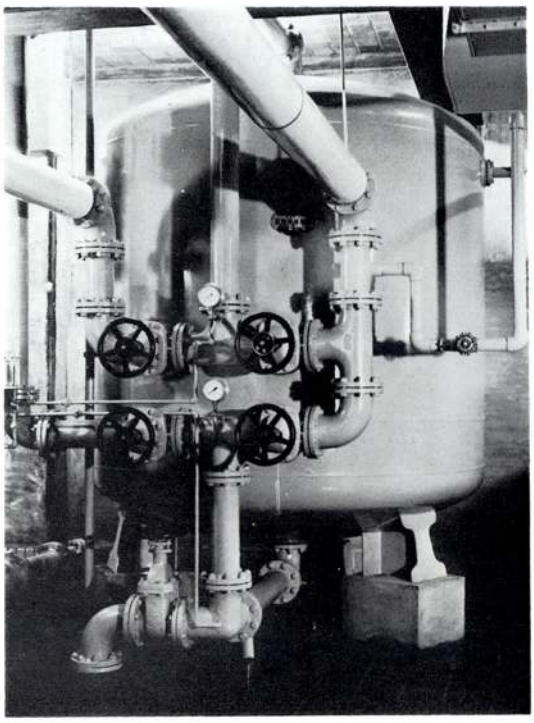
設計　日建設計工務株式会社

施工　株式会社　竹中工務店

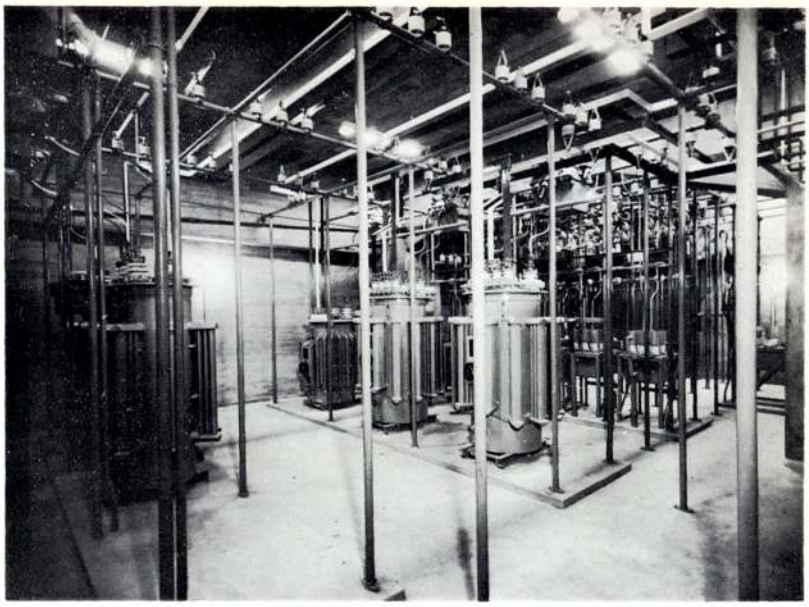


住友生命保険相互会社

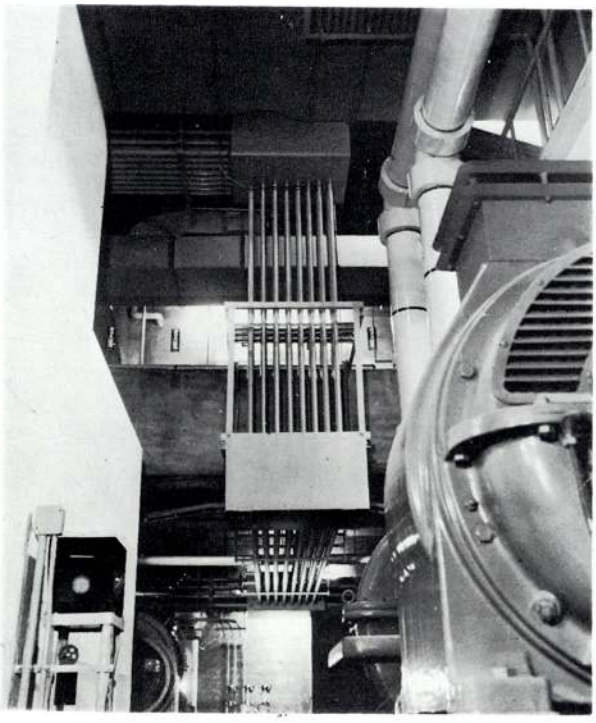
給排水・衛生設備　須賀工業株式会社

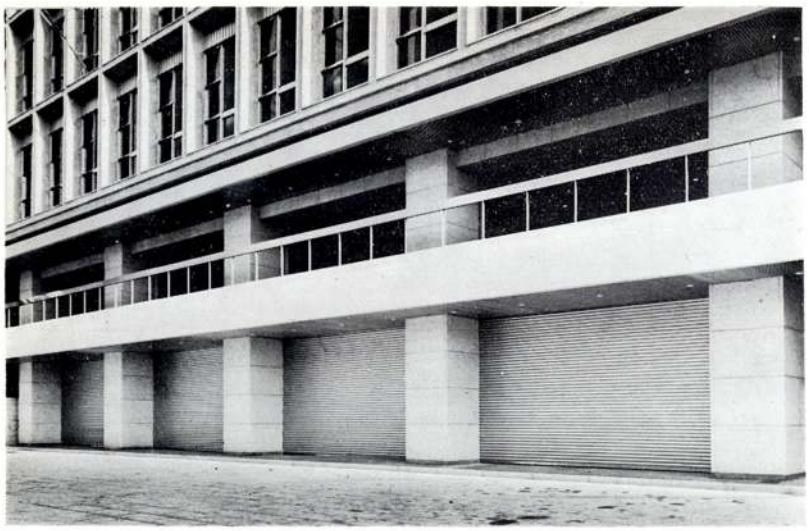


住友生命保険相互会社



電気設備　近畿電気工事株式会社





住友生命保険相互会社

シャタア工事　株式会社　鈴木シャタア商会

照明設備　浅海電気株式会社



住友生命保険相互会社



保護貸金庫および出入口鉄扉

金庫設備工事　株式会社　大阪熊平金庫店



書庫室内装設備

住友生命保険相互会社



役員応接室

椅子張裂地・カーテン・レース裂地加工取付施工

株式会社　川　島　織　物

急速濾過装置　軟　水　工　業　株　式　会　社

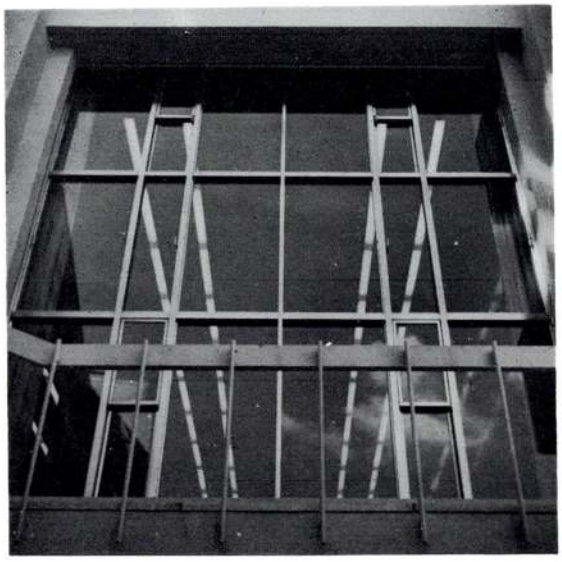
ステンレススチール・サッシ

日本建鉄株式会社大阪営業所

株式会社　矢　橋　大　理　石　商　店

玄関エレベータホール
営業室柱・壁及エレベータホール床
各階エレベータ前





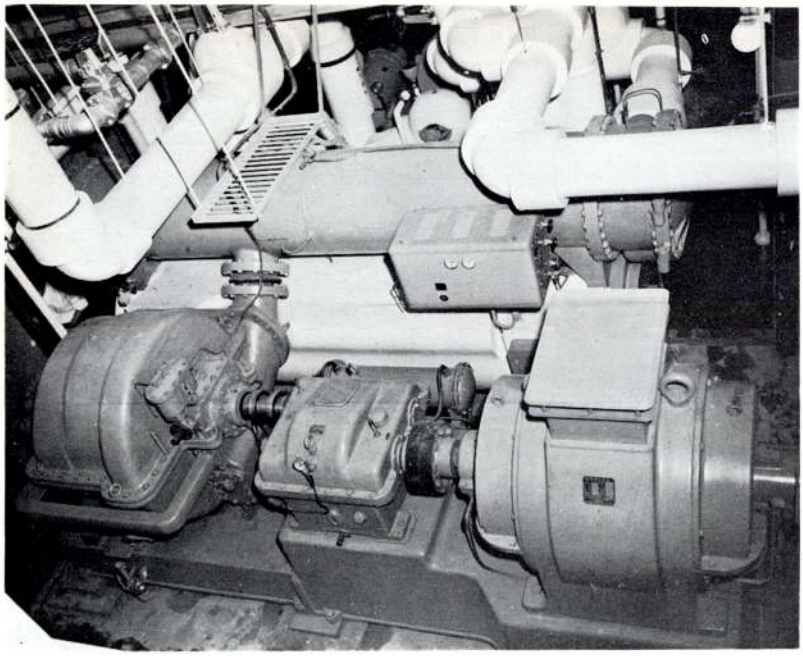


住友生命保険相互会社本店社屋

カーテンウオール
材質　ステンレス

東京鋼板工業株式会社

住友生命保険相互会社

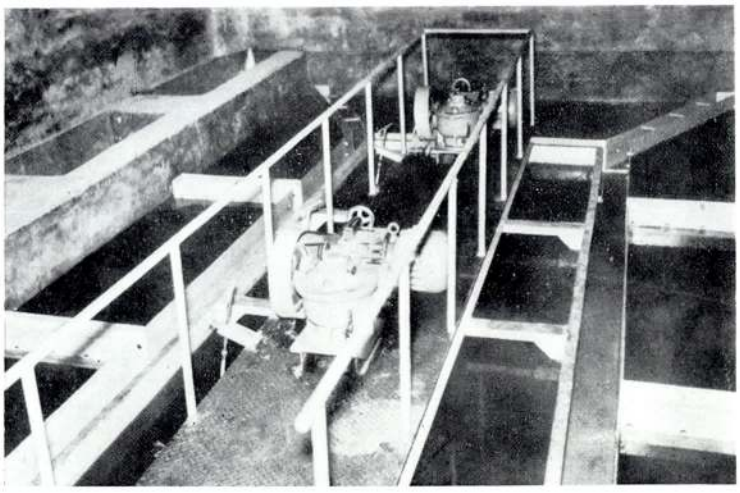


ターボ冷凍機設備

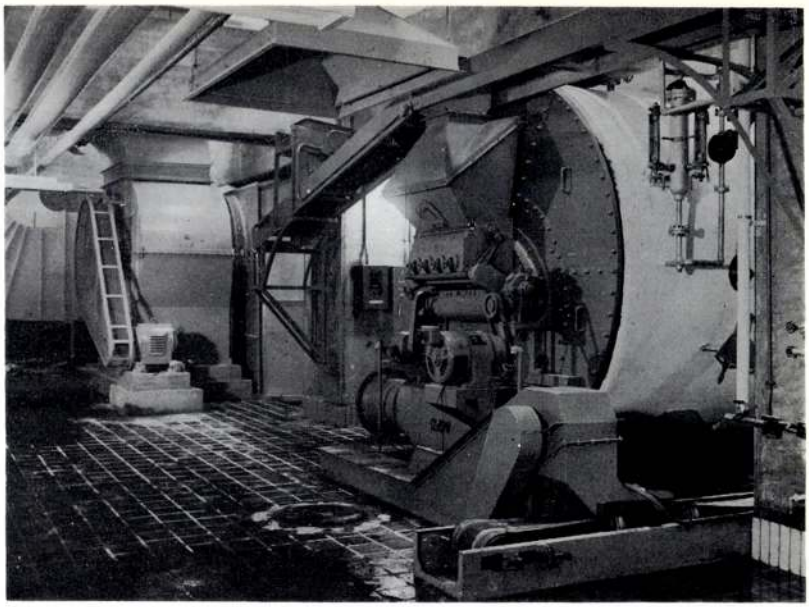
株式会社　荏　原　製　作　所

用水処理設備：アクセレーター

荏原インフイルコ株式会社



住友生命保険相互会社



鋼板製蒸汽缶（ＭＰボイラ）

空気調和設備についての詳細は本文76頁「設備の新しいＰＲの頁」を参照して下さい。

空気調和設備

株式会社　大阪電気商会大阪暖房商会



タイル

淡陶株式会社大阪支店

住友生命保険相互会社



全　景

ブルーペーン使用
サーモペーン複層ガラス

日本板硝子株式会社

タフライトドアー使用

正面玄関



建物クリーニングの店

住宅美素工事の創始者

◎ビルディングの洗浄工事
◎建物外塗サンドブラスト工事
◎建物外壁各種吹付工事
◎建物外壁シリコーン防水工事
◎月極め清掃工事
◎木造建築洗浄美素仕上工事

株式会社 **美素工業所**

大阪市東区瓦町二丁目(三和ビル)　電話㉓4938・5888・㊼8050

S.K ユートピア

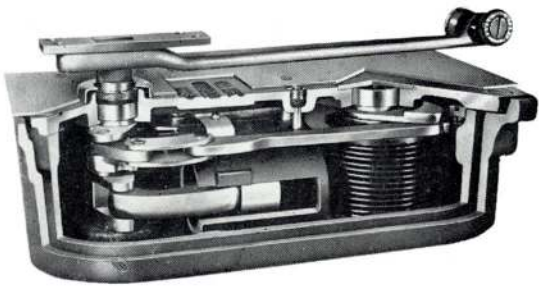
近代人の感覚にマッチする

ユートピア印



(片開持出吊り型)

フロアーヒンヂ　**ピボットヒンヂ**



(中心吊自由開型)



(ピボット・ヒンヂ持出し吊り型)

(カタログ御入用の節は御申込下さい)

製造元

敷島金物株式会社

布施市横沼町1丁目46番地　電話　布施(72)839・7713番
東京都千代田区神田和泉町1ノ11　電話　東京(866) 3051～2番

絶讃！ナイロンカーペット…



東レナイロン絨毯 ・緞通は100%スパンナイロン糸を使用したもので・摩擦に強く
・弾力性に富み・吸塵性が少なく
・虫の害を全く受けません

東レナイロン

絨毯・緞通

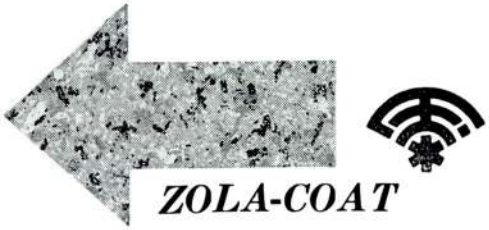
このほか価格低廉な 100%レーヨンによる
東レカーペットも好評を博しております

東洋レーヨン株式会社

発売元 (株)泉　商　会
大阪市北区宗是町(大ビル150号)
電 (44) 2736～9



米国特許 No. 2,591,904
英国特許 No. 760,605
日本特許 No. 231,698



ZOLA-COAT

新しい塗料から生まれる新しい環境

コンクリート・モルタル・プラスター・木材・金属紙・繊維・皮革・その他あらゆる材料に深さと魅力を与える高分子粒子状多彩塗料

A Plastic Coating, Multi-color Paint

ゾラコート

関西ペイント
大阪市東区伏見町5丁目27

●カタログ御希望の方は当社宣伝課迄御申付け下さい。

建築と社会

6

都市計画特集
——大阪の場合——

表紙　デザイン：村尾　栄

建築と社会
第40集・第6号
売価　1部180円・送料共
昭和34年6月20日印刷
昭和34年6月25日発行
発行所　社団法人　日本建築協会
大阪市東区北浜3丁目37
電話　北浜㉓9648・9649・9640番
振替口座大阪39975番
発行人　沖田誠一
編集人　松井昭光
印刷所　株式会社研文社
大阪市北区堂山町66
電話㉞2091～3番
印刷者　網野　栄

1959年6月号目次

巻頭の言……今日の都市計画問題……吉田　信武…22

作品作風

三井ビルディング…… 設計監理　株式会社　横河工務所…23
施工　株式会社　竹中工務店
三井建設株式会社

住友生命保険相互会社…… 設計監理　日建設計工務株式会社…28
施工　株式会社　竹中工務店

八幡市民館・美術工芸館…… 設計　村野・森建築事務所…34
監理　八幡市建築課
施工　清水建設KK九州支店

建築の眼……36

本文

大阪の市街地高度利用について……山田　忠顕…37
上野　正樹

大規模建築物を中心とした自動車の滞溜について
……久保　晴茂…50

大阪市の地盤沈下とその対策について……八木　健二…58
上村　正人

大阪駅前改造計画について……堀　新次…63

NEW TOWN——大阪の場合——……前田　勇…67

H型鋼について……海野　三蔵…73

設備の新しいPRの頁……76

会合（4月分）……77

今日の都市計画問題

吉田信武

わが国大部分の都市は，都市自身が醸し出す種々な弊害に悩まされている。とくに大都市においてその感が深い。明日の都市計画として理想的な各種の構想を画くと同時に，この現状を打開する方途を講じなければならない。本邦の都市計画法で，都市計画とは，交通，衛生，保安，防災，経済などに関し，永久に公共の安寧を維持しまたは福利を増進するための重要施設の計画である，とあるが，むしろ消極的にその改良救済のみでも精一杯である。

当局者の工夫努力によって，百年の大計とまでは行かないが，一応の街路計画，緑地計画，地域制などが整い，遅々としてではあるが，それでもあらゆる困難を押し切ってこれが実施を見つつある。しかし，かくして漸くでき上った道路も，自動車の異状な発達により，その機能は十分果されず，むしろ無能視されるに至っては，まさに主客転倒である。さりとて自動車交通をいたづらに制限することは，文明の利器を放棄する愚策で採るべき途でない。路面電車の地下鉄化と自動車駐車場の設置に意を用いれば，この非難は相当解消されるであろう。

駐車場は地下でもよし，多層建築でもよい。貴重な街路を塞がぬように設ければよい。公共施設として公営が最もよいが，営利事業の対象としてもよい。また，相当規模の建築物には当然の附属施設としてこれが設置を法的に措置しても酷ではなかろう。

苦心の末完成した都心の幹線街路に面して低層の木造建築が平然と櫛比している有様は実になさけない。骨格にそぐわぬ筋肉である。土地の高度利用を十分に徹底せしめなければならない。建物を高層化し，空地を十分にとり，防火，衛生などの見地からの要求を満たすことは，国民財産の保全上大切なことである。貧弱なる市民の力のみではこれが実現はおぼつかないので，建設省関係の防火帯造成金補助，住宅金融公庫の中高層建築融資，日本住宅公団の施設付共同住宅建築造成などの途が拓かれた。まことに時機に即応した結構な方策であるが，都市を防護するには量的にあまりに貧弱である。願わくば，大英断を以って早急にこれらの枠を大拡張してもらいたいものである。

都市再開発，とくに大都市の主要駅前の根本的改良は目下の急務である。交通の隘路となっていることはもちろん，当然その区域にあってこそ効果を十分発揮すべき建物が各種の原因によって他の建物に駆逐され介在すらも許されず，ために生ずるその地区の由々しい非能率化はその都市の体面を汚す。今回大阪市においては，大阪駅前の相当広範囲の区域を整理するために，いわゆる主体換地を実施することに腹を決め，着々調査準備中と聞く。これが成否は本邦都心改良の規範として衆目の的となっている。これが成功を祈るや切である。

なお，大阪市にとってすこぶる痛いのは地盤沈下問題である。とくに海寄りの西部地区においてははなはだしく，巨万の経費と長年にわたる労力を費してようやく完成に近づいた土盛事業も，いつの日かにまた元通りの低湿地となるおそれは十分にある。これを救済する一助として，今回大阪市では地下水汲上げを制限する条令を公布し，建築主に協力を求めることとなった。結果はこれを将来にまたねば明白にならないが，効果あれかしと希う次第である。

（筆者　本会理事・新鋼建設工業KK取締役社長）



北正面	サッシ・スパンドレル	：アルミニウム
	柱・窓台	：ステンレス
	二階以上の石材	：屋島産庵治石
	一階柱	：スエーデン産花崗岩
	壁	：ポリテラ（伊奈製陶）
	出入口	：ステンレス，強化硝子

三井ビルディング

大阪・中之島

設計監理　株式会社　横河工務所
施工　株式会社　竹中工務店
三井建設株式会社



渡辺橋上より望んだ全景

三　井　ビ　ル　の　設　計　に　つ　い　て

KK 横河工務所　　松井貫太郎

最初設計に当って，会社からの要望は借室希望が多く，できるだけ貸室面積を多くしたいとのことであった。それで建物境界線を敷地一杯に持っていったがまだ足らないので，1階でも2階でも高くしたいとのことで，ちょうどそのとき新朝日ビルと関電ビルでも中之島の特殊地帯を認めてもらいたいとの話があったので，当方でも建物高さ制限外高度許可を申請したところ，市当局ならびに建築審議会委員の諸氏が良識ある判定の下に種々の条件付ではあったが，高さ35mまで許可され，地下3階地上10階の建物を建設し得たことを感謝している次第である。

次に基礎であるが，当地はいわゆる西部大阪地層で23m～25mまで軟弱地層であるために，旧館は米松杭打基礎であり，先年接続した部分はコンクリート，ウエルを打込んだものである。しかし最近は土質工学がだんだんと進歩して，もっと簡単な方法を求めたところ，その道の権威森田紀元氏の案によって，サンドパイルによる軟弱地盤硬化法を施工し，地下3階底盤を12m深さに掘下げ，鉄筋コンクリート造平版基礎とした。ちょうど12mとすると掘さく土重量が22t/m²となり，設計建物荷重21.5t/m²より多くなるので下部粘土層に対する増加荷重はなく，したがって圧密による沈下は起らないという理論にしたがって，この工法をとった。そのため工期の点も工費の点も非常に有利にできた次第である。

次に平面構成であるが，新館は約6.5mの6スパン角の建物であるので，その中央4柱間をコアーとし，その中にエレベーター，階段，便所，湯沸などをとり，周囲に廊下を廻しその他は全部貸室とした。別図のとおりで，単純簡明な平面である。

次に建築外部はできるだけ汚染しない材料を用いたいとの要望があったので，できるだけプレーンにし竪筋を通し，横の出張りをなくすることにした。自然アメリカ式のスタイルになった。窓は全部アルミニュームを使用し，方立と窓框ならびに窓台とはステンレス・スチールとし大窓全部が白色金属ででき上り，その周囲枠および竪束を白色を包む意味で，多少黒味を帯びた庵治石（花崗石）とし，1階外部に表われた柱型はスエーデン産赤黒色花崗石を用いた。またその柱を引立たせるために1階窓周囲の石はポリテラ（磁器を磨出したもの）を使用した。

事務室内部は床張りはリノリューム，リノタイル，ビニタイルなどを用い，天井は吸音テックス貼り，壁および柱はモルタル塗サテン塗料を用い，巾木はアスタイル貼りである。エレベーターホール周囲は大理石貼り，その他はモルタル地にラッカー塗，廊下はゾラコート塗りである。

1階ホールは天井をアルミニューム枠の格天井とし，周囲壁は全部イタリー大理石貼りの上に，彫刻家村田勝四郎氏作の「海の幸」，「山の幸」，「天使」を三面に取付けた。同床にイタリー産トラバーチンを敷き，ところどころにモザイック模様を矢橋六郎氏考案で嵌込んだ。また地階特別食堂壁面には図案家芳浦美好氏作ロウケツ染をモダンボード（ポリエチレン加工）として嵌込んだ。

エレベーターは客用6台，荷物用1台であるが，その客用はオーチスエレベータ会社のオートトロニック，トラヒック，タイム，スケヂューリング，コントロール式で6台が連動する。



上
1階玄関ホール

エレベータ：伊太利産ブラックアンドゴールド
正面壁：伊太利産91号
壁：伊太利産91号
天井：アルミニウム格天井中パネルベニヤラッカー仕上
床：ドイツ産トラバーチン矢橋六郎氏案のモザイク貼
壁レリーフ：彫刻家　村田勝四郎氏作海ノ幸，山ノ幸および天使

下
銀行営業室

天井：味の素吸音テックス
壁：国産大理石および塩地練羽目
床：大理石乱貼りおよびリノタイル
カウンタ天板：花崗石の浮金
〃　腰：大理石白銀



大阪三井ビル工事を担当して

奥田孝作

商都大阪の三百年の伝統をほこった倉屋敷三井倉庫の解体後，隣接関電本社ビル工事と同時に着工しました。

基礎設計がほとんど同一であるので，山留，排水，排土に相関連性を持った総合計画を樹立，森田紀元先生のご指導を願って万全を期しました。隣家新大阪ホテルは内外著名の方々の出入が繁しく，また種々の催が多いので，とくに外部の危険予防ならびに交通関係に留意いたしました。

設計監理に当られました横河工務所は松井先生直接の指導，ご理解あるご指示とご鞭撻により最善を期することができ，施主ならびに監督者のご期待の幾分かを達成し得たことは一に松井先生のお蔭と確信しております。

請負方式は，施主のご要望により竹中工務店と三井建設株式会社の協同施工（JOINT-VENTURE）により施工されました。

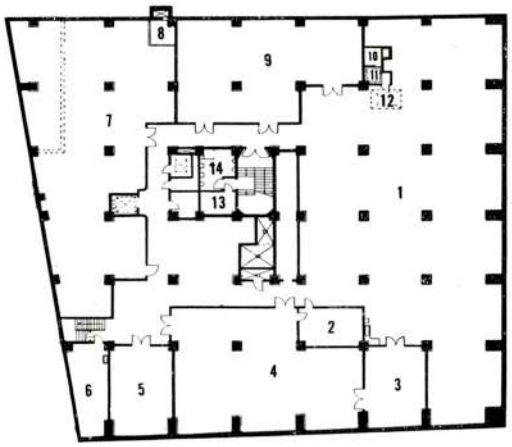
両社の協定により職員，機材，労務，資材が供出され，両社より出られた委員会により現場が運営されました。こういった場合考えられるトラブルも一回もなく，円満に順調な工事進捗と，重大災害もなく完成いたしましたのは，両社幹部の方々のご理解はもちろん，現場関係者の協力の賜物と痛感しております。終りに公共埋設物その他の手続にてご指導協力賜りました各官庁関係の方々を初め，三井不動産および横河工務所各現場関係者の方々に衷心感謝の意を表します。

（昭和34年4月）

三井ビルディング

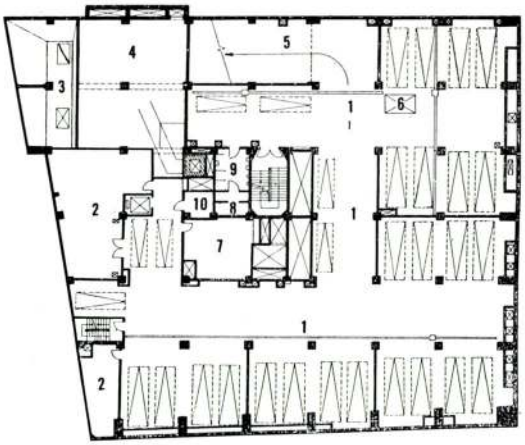
大阪・中之島

設計監理　株式会社横河工務所
施　工　株式会社竹中工務店
　　三井建設株式会社



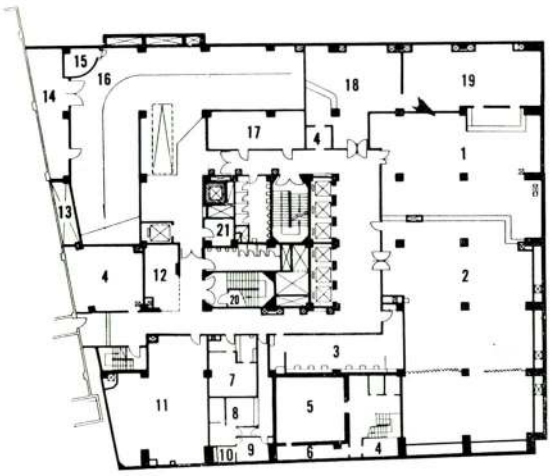
地下3階

地下3階
1. 機械室
2. 事務室
3. 遮断器室
4. 電気室
5. 発電機室
6. 蓄電池室
7. ボイラー室
8. 石炭殻捨場
9. 倉庫
10. 浴室
11. 脱衣室
12. マシンハッチ
13. ポンプ室
14. 便所



地下2階

地下2階
1. 車庫
2. 倉庫
3. 石炭庫
4. 吹抜
5. スロープ
6. マシンハッチ
7. 運転予備室
8. 荷溜
9. 便所
10. 倉庫



地下1階

地下1階
1. 厨房
2. 食堂
3. 理髪室
4. 倉庫
5. 貨金庫
6. 監視路
7. 衛科診療室
8. 内科診療室
9. レントゲン室
10. 暗室
11. 三友会
12. 売店
13. ダクト
14. 石炭庫
15. 車路監視室
16. スロープ
17. 食堂関係更衣室
18. 喫茶室
19. 特別食堂
20. 洗濯室
21. ファン室

特別食堂



地下喫茶室



建築地	大阪市北区中之島3丁目5
敷地面積	674.54坪 2,229.89m²
建築面積	建坪 568.49 1,879.30
	延坪 7,553.10 24,834.01

階別	坪数	
B3	576.坪50	1,907.m²10
B2	587. 50	1,942. 12
B1	595. 49	1,968. 56
1	538. 34	1,779. 62
2	551. 89	1,824. 42
3	568. 49	1,879. 30
4—10	556. 45	1,839. 50
R1	79. 78	218. 79
R2	79. 78	218. 79
R3	79. 78	218. 79
計	7,553. 10	24,834. 01

構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
	地下3階 地上10階 塔屋3階
高さ	標準地盤よりパラペット天端まで
	35.00m
	標準地盤より塔屋天端まで
	47.00m
工期	昭和32年4月6日
	昭和34年3月12日

三井ビルディング

大阪・中之島

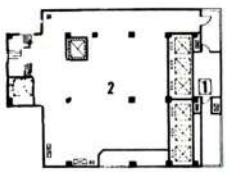
設計監理　株式会社 横河工務所
施　工　株式会社 竹中工務店
　　三井建設株式会社

一般事務室

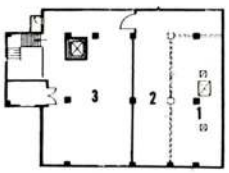


各階エレベーターホール





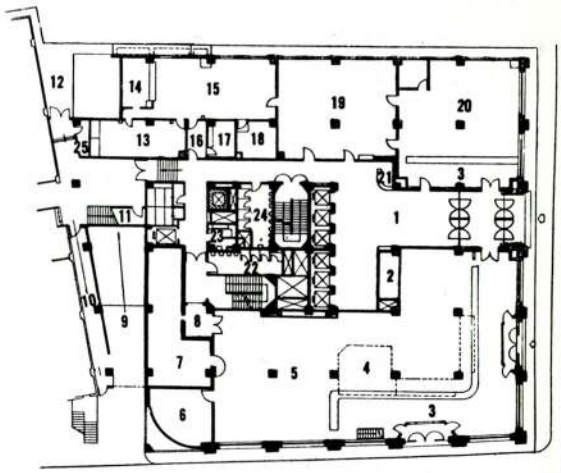
塔屋2階

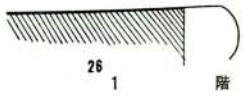


塔屋3階

1　階

1. ホール
2. 応接室
3. 客溜
4. 出納
5. 営業室
6. 支店長室
7. 金庫
8. 見張室
9. スロープ車路
10. スロープ
11. 物置
12. 非常出口
13. 更衣室
14. 厨房
15. 食堂
16. 通路
17. 備人室
18. 電話交換室
19. 会議室
20. 第二営業室
21. 案内所
22. 女子便所
23. 湯沸室
24. 男子便所
25. 倉庫
26. 新大阪ホテル

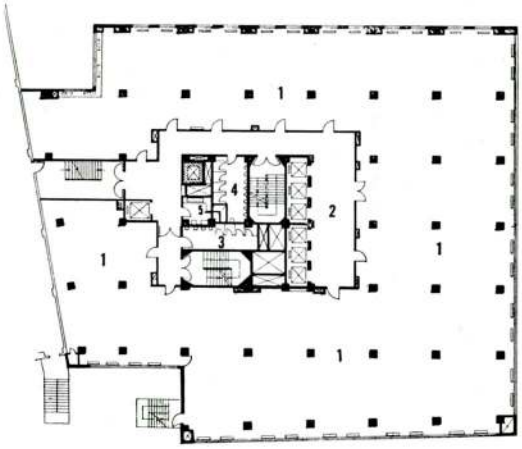




26　1　階

2 ～ 10 階

1. 事務室
2. エレベーターロビー
3. 女子便所
4. 男子便所
5. 湯沸室



2 ～ 10 階

塔屋1階

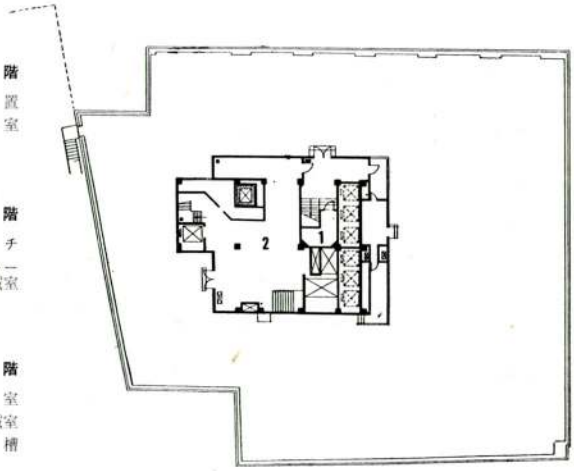
1. 物置
2. ダクト配管室

塔屋2階

1. ハッチ
2. エヤーワッシャー機械室

塔屋3階

1. 第2機械室
2. エレベータ機械室
3. 水槽



塔屋1階



土佐堀川左岸よりみる

住友生命保険相互会社

大阪・中之島

設計監理　日建設計工務株式会社

施　工　株式会社竹中工務店

設　計　余　録

岡橋作太郎

敷地は南北に細長く，南北両辺が道路に接している。建物は南寄りとし北に第二期工事のためのスペイスを残してある。建物は南寄りではあるが，道路界からはずっと後退させてある。理由は前面道路が狭いのでセットバックのない建物とするためには後退せざるを得ないことが第一，自動車の処理上からが第二である。東隣の建物も同じ理由からであろうが後退して建てられている。この賢明な処理にならい，かつは都市景観上から壁面をこの隣家の壁面にそろえることにした。建物の前面に空間を作ったことは狭い道路からもよく建物を仰ぎ見ることができ，建物の格を上げることにもなったと思う。

さてこれら二つの建物は自らの判断によってこのように建てられているが，新しく作られる附近の建物はどうなるであろうかと気になる。もっとも気にかかるのは西のお隣りの建物ができるときのことである。都市生活のよい環境を作り出すためにはよい都市計画（都市デザイン）とよい建築とが必要であるが，よい建築が生まれるのに一つの障害となっていることがあると思う。それは現行の建築基準法の一部である。古くなってきた法規を再検討すべきであるという声が大きいのは当然のことである。かりに，道路巾を基として細かく建物の部分的形状を拘束する現行の法規を変えて，敷地面積を基にして建物の地上階延面積を規定し建物の形状自体を自由にすることにしたとするならば，建物の設計は合理性を増し，素直な美しい建物が生れ，都市生活の環境の向上に大幅に貢献することができるだろう。



建築位置	大阪市北区中之島2丁目16番地
敷地面積	3,480.361m² (1,052.81坪)
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造，地下3階 地上8階 塔屋3階
建築面積	建坪 1,657.81m² (501.49坪)
	延坪 19,377.57m² (5,861.71坪)

内訳

	m²	坪
R₃	194.37	(58.79)
R₂	197.68	(59.79)
R₁	246.85	(74.67)
8F	1,653.00	(500.03)
7F	1,663.83	(503.31)
6F	1,663.26	(503.14)
5F	1,662.28	(502.84)
4F	1,662.28	(502.84)
3F	1,662.28	(502.84)
2F	1,096.12	(331.58)
1F	1,657.81	(501.49)
B₁	1,954.07	(591.11)
B₂	1,761.91	(532.98)
B₃	2,301.83	(696.30)

軒高	31.00m
最高部高	42.29
最深部高	14.880
工期	起工 昭和31年10月18日
	竣工 昭和33年7月22日

住友生命保険相互会社

大阪・中之島

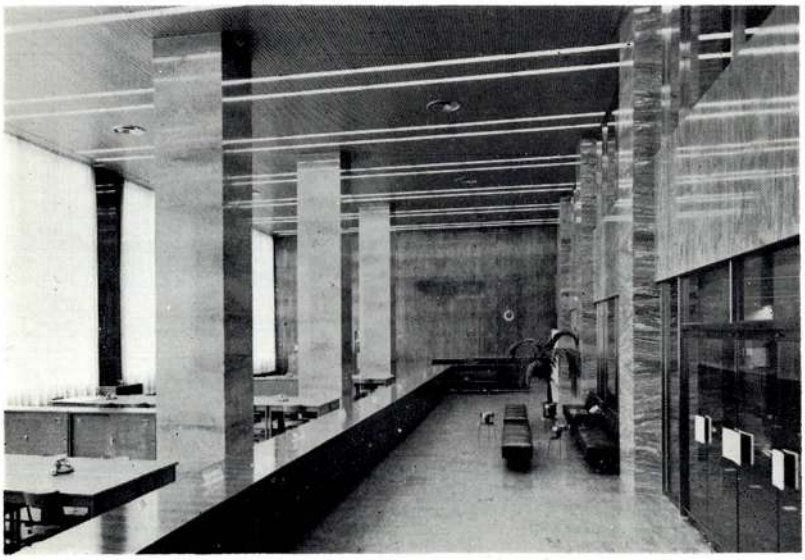
設計監理　日建設計工務株式会社
施工　株式会社竹中工務店



南側外観



1階エレベータホール



営　業　室

住友生命保険相互会社

大阪・中之島

設計監理　日建設計工務株式会社
施　工　株式会社竹中工務店

施工者のことば　株式会社 竹中工務店工事長　宮崎正雄

本工事の施工を終えて最も印象的なことを一，二述べさせていただきます。第一は将来の増築を考慮のうえ計画された，井筒ケーソンによる深礎地形の施工で，井筒は最大直径5m，最小3mの円筒形もの66カ所で，底面の深さは地盤面より19m50cmで，これの作業のうち最も大切な底辺附近の砂礫層の帯水の処理でありました。幸い関係者一同のたゆみない協力により，隣接のビルにも影響殆く地形工事が完成したことは，労苦に比例して喜びも大きかった次第であります。

次に本工事には，サッシュドアーなどに約80屯のステンレススチールが使われておりますが，これの養生のため一部ストリップペイントをスプレーしましたが，後にこれの剝離に際して相当困難がありました。事前に養生効果のみならず剝離についてなお一層テスト研究の必要があると考えます。また全館窓ガラスは，二重複層ガラスを嵌め込みましたが，硝子の寸法と枠との関係は，硝子の厚さが19%程度となるため，硝子寸法の決定はすべて，嵌めこみおよび取り外し実験による方が無難であると考えます。

以上まことに言葉不足でございますが竣工後の印象を述べさせていただきました。最後に工事にご関係くださった皆さまに，紙上をかりまして厚くお礼申し上げます。

住友生命保険相互会社

大阪・中之島

設計監理　日建設計工務株式会社
施　工　株式会社竹中工務店



一般事務室



貴賓室



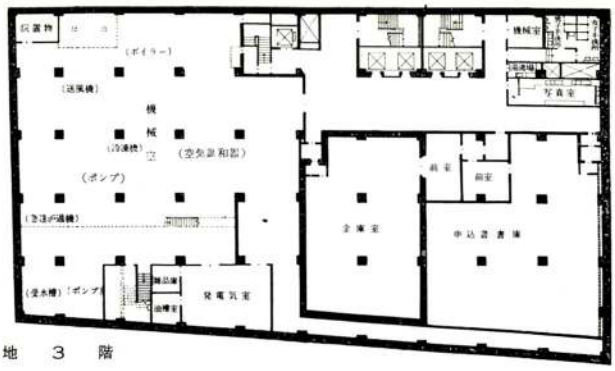
役員応接室



食　　堂



喫　茶　室



地　3　階



地　2　階

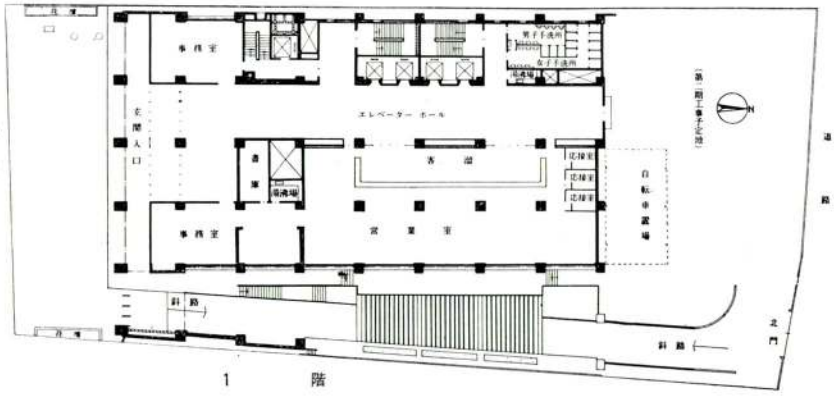
住友生命保険相互会社

大阪・中之島

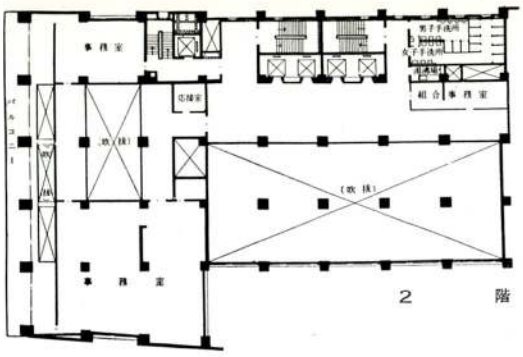
設計監理　日建設計工務株式会社
施　　工　株式会社竹中工務店

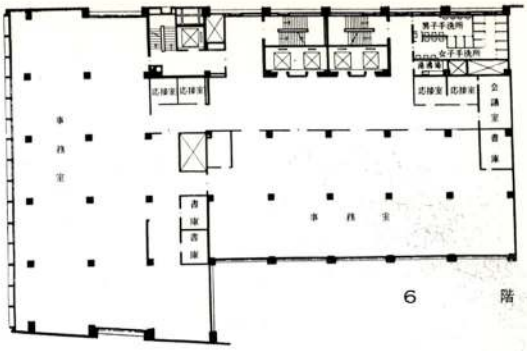


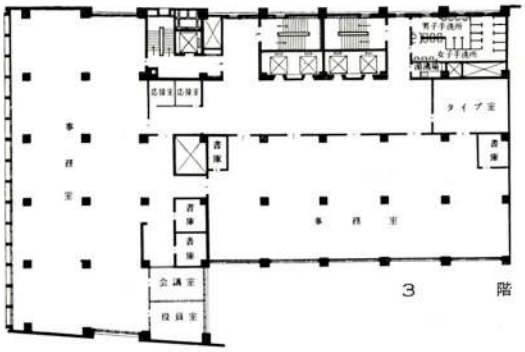
地　1　階

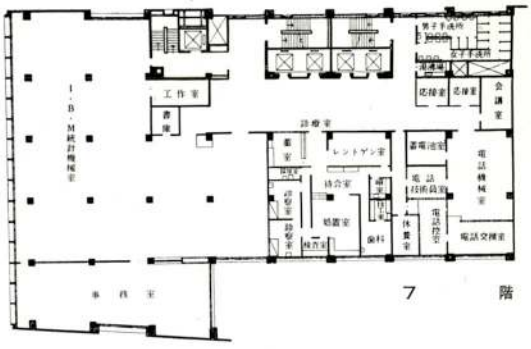


1　　階

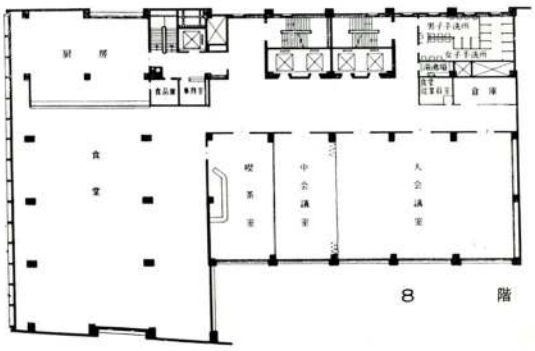

事務室
組合事務室
(吹抜)
2 階

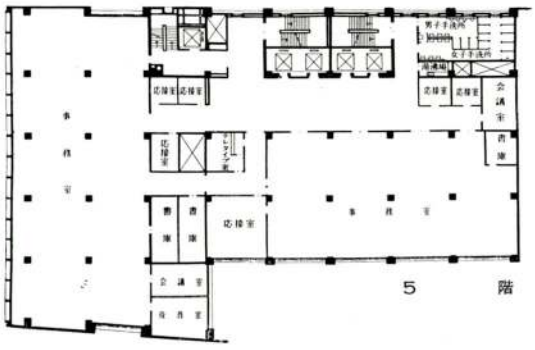

事務室
6 階

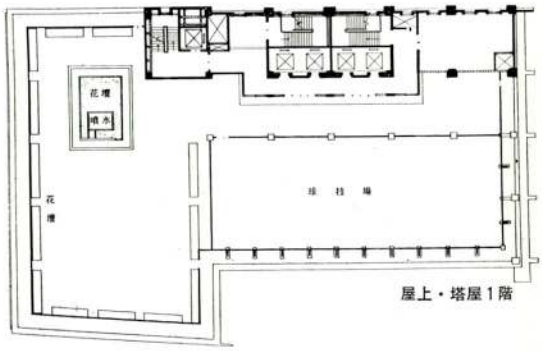

タイプ室
事務室
会議室
役員室
3 階

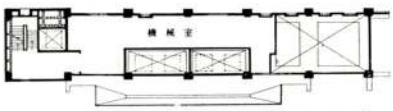

工作室
診療室
レントゲン室
会議室
事務室
7 階


会議室
社長室
応接室
役員室
事務室
4 階


厨房
食堂
中会議室
大会議室
8 階


事務室
応接室
会議室
5 階


花壇
球技場
屋上・塔屋1階


機械室
塔屋2階


電気室
エレベーター機械室
塔屋3階

八幡市民館・美術工芸館

設計　村野・森建築事務所
監理　八幡市建築課
施工　清水建設株式会社九州支店







位置　八幡市大字尾倉字釜蓋
工期　自 昭和33年2月8日
　　至 昭和33年10月15日
構造　鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階，地上4階
面積　建坪 3,319坪　延坪 5,349坪
主要仕上
外装　前面アーケード柱，桁，パラペット打放し
　　正面および側面二丁掛塩焼タイル
　　背面モルタルエマルリシン吹付
屋根　鉄骨S波型鉄鈑下地とし，コンクリート打，アスファルト防水
内装〔アーケイド廻り〕
　　床　クリンカータイル
　　天井　フレキシブルボードペンキ吹付
〔劇場〕
　　床　アスタイル，色モルタル
　　壁　ベニヤ板（ラワンVグルーブ）ラッカー塗
　　天井　曲形ベニヤ板ペンキ塗
〔ホワイエ廻り〕
　　床　アスタイル
　　壁　モルタル掻落
　　柱　ゾラコート吹付
　　天井　タイガーボードペンキ吹付
〔美術工芸館〕
　　床　アスタイル
　　壁　カラードクロース貼り
　　天井　ニッポンクロース貼り



地階
1. ホール
2. 集会室
3. 染色工芸室
4. 美術館倉庫
5. 陶土室
6. 機械室
7. キップ売場
8. 電機室
9. 管理人室
10. 女子便所
11. 男子便所
12. 石炭庫
13. ドライエリヤ



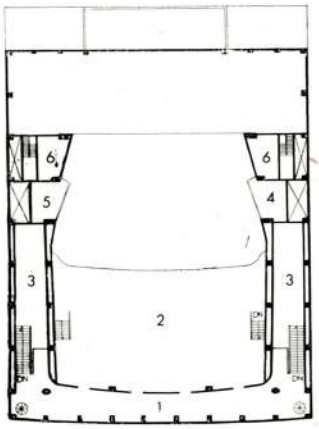




1階
1. ホワイエ
2. 事務室
3. 観客席
4. 舞台
5. 鳥屋口屋
6. 楽屋
7. 男子便所
8. 女子便所
9. 展示室
10. ホール
11. 地階屋上
12. ドライエリヤ
13. 煙突

2階
1. 観客席
2. 投光室
3. 鳥屋口上部
4. 男子便所
5. 女子便所
6. 屋上

八幡市民館・美術工芸館



3階 1. ホール 2. 観客席
3. 吹抜 4. 調光室
5. 投光室 6. 投光室上部



4階 1. 映写室
2. 放送室 3. 整流機室

Die Harmonie

造型美—— 前衛いけ花の，新々建築の，自然までも——が人間の心のみる目によって変容してきたものであり，また将来へ移り行くであろうと。はたしてそうであろうか。真実の美しさは決してそうでない。永遠である。

真実の美とは何か。

単純なもの——素朴なもの——調和したもの。

言いふるした文句です。——その通り。

ところが，しきりに発表される造型作品——建築も例外でない——が18世紀生れの Heine によって，

"Das Wasser ist nass"

と皮肉られそうな気がすることがあまりにも多い。かれは激しい口調でいうのである——「太陽は直径何マイルをもつ，木はたきぎにしてよく，花はしべによって分類される，水はぬれている」と単にそれだけであったとしたら自然の調和——全体美がどこにある，と。

"Harmonisch" の姿——それは "Ewigkeit" なるものである。 (YK)

選挙とポスター

4月の選挙が終ったと思う間もなく，6月の参議院選挙のための運動が始まり，街々は再びポスターで埋められた。ポスターにはどういう範囲の制限があるのか詳しくは知らないが，きっとひどい統制規則があるのだろう。そうでなければ，ポスターの程度が右翼も左翼もあまで揃う筈がない。個人が世間一般の水準を抜け出ることがいくら難かしいにしても。

さて，これからは選挙戦にささやかながら味を添える意味で，ポスターにはもっと自由を認めることにしたらどうであろうか。大きさ，枚数，他人の中傷を書いてはいけない程度のことだけを制限すれば足りる。ごてごてと下品な多色刷とする人もいるだろう。ヌード写真等を添えてそれで目を引こうとする者も出るかも知れない。また，あっさりした淡彩に，うまく文字を配して味を出す人も出てこよう。演説会を聞きにいかなくても，候補者の一面がわかり，よほど投票がしやすくなる。

こうしても，またまた，最大公約数的なポスターのみになってしまったら，それはそれで各政党が表看板の如何にかかわらず，内容は似たものだということがわかって，大変面白いと思う。 (TH)



建　築　の　眼

建物に眼があったら，

おたがいに向い合って，何を見るだろう。

きっと，まっすぐに向い合って，

永遠の生きたしるしを認め合うだろう。

また，彼等をとり巻き，流れてゆく生活の流れに浸たって，人間どもをあわれにも愛すべきものと見るだろう。

建物に眼があったら，それは聖者の眼。

われわれが，そこに娼婦の眼やならずものの眼を描こうとしても，それは建物のあずかり知らぬことだ。

(TI)

× ×

× ×

"圏" と "県" と

組織上の縦の協調に較べて横は採り難いことは自由主義民族でも社会主義民族でも同様である。世の中の関連性が多くなってくると，ピラミッドを作っても隣のピラミッドとの協調がまた必要である。オルガナイザーの重要な所以であろう。

都市圏・首都圏等の "圏" は，今では「アウタルキー」とか「ナワバリ」とかいう単純な意味ではないと思うが，境界附近にはなお多くの問題が未解決のままである。周辺の entrain はそのあたりの渦流のみによるのか，求心的なのか？そこに他の勢力があつたら益々ややこしいことになる。

行政上の既存府県境は絶対に動かせないそうである。都市計画上技術面の難関の一つ。圏境は動かせる。

建築は都市計画問題中華やかな存在であるが，華やかならざる存在・なおざりにされ勝ちな難問のしわよせが建築にもきて無駄な勢力が要求されている。問題は大部分地表面から下にある。 (TR)

大阪の市街地高度利用について

山田忠顕*

上野正樹**

大阪市およびその周辺の人口が，年々急激に増加する現状（大阪都市圏への人口集中）は，関西商工業の中心である大阪の経済力の進展を物語るものではあるが，一面大都市問題，すなわち社会的な種々の弊害や矛盾が生じてきている。住宅は郊外へ郊外へと豊よくな農地をつぶし，平面的に，かつ，無計画に膨張を続け，その結果通勤時の交通難は激化の一途をたどりつつあり，一方市街地の内部は旧態依然とした木造2階建（相当平家建がある）が狭い道路に蝟集した状態である。

そこで数年前から都市の再開発が大きな問題となり，大都市内部の不燃化，高層化が強く要望され，不燃建築物に対する取締り法令は緩和されるし，やれ耐火助成だ，中高層融資だと，正に鐘や大鼓で高度利用を推進している状態である。

しかしながら不燃化はさておき，高層化については果して適切な調査，研究の結果に基き，計画指導されているのかというと，これは残念ながらさにあらずで，（1戸でも数戸でも高層化しようとして）もっぱら個人の申請による高度化計画である。現段階としてはこれも必要なことと思われるけれども，やはり市街地の容積構成のあるべき姿（中々難問題であって数多の先輩も一応は手をつけられたらしいが，いづれもまだ決定的な結論を得ていない）を一応突き止めての上で，秩序ある高度化計画を推進すべきであることは論をまたない。

さて，市街地容積構成の最高，最低限度を決定する要素は，その地区の人口密度，用途，地価，経済力，交通処理能力など広範多岐な方面に及ぶものではあるが，要するに高度利用を推進できない決定的な要素としては，第1点として土地に高度化する力がない場合，第2点としていかに高度化する力が充実していても，その建築容積の増加に対応して増大する交通量を処理できない場合があげられると考えられる。

そこで，大阪市のどの地区が高度利用化に適しているか，どの地区が不適であるかを求めるため調査を行ったのであるが，次にその経過を述べる。

1. 調査計画の順序

まづ建築物については用途，密度，土地については地価，地耐力（地質）など主として静的固定的な事項について調査し，それぞれの地区の高度化するについての能力の程度を判定して，用途地帯別容積別区分計画を立て，次いで，その区分計画について主として道路交通処理の面から高度利用が可能であるかどうかを調査検討することにする。

2. 静的、固定的な面からの調査計画

1) 現況分析のための調査および資料の集収

全般的な概況を把握するため作成，集収した資料は次のとおりである。

α. 各町，丁目別建築物総量一覧表

大阪市内に2,937の町，丁目（昭和33年9月1日現在）が存在するが，その全部にわたって，固定資産税の課税対象となっているものについては，その台帳面積によ

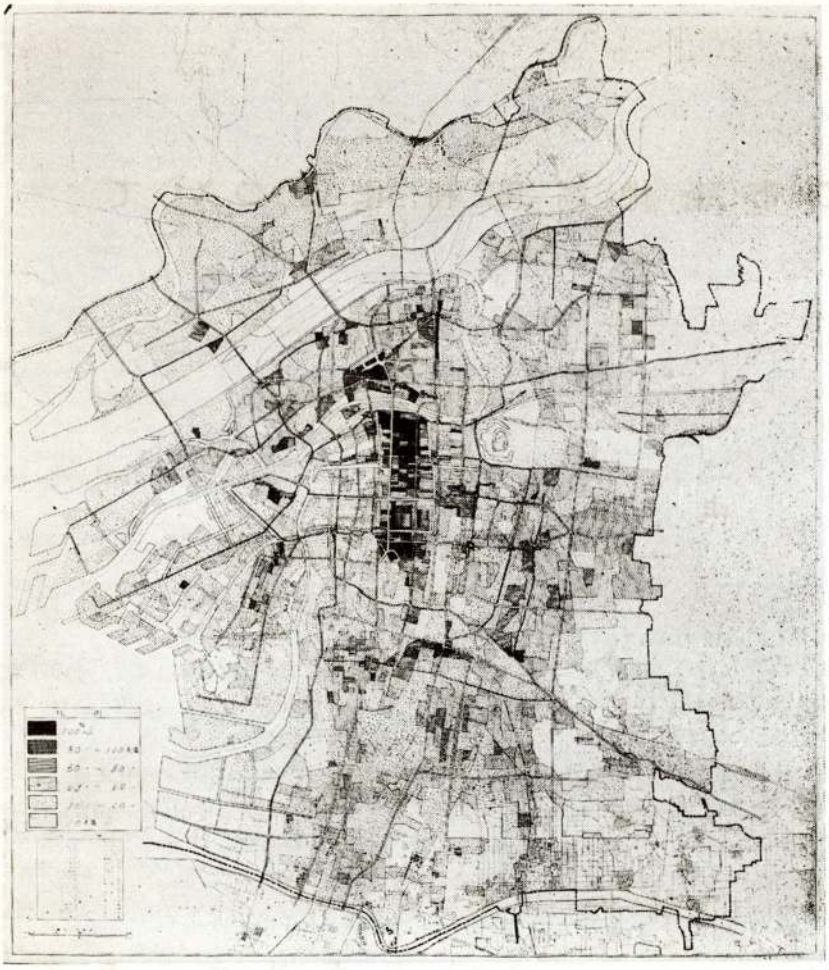


図1　各町・丁目別市街地容積率図

り，非課税のものについては実地調査により算出集計した。各区別の建築物総量は，**表－1**のとおりである。

表1　各区別建物総量表

区別	延床面積 m²	区別	延床面積 m²
北区	3,026,177	大淀区	1,146,605
都島区	1,503,227	西淀川区	1,820,466
福島区	1,720,250	東淀川区	3,528,939
此花区	1,647,649	東成区	1,981,195
東区	2,742,270	生野区	2,777,233
西区	1,601,144	旭区	1,546,419
港区	1,228,106	城東区	2,599,060
大正区	1,816,159	阿倍野区	2,367,417
天王寺区	1,540,010	住吉区	2,807,587
南区	1,973,407	東住吉区	3,062,449
浪速区	1,509,418	西成区	2,472,730

備考　昭和32年 3 月末日現在

b．各町，丁目別市街地容積率図

各町，丁目別の区域面積を縮尺3,000分の1の図面により測定し，各々の市街地容積率を算出し，これを6段階に分けて図化した。（図－1）

c．建物用途別，構造別，階数別，住居併用の有無別現況図

市内の枢要地区について実地調査を行い，図面を作成した。（極めて複雑な図で，諸種の事情により，残念ながら掲載しなかった）

d．地価概況図

市内275カ所において実情調査を行い作図した。（図－2）

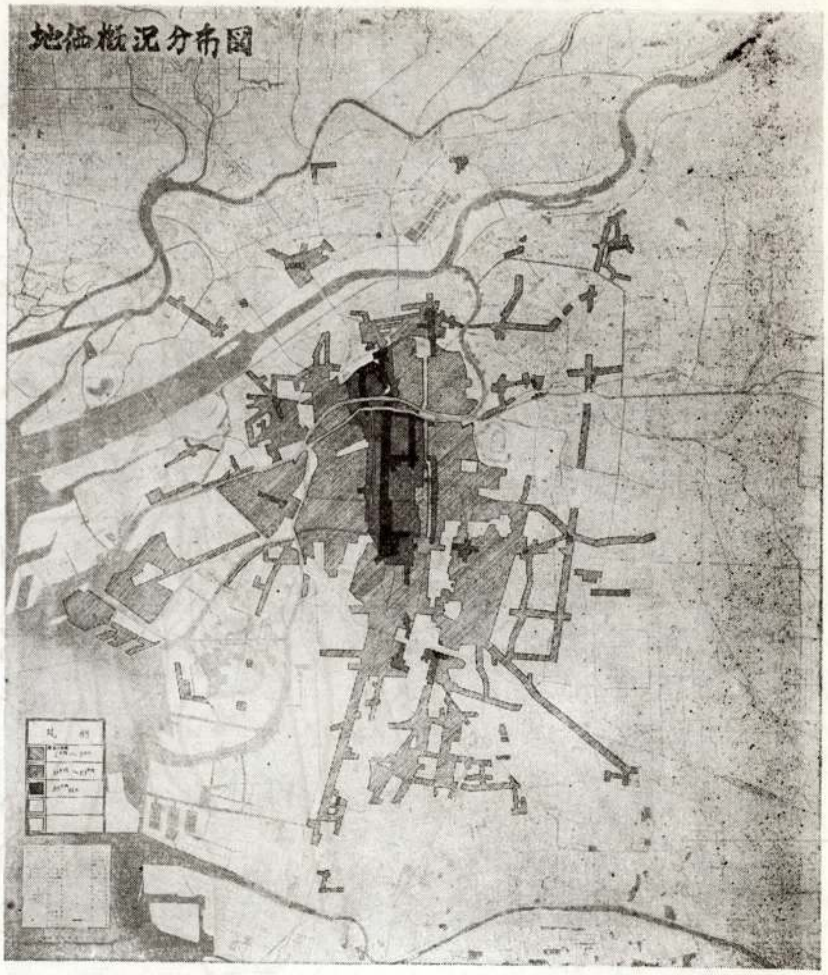


図2 地 価 概 況 分 布 図

e. **地耐力分布図（図—3）**

原図は大阪市建築局が所持する地耐力分布図であるこれは大阪市が昭和初期より最近まで，市立学校などの建築に際し，地耐力を測定した結果をまとめたものである。

2） 市街地建築物用途地帯別，容積別区分計画

以上の静的，固定的な面からの現況調査と，既定の都市計画施設，交通施設改良計画などを勘案して，大阪市全域についてまづ商業々務・住居混合・住居専用・工業専用の4地帯の区分を行い，さらに商業々務地帯においては高層地区と中高層地区に，住居混合および住居専用地帯においては中高層地区と低層地区に，それぞれ区分した。区分図は**図—4**，その面積は各区別にして**表—2**のとおりである。

この区分はあくまでも現況を尊重したものではあるが，それぞれの地帯，地区の固有の自力を最大限に評価した場合の区分ということができる。この自力をそのまま助長して高度化を推進できれば，まことに結構なことであり，そうすれば，大阪経済の伸びが幾分低下している現況（戦後の経済活動が戦前と較べ，政治と密接な関係をもってきたので首都集中傾向がはなはだしい）を一挙に吹飛ばすような景気のよいことができるのであろうけれど……。

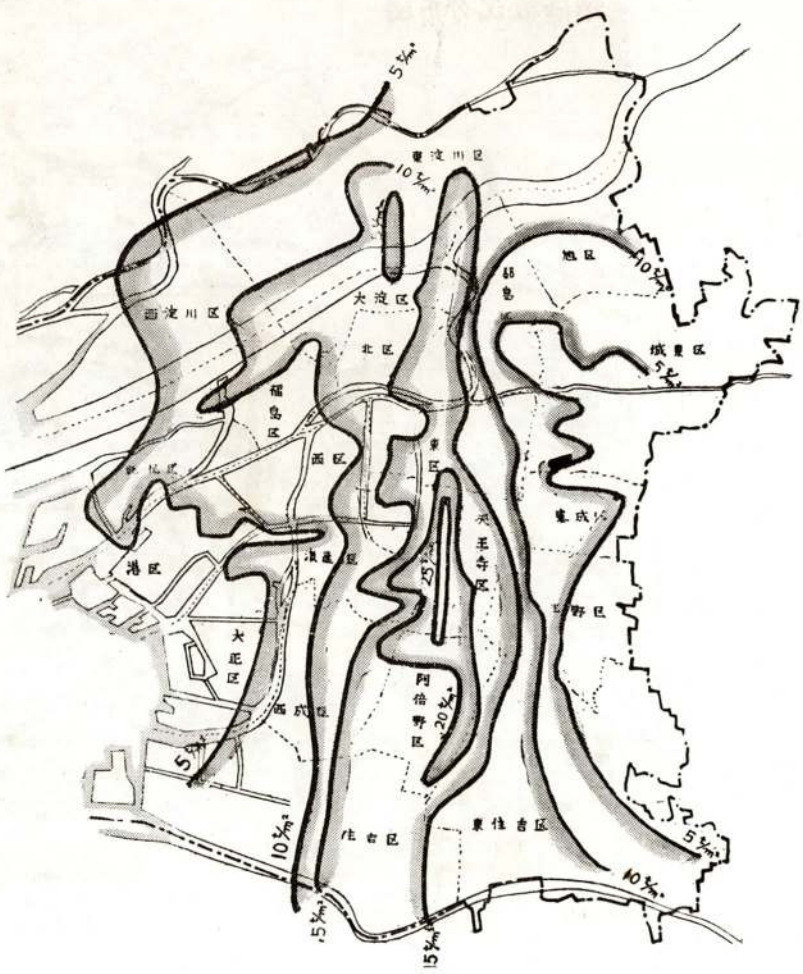


図 3　地　耐　力　分　布　図

表 2　建　築　物　地　帯　別　容　積　別　区　分　面　積　表　　(単位　ヘクタール)

区別＼種別	商業業務 高層	商業業務 中高層	住居混合 中高層	住居混合 低層	住居専用 中高層	住居専用 低層	工業専用 低層	その他 大公園 大河川等	計
北	146.3	63.7	230.4	38.1	9.2		35.4	35.9	559
都島		28.1	103.4	33.3	196.4	90.5	81.3	70.0	603
福島	19.1	69.1	142.2	42.3	52.7		110.5	32.1	468
此花		23.7	11.6	34.1	81.4	156.6	612.5	183.1	1,103
東	243.7	91.0	35.5		62.1		34.7	126.0	593
西	54.9	56.5	338.4		20.4		33.9	20.9	525
港	6.9	85.3	63.3	262.0	22.4	109.1	142.0	144.9	835
大正		33.4	17.8	231.0	11.0	176.1	430.7		900
天王寺	48.7	71.3	47.3		229.6	45.7		48.4	491
南	107.0	127.5	14.8		27.5	21.2			298
浪速	66.4	32.2	166.3	70.7		14.3	91.1		441



図 4　建築物容積別・地帯別区分計画図

表 2　建築物地帯別容積別区分面積表 (続)

区別＼種別	商業業務 高層	商業業務 中高層	住居混合 中高層	住居混合 低層	住居専用 中高層	住居専用 低層	工業専用 低層	その他 大公園 大河川等	計
大淀	1.8	35.9	231.2		3.8	20.8	45.2	121.3	460
西淀川		16.7	95.3		85.3	438.2	446.3	214.2	1,296
東淀川		23.2	51.1	242.8	653.9	566.8	560.4	444.8	2.543
東成		28.0	118.4	182.5		17.7	100.4		447
生野		27.1	71.3	307.9	36.2	402.5			845
旭		32.8	88.5		332.0	36.4	38.3	114.0	642
城東		10.7	120.2	333.8	175.5	675.0	307.8		1.623
阿倍野	18.1	84.8	143.5		247.2	104.4			598
住吉		33.2	63.5	231.1	959.9	449.5	250.8		1.988
東住吉		59.2	58.8	221.5	530.0	1,414.7	225.1	70.7	2.580
西成		69.4	131.7	92.5	176.8	28.8	177.8		677
計	712.9	1,102.8	2,344.5	2,323.6	3.913.3	4,768.3	3,724.2	1,625.4	20,515

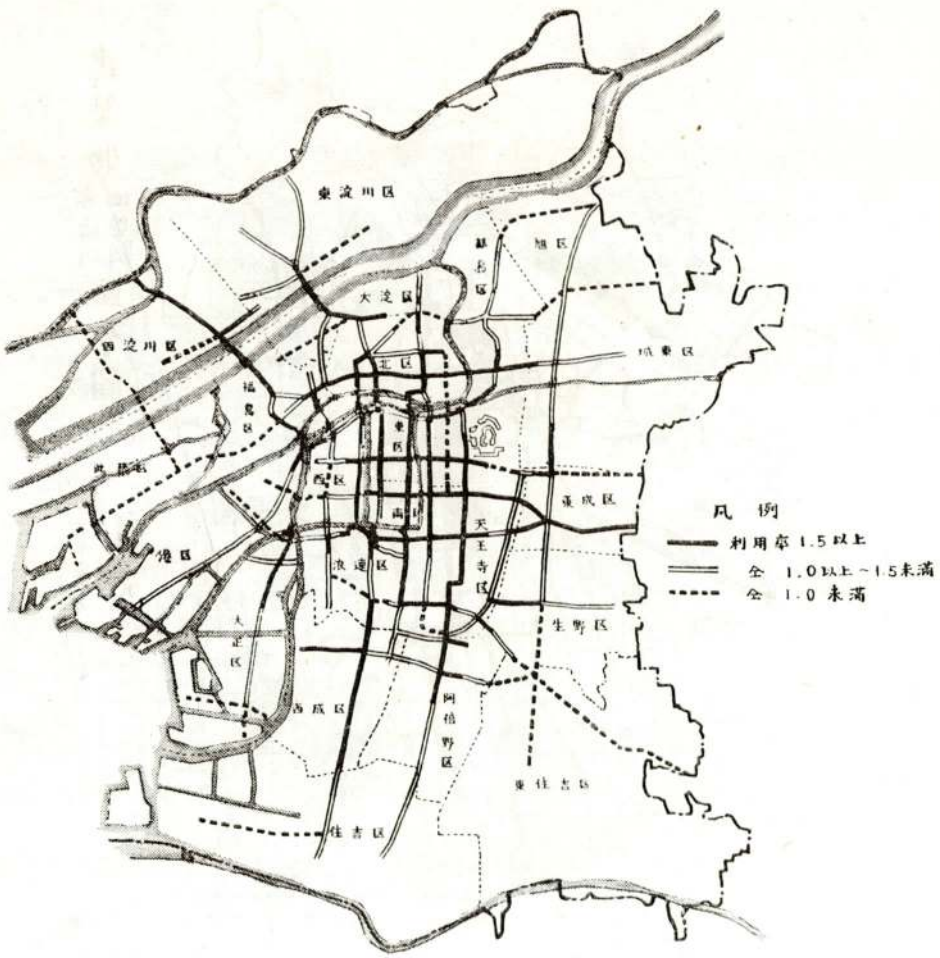


図5 道路構造令の設計基準による幹線街路利用率図

3. 動的な面からの調査検討

しかしながら，用途，地価，地耐力など静的，固定的な面から高度化し得ると判断される地区も，その地区周辺の幹線道路に，果して建築容積の増加に伴い増大する交通量を処理する能力があるかどうか，また，各種供給処理能力が平衡的に追従して行けるかどうか，という面から調査検討を加える必要がある。後者の供給処理施設の経済的な能力の限界はさておき，前者の交通問題は都心の自動車交通が正に行きづまりに近づきつつある現状を見るとき，これこそ高度化推進に対する重大な制約と考えざるをえない。

最近の自動車の増加はまことに顕著なもので，大阪府下の自動車登録台数は昭和30年には123,110台であったが，同33年においては189,762台となり，54%強の増加である。交通の行きづまりは，御堂筋を中心とする都心部を始め，各所に生じてきている状況であるが，市内主要路線についてその自動車交通の幅奏度（余裕度）を調査した。

1) 道路構造令の設計基準（車道巾員決定基準）による比率（輻奏度）判定

市内主要路線の交通量は，昨年5月大阪府警本部により実施された甲号交通調査（市内84交叉点における7時～17時間通過交通量）の結果に基きピーク時におけるものをとり，道路構造令（政令第244号，昭和33年8月1日公布）第7条の車道巾員表の許容交通量との比を求めると図―5のとおりとなり，（交叉点における半減については考慮せず）中心部においてはほとんどすべての

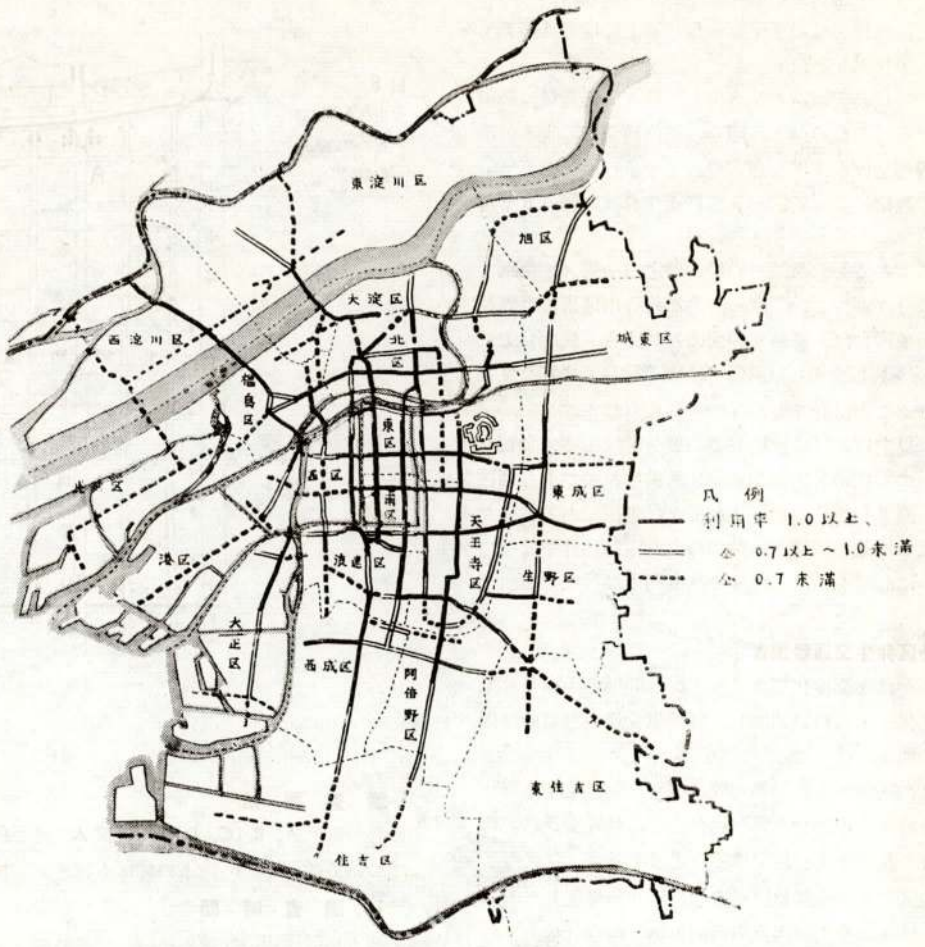


図6 実測に基く交通容量による幹線街路利用率図

個所で基準交通量を超過し，しかもその継続状態はかなり長時間にわたっているものとみられる。従って高度化の余裕はほとんどないことになる。

なお，路上駐車については，駐車場法が施行されたことでもあり，将来路外駐車施設が完備され，路上駐車は行われないものとの想定に立ち，車道（緩速車道および軌道部分を除く）巾員全部を有効として，比率を判定した。

2) 実測に基く交通容量による検討

しかしながら，道路構造令による基準交通量以下の状態を保つことは好ましいことであろうけれども，起終点間の距離が短い車を大量に通過せしめねばならぬ大都市中心部の街路にあてはめることは，やや理想に過ぎると思われるので，実情に則した容量を見出すべく実測を行った。すなわち，中心部における幹線街路交通量の限界の実際は，短区間に数多く存在する交叉点（信号）による制約が最大の隘路であるから，概略的には単位時間のうちの有効進行信号時に通過する最大交通量が，その街路の単位時間当りの最大交通容量と考えられるので，下記数地点における最大通過量

調査地点	道路構造令による交通容量 1日交通量×1/10 (v/h)	実測を基とした最大交通容量 (v/h)	信号周期 (sec)	1進行信号時間 (sec)
御堂筋(平野町交叉点)	1,200以上～1,600未満	3,139	72	33
堺筋(本町2丁目交叉点)	850以上～1,200未満	2,500	60	27
本町線(本町3丁目交叉点)	850以上～1,200未満	2,856	55	24
松屋町筋(内本町2丁目交叉点)	1,400以上～1,800未満	3,358	56	23

を実際に調査し，1時間当りに積算したところ，道路構造令による基準交通量の最高限の約2倍（交叉点制約を考慮した道路構造令の基準交通量に対しては約4倍）であることが判明した。

しかし，この実地調査から出した最大交通容量は極限であるから，これの75%，即ち，道路構造令による最高限値の50%増位が実用交通容量と考えるべきであろう。

以上の数値によって図—5を修正すれば，図—6となる。

本図によっても，所謂，船場，島之内一帯（地帯別，容積別区分計画においては，商業々務専用地帯の高層及び中高層地区）は，道路交通面の制約から，民間自力によるものはともかくも，融資や助成を行ってまで高度利用化を計ることは好ましくないと考えられる。

船場，島之内地区に比較して，幾分幹線街路に余裕があり，かつ，広巾員街路が新設，整備されつつある西区方面は，高度利用化が促進されてよい地区である。また大阪環状線周辺の区域も，地力の点から高層建築までは望めないにしても，ある程度の高度利用が行える個所である。

3) 地区発生交通量調査

ではいかほど高度化できるかという問題の手掛りとして，高度化（床面積の増加）と自動車交通の数量的関係について調査を行った。

これは，一幹線街路の勢力圏にある街区を中高層化し，建築容積を増加せしめた場合，その幹線交通にどの位の影響を及ぼすかを検討することである。

ある地区の幹線交通量は，その地区から発生したものと，その地区に全く無関係の通過車輛との合計であるから，局部的にみた場合，建築容積に密接な関係をもつものは地区内発生交通量である。そこで，モデルと考えられる地区9ヶ所（図—7）を選定し，地区発生交通量を次に記載する要領によって調査測定した。

図7 地区発生交通量調査区域図

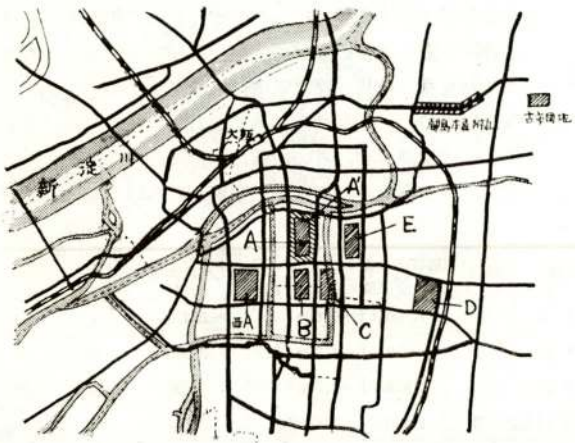
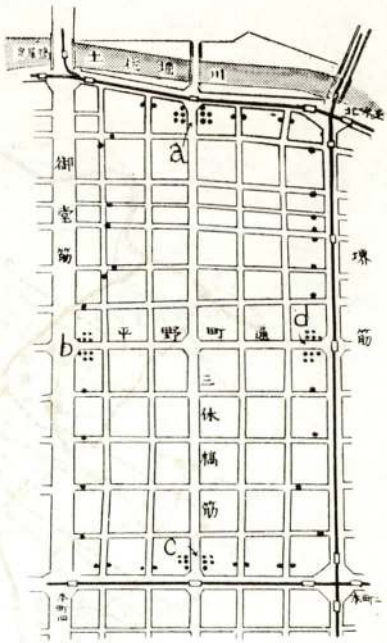


図8 東区A地区調査の際の人員配置図



調査要領

○ 東区A，B，C，D，E，西区A，について（東区Aについて述べる。B以下の地区もほとんど同様である）

i) 調査時間

調査地区周辺の幹線街路のピーク時間を警察本部実施の甲号交通調査結果から求め，その地区周辺の幹線街路ピーク時交通に対する影響を知るため，その時刻における地区発生交通量を測定した。各調査区域はいづれもかなりの面積を有し，とくに東区のA，A'，B……のごとき高発生率の区域では，この時刻における発生交通量が，単位時間当り最大発生交通量，もしくはそれに近い値であると思う。

ii) 人員配置

図—8のごとく，地区内各道路と調査地区境界線の交点に•印のとおり人員を配置した。

iii) a，b，c，dの各点における測定方法

イ，作業方法

平野町通および三休橋筋（いづれも歩車道の区別あり，巾員12.7M）においては，当地区に関係のない通過車輛（以下通過車輛という。）が，かなりあるものと予測されたので，本調査地点においては出入別に各5人が下記分担に従って観測に従事した。

分担別		作業内容
車種番号	読上係	車種1・2…9 について，登録番号標の車種番号および登録番号の後尾3桁を読上げる。
1.2.……9	記入係	上記を1分毎に欄を変え，プレート番号記録用紙に記入する。
単車	読上係	単車・スクーター類の登録番号の後尾3桁を読上げる。
スクーター類	記入係	上記を1分毎に欄を変え，プレート番号記録用紙に記入する。
時刻報知係		1分毎に，2人の記入者に時刻を報知し，かつ欄変えを確認する。

ロ，通過車輛と発生車輛の判別

通過車輛の地区内通過経路として，a→b，a→c，a→d，b→a……の12通りが想定されるので，その各々の組合せにつき記録用紙を照合し，通過車輛であるか，発生車輛であるかを判別するため，予め通過車輛の通過所要時間を測定した。その結果は次のとおりである。

平野町通（御堂筋線～堺筋線）自動車通過所要時間

測定日時	昭33.11.4. 14時～15時	天候	晴	距離	M 450	測定場所	電々公社北浜分局屋上

東行			西行		
所要時間	車種	時速 (km/h)	所要時間	車種	時速 (km/h)
1′−50″−0	5	14.7	1′−32″−7	1	17.5
1′−48″−7	5	14.9	1′−44″−0	3	15.6
1′−40″−3	5	16.1	1′−28″−2	3	18.4
1′−41″−6	4	16.0	1′−51″−2	4	14.6
1′−24″−4	3	19.2	1′−28″−8	4	18.2
1′−44″−5	6	15.5	1′−30″−0	3	18.0

三休橋筋（天満川口線～本町線）自動車通過所要時間

測定日時	昭33.11.4 10時～11時	天候	晴	距離	M 900	測定場所	協和銀行大阪支店屋上

南行			北行		
所要時間	車種	時速 (km/h)	所要時間	車種	時速 (km/h)
3′−23″	5	16.0	2′−48″	3	19.3
3′−33″	5	15.2	3′−16″	3	16.5
3′−55″	6	13.8	3′−16″	6	16.5
2′−20″	5	23.0	3′−6″	6	17.4

上記の測定結果により，照合の際平野町通については3分未満，三休橋筋については5分未満のものをすべて通過車輛とみなした。

iv) その他の街路の調査点における測定方法

平野町通，三休橋筋以外の街路については，そのうちでも通過車輛がある可能性が一番大きいと思われる高麗橋通について，日綿ビル屋上から観測したところ，単車類に僅かに通過するものが見出されただけであったので，全体から見ればその割合は極く僅小となるから，各細街路の調査地点を通過する車は全部地区内発生交通とみなした。

v) 不明車輛の処置

細街路の観測点においては不明車輛はなかったが，交通量の多い a，b，c，d，観測点において計52台の不明車輛を出したので，各調査地点の通過と発生の比，ならびに通過車輛の行先別割合などを算出し，それにより合理的に補正した。

○ 都島本通附近の調査について

i) 調査区域

都島本通交叉点から野江神社前を経て，城東貨物線まで（延長約1,450M）の街路の沿線宅地

ii) 調査時間　8時～18時

iii) 調査従事人員　延110人

iv) 調査方法

1人当り平均6～7戸を分担し，各戸別の発生車輛を出入別・各車種別に記録した。

○ 大阪市営古市団地の調査について

団地周辺に調査地点を設け，出入する車を記録するとともに，別に団地内を通過する車を測定し，調査終了後差引した。

なお，本調査に当り最もなやまされたのは当日の天候の良否である。雨天であれば作業の困難性は厭わなくとも，正常な結果が得られないので，調査実施期日決定に際し，当らぬ気象予報と随分苦闘したものである。

また，測定にあたっては交通学園の生徒諸君の手を煩らわしたわけであるが，短時間の雇傭にもかかわらず，複雑な作業内容をよく理解し，終始真剣な態度で調査に従事して下さったことを有難く思っている。

調査結果

上記の方法による交通調査結果は表—3，4，5，6，7，8，9，10，11，図—9のとおりである。

表 3

調査地区	東区 A				調査日時	昭33.11.19. 14時～15時	天候	晴
観測地点 / 方向	平野町通・御堂筋	平野町通・堺筋	三休橋筋・天満川口線	三休橋筋・本町線	その他の街路	計		
換算台数 出	(733.8) 327.1	(736.7) 332.6	(394.7) 318.5	(442.6) 331.5	2.758.5	4.068.2		
換算台数 入	(763.3) 360.4	(662.3) 289.9	(576.9) 440.1	(400.8) 334.5	2.588.4	4.013.3		
換算台数 計	(1.497.1) 687.5	(1.399.0) 622.5	(971.6) 758.6	(843.4) 666.0	5,346.9	8,081.5		

調査従事人員 85名 ( ) 内数字は発生＋通過台数

表 4

調査地区	東区 B				調査日時	昭34.2.19. 14時～15時	天候	曇
観測地点 / 方向	南久宝寺通・御堂筋	南久宝寺通・堺筋	三休橋筋・本町線	三休橋筋・長堀線	その他の街路	計		
換算台数 出	(419.8) 304.6	(438.9) 321.9	(480.3) 360.7	(289.5) 247.6	2,240.8	3,475.6		
換算台数 入	(535.3) 396.2	(409.1) 304.6	(488.3) 439.5	(391.4) 352.4	1.858.6	3,351.3		
換算台数 計	(955.1) 700.8	(848.0) 626.5	(968.6) 800.2	(680.9) 600.0	3,999.4	6,726.9		

調査従事人員 93名

表 5

調査地区	東区 C						調査日時	昭34.1.22. 10時～11時	天候	曇
観測地点 / 方向	農人橋通・堺筋	農人橋通・松屋町筋	久宝寺通・堺筋	久宝寺通・松屋町筋	安堂寺橋通・堺筋	安堂寺橋通・松屋町筋	その他の街路	計		
換算台数 出	— 東行一方通行	(219.2) 175.9	(423.9) 203.4	(539.1) 352.2	(269.4) 242.6	その他に合算	1,667.4	2,641.5		
換算台数 入	(217.5) 173.5	その他に合算	(435.5) 241.0	(493.9) 312.9	— 西行一方通行	(105.1) 76.9	1,582.1	2,386.4		
換算台数 計	(217.5) 173.5	(219.2) 175.9	(859.4) 444.4	(1,033.0) 665.1	(269.4) 242.6	(105.1) 76.9	3,249.5	5,027.9		

調査従事人員 64名

表 6

調査地区	東区 D			調査日時	昭34.1.22. 14時～15時	天候	曇
観測地点 / 方向	内久宝寺通・森之宮勝山線	内久宝寺通・都島阿倍野線	その他の街路	計			
換算台数 出	(357.1) 123.8	(375.9) 104.2	477.1	705.1			
換算台数 入	(424.0) 142.3	(324.8) 97.0	461.4	700.7			
換算台数 計	(781.1) 266.1	(700.7) 201.2	938.5	1,405.8			

調査従事人員 64名

表 7

調査地区	西区 A					調査日時	昭33.11.19. 10時～11時	天候	晴
観測地点 / 方向	加島天下茶屋・大阪港線	加島天下茶屋・長堀橋	新町橋通・横堀線	新町橋通・中之島桜川線	松島橋通・中之島桜川線	その他の街路	計		
換算台数 出	(1,158.0) 388.7	(1,106.8) 355.2	(135.8) 82.3	(115.8) 59.6	(118.3) 61.7	1,686.8	2,634.3		
換算台数 入	(1,015.1) 354.1	(1,144.0) 423.9	(106.9) 68.8	(173.3) 75.9	(298.5) 141.6	1,550.9	2,615.2		
換算台数 計	(2,173.1) 742.8	(2,250.8) 779.1	(242.7) 151.1	(289.1) 135.5	(416.8) 203.3	3,237.7	5,249.5		

調査従事人員 85名

表8 地区発生交通量総括表

区域別	区域面積 (m²)	公用地面積 (m²)	宅地面積 A (m²)	延床面積 B (m²)	宅地容積率 B/A	発生交通量 時間	発生交通量 換算台数	原単位交通量 換算台数/延床面積(m²)
東区 A	366,200	95,720	270,480	386,886	143	14~15	8,081.5	47.87
〃 A′	74,710	11,130	63,580	209,594	330	14~15	2692.0	77.86
〃 B	398,000	96,500	301,500	375,142	124	14~15	6,726.9	55.77
〃 C	374 400	114,400	260,000	231,580	112	10~11	5,027.9	46.06
〃 D	407,350	114,800	292,550	106,986	37	14~15	1405.8	76.10
〃 E	268,330	75,006	193,324	132,331	69	10~11	1878.0	70.46
西区 A	599,040	239,000	360,040	192,502	54	10~11	5,249.5	36.67

備考 1. 区域，公用地，宅地の各面積は図上測定により，延床面積は固定資産税台帳により算出した。

2. 東区 A′ の区域面積については，幹線街路部分を除外した。

表9 都島本通附近業務商業建築物 時間別・車種別発生交通量

車種別＼時間別	8:00~8:30	8:30~9:00	9:00~9:30	9:30~10:00	10:00~10:30	10:30~11:00	11:00~11:30	11:30~12:00	12:00~12:30	12:30~13:00	13:00~13:30	13:30~14:00	14:00~14:30	14:30~15:00	15:00~15:30	15:30~16:00	16:00~16:30	16:30~17:00	17:00~17:30	17:30~18:00	計
大型貨物車			2										1								3
大型乗用車			6					2						2							10
小型貨物車			2	4	1	1	3	3	2	2	1	2	2	2	1			4	5	2	37
小型乗用車	1	3	2	4		1	4	4	5	3	4	12	3	4	1	1		3	4	1	60
小型三輪貨物車		3	2	4	1	1	1			1	4	2	4	1	6	1	3	5	1		40
その他四輪車			1	1		2			1											1	6
小 計	1	6	15	13	2	5	8	9	8	6	9	16	10	9	8	2	3	12	10	4	156
乗車スケター数	2	11	15	29	40	47	28	36	21	23	35	20	39	38	21	18	16	28	19	10	496
合計 台数	3	17	30	42	42	52	36	45	29	29	44	36	49	47	29	20	19	40	29	14	652
合計 換算台数	2.2	13.5	27.0	33.4	26.6	35.0	26.0	31.5	21.8	20.7	31.5	29.2	35.8	32.7	22.7	13.1	13.5	31.5	23.2	11.2	482.1
足踏自転車	5	5	32	62	51	56	48	38	32	38	37	39	53	44	28	26	34	20	15	22	685
荷車		3	1				4					3					4				15
延床面積1000m²換算台数	0.6	3.6	7.1	8.8	7.0	9.2	6.8	8.3	5.7	5.4	8.3	7.7	9.4	8.6	6.0	3.4	3.6	8.3	6.1	2.9	126.8

都島本通附近業務商業建築物概要

戸数	30戸
総延床面積	3,799.6m²
平均延床面積	126.7m²
建築形式	主として木造2階建並びに平家建

表10 都島本通附近販売商業建築物 時間別・車種別発生交通量

車種別＼時間別	8:00~8:30	8:30~9:00	9:00~9:30	9:30~10:00	10:00~10:30	10:30~11:00	11:00~11:30	11:30~12:00	12:00~12:30	12:30~13:00	13:00~13:30	13:30~14:00	14:00~14:30	14:30~15:00	15:00~15:30	15:30~16:00	16:00~16:30	16:30~17:00	17:00~17:30	17:30~18:00	計
大型貨物車	5	3	8	5		4	4	2	3		4	5	3	3		2	2	8	3	6	70
大型乗用車	4		6	2	2	2	1			4		3	5	1		3		2	4	1	40
小型貨物車	1	10	19	9	7	2	24	21	17	10	13	17	9	8	9	10	18	15	11	15	245
小型乗用車	14	21	9	6	3	8	11	15	7	4	4	7	4	4	5	14	21	17	19	17	210
小型三輪貨物車	18	16	26	19	25	20	28	21	16	20	30	30	31	23	32	21	30	18	29	15	468
その他四輪車			2			2	3	7			5	3		2	1				4	1	30
小 計	42	50	70	41	37	38	71	66	43	38	56	65	52	41	47	50	71	60	70	55	1,063
乗車スケター数	28	46	109	89	114	152	102	106	92	101	138	133	101	128	93	114	119	81	127	58	2031
合計 台数	70	96	179	130	151	190	173	172	135	139	194	198	153	169	140	164	190	141	197	113	3,094
合計 換算台数	67.5	87.2	154.9	105.9	115.0	139.4	152.0	147.6	109.9	107.6	157.1	163.7	126.4	130.1	115.7	128.9	158.0	123.3	162.4	103.0	2555.5
足踏自転車	143	160	140	202	216	251	197	225	187	205	193	248	177	216	205	234	220	204	150	185	3958
荷車				2						6	5	2			2	2	15	5	1	1	41
延床面積1000m²換算台数	5.0	6.5	11.7	7.9	8.6	10.4	11.5	11.0	8.3	8.0	11.7	12.2	9.4	9.7	8.6	9.6	11.8	9.3	12.1	7.7	191.0

都島本通附近販売商業建築物概要

戸数	178戸
総延床面積	13,379.6m²
平均延床面積	75.2m²
建築形式	主として木造2階建並びに平家建

表11 大阪市営古市住宅団地

時間別・車種別発生交通量

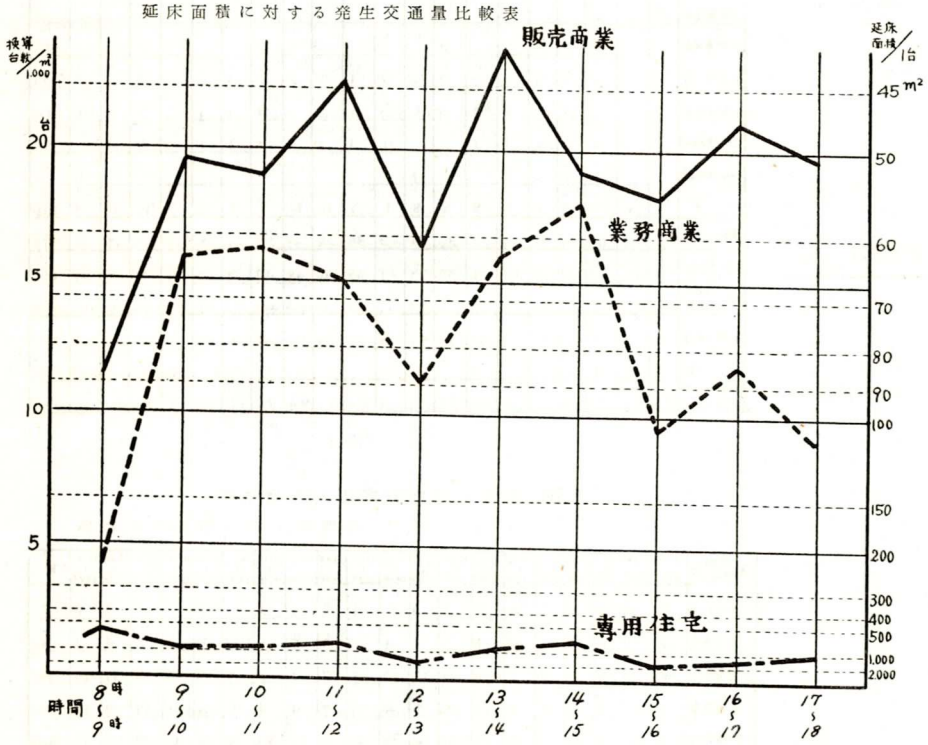
車種別＼時間別	7.45 8.00	8.00 8.30	8.30 9.00	9.00 9.30	9.30 10.00	10.00 10.30	10.30 11.00	11.00 11.30	11.30 12.00	12.00 12.30	12.30 13.00	13.00 13.30	13.30 14.00	14.00 14.30	14.30 15.00	15.00 15.30	15.30 16.00	16.00 16.30	16.30 17.00	17.00 17.30	17.30 18.00	計
大型貨物車			2			2					2		2	2	2	1	1	3	3			20
大型乗用車																			1			1
小型貨物車		6	8	2	1	1	3	2	4		2	5		2				1	3	1	1	42
小型乗用車	2	10	11	3	3		1	4	1	6		3	1		5	3	2			1	5	61
小型三輪貨物車	2			1	4	2	8	6	3			2	3	4	7		2	1	5	2		52
その他四輪車		2	2					3	1				2									10
小　計	4	18	23	6	8	5	12	15	9	6	4	10	8	8	14	3	5	3	11	8	6	186
単車・スクーター類		2	10	8	22	6	15	13	2	5	9	15	8	9	18	7	10		6	14	7	186
合計 台数	4	20	33	14	30	11	27	28	11	11	13	25	16	17	32	10	15	3	17	22	13	372
合計 換算台数	4.6	22.2	33.8	11.9	22.7	10.7	24.3	27.0	12.9	9.0	11.2	21.1	16.1	16.4	28.1	9.3	12.2	4.2	18.8	19.1	10.5	343.8
足踏自転車	30	42	37	24	34	48	37	59	37	56	40	62	70	57	102	114	85	125	103	126	98	1376
荷車																						
延床面積1000m²当換算台数	0.15	0.72	1.10	0.38	0.74	0.35	0.79	0.87	0.42	0.29	0.36	0.68	0.52	0.53	0.91	0.23	0.40	0.14	0.61	0.62	0.34	11.15

大阪市営古市住宅団地概要

総団地面積	82,160.m²
建築面積	9,213.m²
延床面積	30,830.m²
住宅戸数	776.戸
居住人口	2.750.人
住宅型式	鉄筋コンクリート造 1 部特殊コンクリート造 3,4,5階建, 2 階建

図9 都島本通附近および古市団地における

延床面積に対する発生交通量比較表



すなわち，都心の船場地区においては，ピーク時において，延床面積約50M² について1台（乗用車換算値）の割合で自動車が発着しているので，用途的，かつ，従業人口密度が同程度の建築容積が増加したときは，幹線街路の交通量がそれだけ増加することになる。

また，表－8の東区A′は，大阪の代表的業務地区である御堂筋，堺筋など幹線街路に面した高層ビル街の一皮についての調査結果であり，Aは前記の部分を除外した。中小商店の混在高が高い内部についてのものであるが，結果は予測に反し，内部の方が発生率が高いことがわかった。これは，都島本通附近における調査結果も同様であるが，業務商業においては，事務所的なものの方が販売商業的なものよりも発生率が低いということであろうか。

専用住宅については，ピーク時においてさえ約550M² につき1台の割合であり，業務商業建築物の約10分の1以下の発生率である。

4） 交通量の余裕と高度化の割合

それでは，先に述べた高度利用可能区域における数量的な床面積の増加限度はどれ位かというと，「街路交通の余裕台数を床面積に換算」しただけ可能なわけであるが，次に示すような問題点があるのでその判定はなかなか簡単ではなさそうである。

a． 自動車保有率および1台当り走行距離が経年増加する傾向が大である。

b． 一地区の容積増加による発生交通の一部は，他地区の幹線街路の通過交通となり，その余裕度を減ずる。

c． 交通容量の算定について，駐車規制の成果を含めてなお不明な点が多い。

また，建築容積増加が好ましくないと考えられる船場，島之内地区についても，居住床の増加であればその発生交通台数は前述のとおり非常に小さい値であり，かつ，通勤距離の短縮による交通負荷の減少効果もあるので，都心における住宅環境上からの職住併存の可否問題を別とすると支障がないものと思われる。

むすび

以上，調査の結果とはいえ，不景気な案となり恐縮であるが，何としても中心部の高度利用が好ましくないということは心外なことであるので，その障害を除去して全面的な高度利用化を可能にするためには，都市計画事業の画期的な推進により，街路を充実せしめることが先決問題である。例えば尼崎平野線，尼崎堺線，加島天下茶屋線，長柄堺線，築港深江線，泉尾今里線などが完成すれば，中心部における自動車交通処理能力は飛躍的に向上するし，さらにまた，通過交通を集約して負荷する市内高速道路の新設，国鉄環状線の完工，市高速鉄道の伸長などができれば，一般幹線街路の路面交通が緩和され，それだけ高度利用が可能となる。そのほか，密集地区については公園，公共路外駐車施設も忘れることができないものである。

終りに，まことにまとまりのない中間報告的なものとなりましたが，関係者のみなさまに対し何らかの御参考ともなれば幸いであります。この問題につきましてはなお引続き研究して行きたいと思っていますから，みなさまの御指導をお願いいたします。

（筆者　*大阪市計画局建築係長　**同建築係）



写真 1　御堂筋・大阪市役所前の交通



写真 2　自動車でビルをとりまいている

大規模建築物を中心とした自動車の滞溜について

久　保　晴　茂

§1. はしがき

最近都市における自動車交通量の増加は驚くべき数字を示し，それに附随して駐車需要も急激に増加してきた。その結果，都心部における幹線街路はもちろんのこと，ほとんどすべての道路において路上駐車があらわれ，道路の多くの部分が駐車する自動車によって占用され，そのため通過する車はますますスピード・ダウンを余儀なくされている。また駐車しようとする車は，その場所を見つけるのに多くの時間を費さねばならなくなってきた。そればかりではなく，時には駐車する場所さえ見当らなくなってきた。このようにして駐車場の問題は都市交通問題のなかでも，最近とくに重要なる問題として各方面の関心を集めるに至った。

そもそも自動車の駐車現象には地域的な特性があり，また多くの自動車を吸引する大規模建築物の性格により，その周辺の駐車事情は非常に異った形をとっている。そこで大阪市における自動車交通の特性と，大規模建築物を中心とした自動車の滞溜について述べることとした。

§2. 自動車の増加と交通量

自動車交通量については，毎年5月大阪府警察本部が調査を実施しているが，各調査年次の一交叉点当り平均交通量の増加状況をみれば**第1図**のごとくグラフはグングン伸びている。この調査での交通量別交叉点数を調査年別に比較したのが**第1表**で，昨年調査した82交叉点のうち3万台以上の交叉点は56カ所の多くを数えている。昭和27年度にはじめて3万台以上の交叉点交通量を記録したことからみれば驚くべき増加ぶりである。昨年度の調査結果からみれば，交叉点交通量の上位20位までは**第2表**のごとくなっている。このうち4位までは御堂筋であって，この路線を中心とした都心部の南北交通がとくに大きく目立っているが，車種比をみると，御堂筋といえども乗用車が60%を越える交叉点は1カ所もなく，平均46%である。しかも本町四丁目および新橋においては，37～39%と非常に低い。これは都心部南北交通の両端が梅田と難波にあって，その中央に問屋街が存在し，都心に貨物の発生源を有しているためである。

このような都心部における幹線街路の混合交通が大阪都心部の自動車交通事情の特性であって，東京のそれとは非常な違いをもつものである。このことは大阪都心部の自動車交通問題を検討するうえに極めて大切なことである。ところがここで留意しなければいけないことは，中心部における交通量の増加状況である。32年度と33年度の交通量別交叉点数をみれば，2～3万台の二次的幹線の交叉点が大きく増加している。すなわち周辺部で増加しているのであって，平均14%伸びている。これに較べ都心部では平均4%程度しか伸びておらず，一部においては減少箇所さえみられるようになってきた。この現象には，いろいろの原因が考えられるであろうが，一応都心

第1表　交通量別交叉点数

年度 ＼ 百数	／ 万台以上	／ 万台	6～5	5～4	4～3	3～2	2～1	1 万台以下	調査交叉点数	備考
昭24							1	47	48	
25							8	50	58	
26						2	22	34	58	
27					1	8	32	41	82	
28					5	9	49	21	84	
29				4	10	24	40	6	84	
30		1	3	7	14	33	21	5	84	
31			2	7	8	38	24	5	84	調査日雨
32	1	5	6	13	26	23	8	2	84	
33	1	5	7	19	24	18	7	1	82	1……工事中 1……中止

第2表　車種別交叉点交通量

交叉点名	通行量	乗用車	乗用車比	貨物車	貨物車比	二輪車	二輪車比
1 梅田新道	74,963台	35,931台	48%	15,749%	21%	23,283%	31%
2 阪急前	69,427	35,755	51	15,433	22	18,239	26
3 本町4丁目	66,659	25,999	39	18,193	27	22,472	34
4 新橋	64,564	24,186	37	18,592	29	21,786	34
5 阪神前	63,937	35,903	56	13,773	22	14,251	22
6 今里	61,342	11,119	18	20,859	34	29,364	48
7 淀屋橋	58,177	26,338	45	13,204	23	18,635	32
8 末吉橋	57,712	10,967	19	20,284	35	26,461	46
9 内本町2丁目	54,632	13,528	25	18,548	34	22,556	41
10 下寺町	52,839	14,115	27	15,487	29	23,237	44
11 南森町	51,363	14,002	27	17,304	34	20,057	39
12 難波新地3番町	51,081	25,188	49	10,569	21	15,324	30
13 桜橋	50,705	24,557	48	13,127	26	13,021	26
14 中津3叉路	46,558	12,567	27	19,714	42	14,277	31
15 阿倍野斉場前	46,556	12,695	27	14,782	32	19,079	41
16 野里	46,302	8,865	19	23,558	51	13,879	30
17 天神橋	45,564	13,671	30	14,477	32	17,516	38
18 玉造	45,366	8,573	19	15,600	34	21,193	47
19 近鉄前	45,304	18,183	40	10,407	23	16,714	37
20 大国町	45,211	10,869	24	20,155	45	14,187	31

（大阪府警調べ）

第3表　大阪府下自動車の車種別業態別台数（三月末現在）

車種	業態 ＼ 年度		昭26	27	28	29	30	31	32	33 台数	33 指数
自動車（三輪以上）	貨物車	自家用	15,295	20,044	24,578	28,547	31,963	34,784	42,023	47,925	313
		官公用	1,037	1,181	1,157	1,292	1,399	1,498	1,559	1,690	163
		営業用	4,537	4,896	5,513	7,159	8,622	10,015	12,494	14,528	319
		計	20,869	26,121	31,248	36,998	41,984	46,261	56,076	64,143	307
	乗用車	自家用	2,817	3,535	4,873	6,017	6,964	8,300	10,655	13,443	478
		官公用	791	744	786	880	985	990	1,022	1,150	146
		営業用	1,963	3,447	3,974	3,932	4,070	3 942	4,269	4,419	225
		計	5,571	7,726	9,633	10,829	12,019	13,232	15,946	19,012	342
	乗合自動車	自家用	8	15	30	66	103	137	159	163	204
		官公用	14	25	30	39	50	52	56	61	436
		営業用	822	1,003	1,121	1,259	1,371	1,498	1,727	1,998	243
		計	844	1,043	1,181	1,355	1,524	1,687	1,942	2,222	263
	特種用途車	自家用	164	193	201	579	746	1,166	1,494	1,874	1143
		官公用	511	544	725	911	997	1,076	1,106	1,226	239
		営業用	108	119	170	291	341	360	426	505	468
		計	783	856	1,096	1,781	2,084	2,602	3,026	3,605	460
同上計		自家用	18,284	23,787	29,682	35,209	39,776	44,351	54,331	63,405	347
		官公用	2,353	2,494	2,698	3,122	3,431	3,616	3,743	4,127	176
		営業用	7,430	9,465	10,778	12,632	14,404	15,815	18,916	21,450	290
		計	28,067	35,746	43,158	50,963	57,611	63,782	76,990	88,982	318
特殊車			—	—	24	46	52	77	107	156	—
軽自動車			5,271	11,094	18,593	35,792	54,004	63,214	72,821	80,951	1536
合計		指数	100	141	185	260	335	381	450	511	511
		台数	33,338	46,840	61,775	86,801	111,667	127,073	149,918	170,089	

（大阪府陸運事務所調べ）

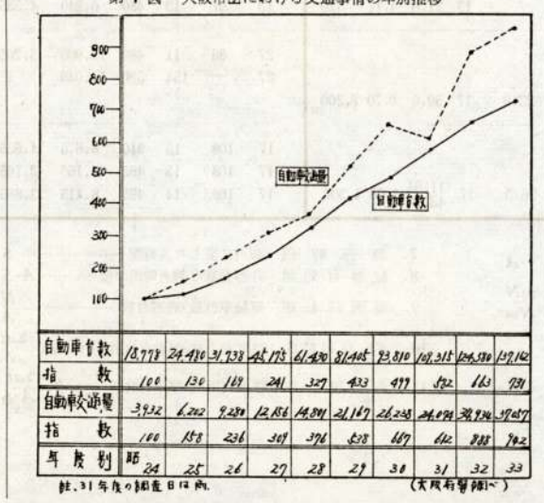
第4表　ビル保有自動車1台当り床面積

係数 ＼ 調査日	30年8月	32年11月	33年10月
延面積 ／ 保有台数	830.5m²/台	664.0m²/台	630.0m²/台　(3ビル)

第5表　ビル保有自動車1台当り床面積とビル数

延面積 ／ 保有台数	1,000m²/台 以上	1,000m²/台～900m²/台	900～800	800～700	700～600	600～500	500～400	400～300	300m²/台 以下	計
ビル数	3	2	2	3	5	5	5	2	2	29

第1図　大阪市内における交通事情の年別推移



年度	昭24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
自動車台数	18,778	24,430	31,738	45,173	61,430	81,485	93,810	108,315	124,530	139,162
指数	100	130	169	241	327	433	499	576	663	741
自動車交通量	3,932	6,242	9,239	12,186	14,891	21,167	26,238	34,098	38,836	39,017
指数	100	158	236	309	378	538	667	867	988	992

註．31年度の調査日は雨。

（大阪府警調べ）



写真3　Su ビルガレージ



写真4　歩道のない狭い道路（長堀線）に駐車している。残る道路巾は軌道敷だけこの状態が長時間続くことは混乱の大きな原因である



写真5　歩道上にのりあげた駐車



写真6　M百貨店が設置している来客用の駐車場

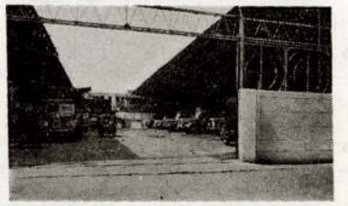


写真7　F通運（自動車はすべて敷地内で処理されている）



写真8　パーキングメーターのない道路に集つた駐車群（オーナードライバーがかなりの比率を占める）

第 6 表

第 6 表

調査ビル	用途	調査日	ビル概要 敷地積 m²	建面積 m²	建延面積 m²	建蔽率 %	容積率 %	事務社数	ビル人口 人	自動車保有台数 台	ガレージ面積 m²	ガレージ許容台数 台	ガレージ許容台数/許容台数 m²/台	路外駐車台数 台	延面積/ビル人口 m²/人	保有台数/ビル人口 台/100人	延面積/保有台数 m²/台	3, 許容台数 台	延駐車台数 台	最大駐車台数 台	調査時間 S 分	駐車有効量 A·S 台分	駐車利用量 Σat 台分	場所回転率 α=N/A 所	平均駐車時間 tb=Σat/N 分	占用率 β=Σat/A·S	4 輸 最占用大率	車種比 %	時駐車間比 %	最も占用大①と占用した率 β/βm	最大駐車台数/延面積 m²/台	延駐車台数/保有台数 N/M	2 輸 延駐車台数 N 台	最大駐車台数 Nm 台	駐車利用量 Σat 台分	平均駐車時間 tb=Σat/N 分	時駐車間比 %	乗降 延乗降台数 N 台	10ピーク分間台数 N10 台	1ピーク時間台数 N60 台	10台分間ピーク数/延台数 %	1台時間ピーク数/延台数 %	自家用車/延台数 %
O	貸	1																92	624	54	520	47,840	20,840	6.8	33.3	0.44	0.59	64.2	86.0	0.74			398	50	21,500	54.0	79.9	1,519	59	240	3.9	15.8	16.7
ビ	ビ	2																92	681	62	520	47,840	22,830	7.4	33.5	0.48	0.67	56.0	85.4	0.72			287	40	19,850	69.2	79.7	1,604	59	266	3.7	16.6	28.0
ル	ル	平均	9,430	7,120	46,300	75.5	491.5	238	4,515	86	563	28	20.1	28	10.3	1.88	538	92	652	58	520	47,840	21,835	7.1	33.4	0.46	0.63	65.1	85.7	0.73	800	7.6	342	45	20,675	60.5	79.8	1,562	59	253	3.8	16.2	22.6
SI	貸	1																																									
ビ	ビ	2																																									
ル	ル	平均	8,600	2,320	28,100	26.9	326.5	35	1,200	37	992	37	26.8	51	23.4	3.03	759	77	337	34	540	41,580	13,590	4.4	40.3	0.33	0.44	78.3	81.6	0.72	830	9.1	49	—	1,093	22.3	96.0	371	—	65	—	17.5	21.0
SU	貸	1																106	749	77	510	54,060	26,700	7.0	35.6	0.49	0.73	85.5	82.7	0.67			202	23	4,660	23.1	92.5	901	30	137	3.3	15.2	60.5
ビ	銀行本	2																106	766	70	510	54,060	27,145	7.2	35.4	0.50	0.66	87.4	85.7	0.75			189	23	3,885	20.6	95.3	880	27	130	3.0	14.7	62.0
ル	店	平均	9,980	8,180	45,200	81.8	452.5	18	3,422	66	1,240	30 (60)	20.7	69	13.2	1.92	685	106	758	74	510	54,060	26,923	7.1	35.5	0.50	0.69	86.4	84.2	0.72	610	11.5	196	23	4,272	21.9	93.8	891	29	134	3.2	15.0	61.2
SA	貸	1																58	459	61	510	29,580	17,745	7.9	38.6	0.60	1.05	49.1	87.7	0.57								370	15	57	4.1	15.4	41.6
ビ	新開	2																58	495	62	510	29,580	22,600	8.5	45.6	0.76	1.07	46.2	94.6	0.71			123	15	3,585	29.1	87.9	289	14	52	4.8	18.0	55.7
ル	社	平均	4,300	3,730	26,000	87.0	606.0	43	4,570	50	1,220	45	27.1	45	5.7	1.09	520	58	477	62	510	29,580	20,173	8.2	42.3	0.68	1.07	47.6	91.1	0.64	420	9.5	123	15	3,585	29.1	87.9	330	15	55	4.5	16.7	48.3
I	を取扱う商社(商品																																									
ビ																																										
ル		平均	1,338	1,085	11,097	81.0	805.0	1	770	7		3		10	14.4	0.91	1,580	10	203	10	510	5,100	2,940	20.3	14.4	0.58	1.00	0	97.0	0.58	1,100	29.0						93	5	16	5.3	17.2	31.2
M	倉	1																42	232	24	510	21,420	7,880	5.5	34.0	0.37	0.58	6.9	88.9	0.64								59	4	19	6.7	32.2	45.8
倉		2																42	320	19	510	21,420	7,010	7.6	21.9	0.33	0.45	4.0	94.9	0.73								35	4	8	11.4	22.8	45.7
庫	庫	平均	5,379	3,729	16,224	69.3	302.0	1	96	3	63	3	21.0	39	(23.2) 169.0	3.13	5,400	42	276	22	510	21,420	7,485	6.6	27.1	0.35	0.52	5.2	92.3	0.67	740	92.0						47	4	14	8.5	29.7	45.8
F	通	急送																35	74	31	960	33,600	23,870	2.1	322.5	0.71	0.89	0	21.6	0.79													
通	運	集配																24	305	23	820	19,680	8,015	12.7	26.2	0.41	0.96	1.9	86.9	0.43		2.1												
運			4,099	925	3,838	22.6	94.2	1	136	36	1,560	59	26.4	59	28.2	25.0	107														71	8.5											
M	百	1																55	385	35	460	26,300	14,370	7.0	37.3	0.57	0.64	41.5	89.3	0.84								560	26	120	4.6	21.4	16.6
百貨	貨	2																55	452	51	450	24,750	15,150	8.2	33.5	0.61	0.93	44.9	88.2	0.65	売場		167	23	6,190	37.1	88.0	856	33	156	3.8	18.2	10.6
店	店	平均	4,900	4,070	売場 (17,500) 29,800	83.0	509.0	1	878	10		42		42	34.0	1.14	2,980	55	419	43	455	25,025	14,760	7.6	35.2	0.58	0.78	43.4	88.7	0.74	(410) 690	42.0	167	23	6,190	37.1	88.0	708	30	138	4.2	19.4	12.9
S	役	1																80	674	109	510	40,800	44,205	8.4	65.6	1.08	1.36	70.5	71.2	0.79			238	23	5,220	21.9	95.5	526	31	79	5.8	15.0	76.2
役		2																80	616	103	510	40,800	45,745	7.7	74.3	1.12	1.29	66.0	67.8	0.86			233	43	6,660	28.5	89.3	514	24	101	4.6	19.6	66.4
所	所	平均	8,820	4,270	20,900	48.4	237.0	1	(154)			45		72			136	80	645	106	510	40,800	44,975	8.1	69.7	1.09	1.32	68.4	68.7	0.82	200	4.2	236	33	5,940	25.1	92.3						
O	放																																									
テレビ	送	平均	2,520	1,840	8,200	73.2	327.0	1	381	16		3		13	21.6	4.17	510	13	97	13	480	6,240	4,535	7.5	46.6	0.73	1.00	75.2	86.6	0.83	630	6.1						109	8	17	7.3	15.5	55.5
S	ホ	1																27	86	11	480	12,960	3,205	3.2	37.3	0.25	0.41	83.7	81.2	0.61	1.950	28.7						45	16	66	3.8	15.9	26.5
ホテル	テル	2																27	—	154	520	14,040	—	—	—	—	5.70	—	—	—	140						1068	84	249	7.8	23.3	74.3
		平均	4,090	2,860	21,500	70.0	526.0	1	430	3	311	13	23.9	17	50.0	0.70	7,200																									
K	病	1																17	108	15	510	8,670	4,625	6.4	42.8	0.53	0.88	61.1	82.4	0.57			67	9	2.100	31.3	85.1	265	10	44	3.8	16.6	31.3
病		2			ベット (550)													17	108	13	480	8,160	3,105	5.9	31.1	0.38	0.76	55.0	93.0	0.50			26	6	1,020	39.2	76.7	312	14	66	4.5	21.2	37.8
院	院	平均	18,550	3,970	17,250	21.4	93.1	1	400	4	53	2	26.5	17	(11.5) 43.1	1.00	4,300	17	108	14	495	8,415	3,865	6.1	37.2	0.46	0.82	60.0	87.5	0.54	1,230	27.0	47	8	1.560	33.2	82.8	289	12	55	4.2	19.0	34.8

(註)
1. 許容台数　駐車可能台数（路外駐台数及び道交法に触れない路上駐車台数 …A
2. 延駐車台数　調査時間中に駐車した車の延台数 …N
3. 最大駐車台数　瞬間駐車台数の最大値…… Nm
4. 駐車時間　各々車が駐車に要した時間……t
5. 駐車時間別台数　駐車に要した時間別台数 …… a
6. 駐車利用量　駐車時間別台数と駐車時間の積の合計…… Σat
7. 調査時間　調査に要した実時間…… S
8. 駐車有効量　許容台数と調査時間の積……A·S
9. 場所回転率　延駐車台数/許容台数 ……α= N/A
10. 平均駐車時間　駐車利用量/延駐車台数 …… tb= Σat/N
11. 占用率　駐車利用量/駐車有効量 …… β= Σat/A·S
12. 最大占用率　最大駐車台数/許容台数 … βm= Nm/A
13. 車種比　延駐車台数のうち乗用車/延駐車台数 …… x3.5= N3.5/N
14. 時間駐車比　一定駐車時間内延台数/延駐車台数 …… y60= N60/N
（この場合60分以内）

部における交通量は限界点に達したものとみるべきだろう。ところが自動車台数の方は**第3表**のごとく毎年多数の車が新しく登録されている。なかでも乗用の自家用車の増加は大きく，しかも軽自動車の大型化が目立ち，これらの車（スバル，スズライトなど）が，最近多くなってきていることから，当然のことながら乗用自家用車はますます増加し，交通量を増し，多くの広い駐車場を必要とするであろう。加うるに一方において自動車を多く吸引する大規模建築物が都心部にますます増加しつつある。これらの事情が総合された結果は，都心部の交通事情にどうひびいてくるであろうか。極めて憂慮される事態に直面しつつある感を深くするものである。そこでひとまず多くの自動車を吸引する大規模建物附近の駐車実態をみることにしよう。

§3. 大規模建築物と駐車

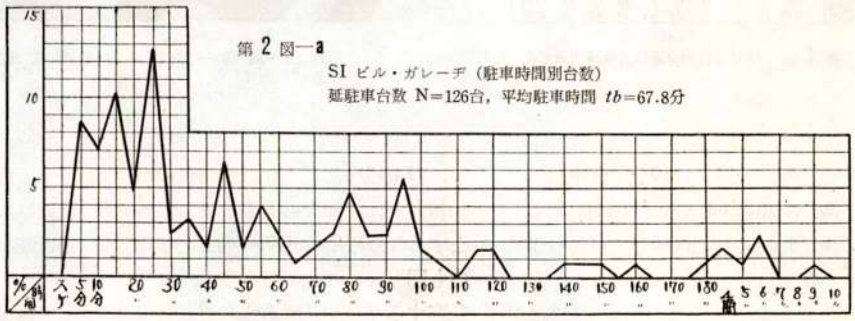
大規模建築物を中心とした自動車の駐車事情を知るために多くの代表ビルを中心に駐車の実態調査を試みた。その結果駐車現象には次のような差異のあることがわかった。

3—1 自動車の使用目的によるもの

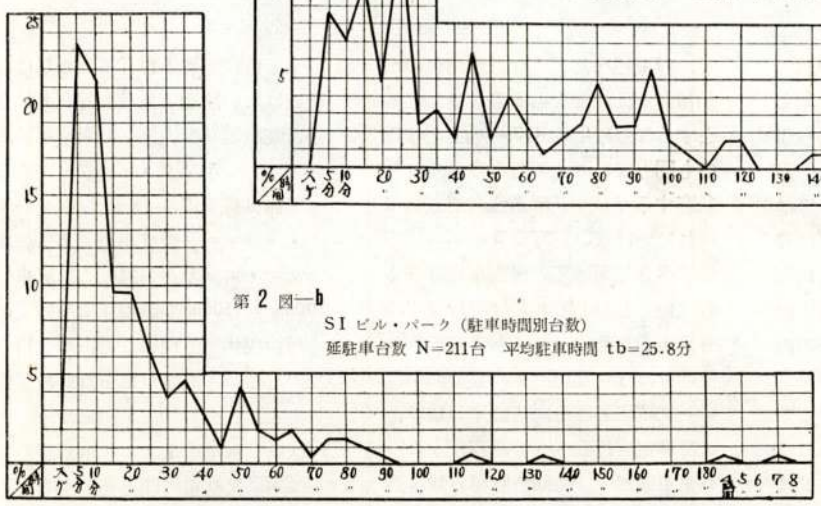
最近のように駐車量が増えてくると，都心部で駐車している車の目的建物がどれであるのか，はっきりと区別することができなくなってくるそこである大規模建物に目的がありそのために駐車している自動車をはっきりと区別されるところを調査できれば好都合である。このような調査目的に合った10いくつかのビルについて詳しく観察してみると，おのおの駐車場所による性格の差異のあることが知れた。以下その性格により4系列に大別することができる。

1. ガレージ
2. パーク
3. サービス・ヤード
4. 玄関の乗降

すなわちビルが自動車を保有する以上，車庫的性格の駐車が生ずる。これとは別に外来車を主とした駐車が存在する。前者をガレージ，後者をパークとするならば，ガレージとパークの最も大きな違いは1台当りの平均駐車時間にあらわれ，ガレージの平均駐車時間はパークの平均駐車時間の2～3倍の時間を要している。**第2図**はSIビルの駐車時間別台数の分布をグラフにしたもので，

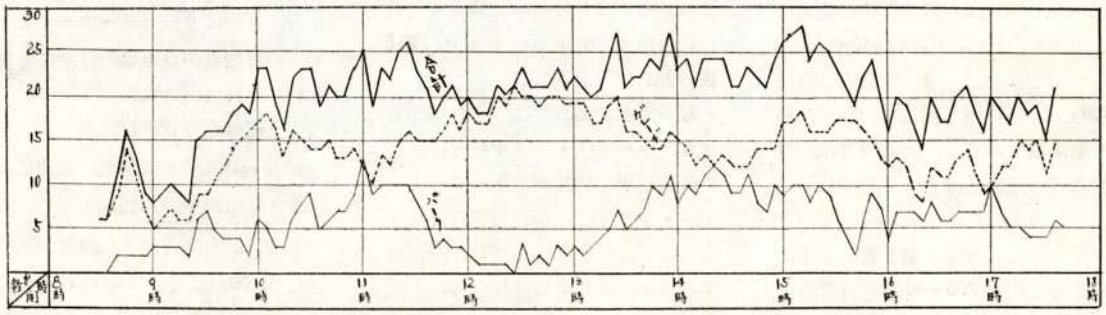


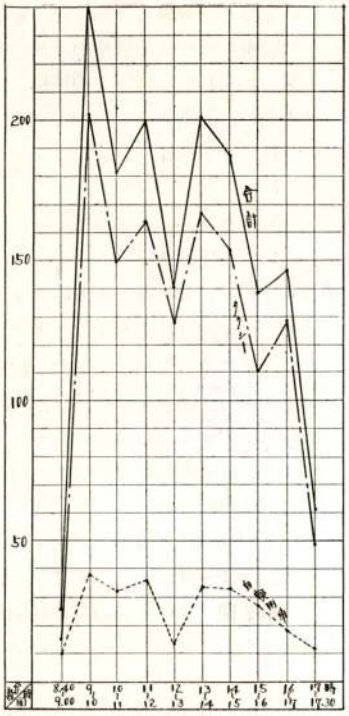
第2図—a
SIビル・ガレージ（駐車時間別台数）
延駐車台数 N=126台，平均駐車時間 tb=67.8分



第2図—b
SIビル・パーク（駐車時間別台数）
延駐車台数 N=211台　平均駐車時間 tb=25.8分

第3図　SIビル駐車台数時刻別変化





第4図　Oビル自動車乗降台数時間別変化



写真9　道路一ぱいの自動車交通と駐車場

a 図，ガレージでは60分で駐車目的を満たす車は 63％であるのに対して，b 図，パークでは60分で91％もの車が駐車目的を満たしていることがわかる。またガレージとパークでは駐車台数時刻別変化図のカーブに違いがあり，パークでの山の出る時刻にガレージでは谷があらわれている。**第3図**でわかるように，この両者を一緒にすれば相殺され，ピークの出方が少くなる。このカーブの差異については充分留意しなければならない問題である。さてガレージは当然のことながら保有台数に左右されるが，調査対象となった事務所系統の3ビルの保有台数と建築延面積の関係をみれば，平均 630m²/台となる。しかし，これを過去の資料(29ビル)から同じ係数について求めた**第4表**をみると，この3年間に1台当りの延面積は大きく減少している。しかも，この系数についてもう少しくわしくみると**第5表**のように52％のビルが 700～400m²/台であって，§2で述べたような自家用車の増加傾向が，ここでもそのままたどるとするならば平均 400m²/台となるのも間もないことであろう。これを収容するガレージは当然考慮されなければいけない。写真3のように完備すべきであって，青空車庫は許されない。しかしこれだけではなく，外来車のためのパークも考慮に入れなければならない。その必要面積はピーク時における同時駐車台数によって算定されるべきであろう。この外来車のピーク時同時駐車台数は当然ビルの性格および規模により相違するものであり，個々に観測する必要がある。参考のために調査した各ビルの概要と駐車事情を示せば**第6表**のとおりである。

なお，この調査にはみられなかったが，オーナー・ドライバーによる長時間駐車の問題がある。このオーナー・ドライバーが増加すれば駐車現象に非常な変化をきたし，駐車対策を根本的に変えねばならない。そしてそれは当然予想しておかなければいけない問題である。写真8はさきに駐車規制を実施した東京都において，パーキング・メーターをきらって無料駐車場に殺到したオーナー・ドライバーの駐車群である。オーナー・ドライバーはここに駐車し1000m も1500m も職場まで歩いているのが現状で，何のために車を持っているのか，あまりにもみじめな姿である。

次に二輪車を主とした系列であるが，一般に駐車時間は短く，しかもこれらの多くは荷物（小荷物程度が多い）の取扱いが含まれていることから，とくにサービス・ヤードとして一般自動車の駐車場とは別に考慮されなければいけない。

以上述べたガレージ，パーク，サービス・ヤードとは別個に玄関における自動車の乗降が問題となる。この場合，最もスムーズに降車が実施された100例について平均22.5秒を

要したことから，一応一台当り25秒を要するものとして，10分間に1玄関でさばき得る範囲は25台が限度とみられる。**第4図**のように乗降台数が短時間に集中する性格のビルでは，1～2カ所の玄関では混雑が起るものと考えられ，玄関数を増すか，または玄関における乗降巾を広く取らなければいけないものと考えられよう。

3—2 建物の用途によるもの

建物の用途から駐車現象をみれば，事務所，百貨店，官公庁などは，建築延面積を所要スペース算出の相函数とみることができるが，病院，ホテル（宴会場をもつ）レストラン，通運業などにおいては，おのおのベット数，席数，稼働自動車台数など建築延面積とは別の函数を考える必要がある。このことを考慮に入れ建築延面積で所要スペースを算出するのも一つの考えではあろう。ニューヨークにおける駐車場整備のための基準をみると

住宅，アパート……戸数
ホテル，モーテル……部屋数
病院……ベット数
劇場，公会堂，教会，レストラン……席数
百貨店，事務所，集会所…床面積
倉庫，工場……従業員数

のように分けている。

§4. むすび

大阪における都市交通の特性を述べ，大規模建築物を中心とした駐車事情と駐車場計画に考慮すべき問題点をいくつかあげてきたが，①保有自動車をいかに処理するか，②ガレージとパークの時刻差をガレージの管理方式によりいかに有効に利用するか，③サービスヤードをいかにすべきか，④オーナー・ドライバーの増加をどうさばくか，⑤自動車による建物へのアプローチをいかにするか，⑥建物の用途とは関係なく，ごく普通考えられるパークをいかにするか等々，このうちどれを公共で，どれを共同で，そして建物自体はどの問題を解決すればいいのだろうか，非常に難かしい問題であるただ駐車規制や建築制限をするだけでなく，交通問題を中心とした総合的な解決を必要としているのではないだろうか。そして大規模建物における急務の問題として，保有台数に対するガレージの設置からでも解決して行くべきではないだろうか。最後に東京都の駐車場条例（大規模建築物附置に関するもの）を紹介しておこう。

東京都駐車場条例（抄）

第4章　大規模の建築物に付置する駐車施設
（駐車施設の付置）

第16条　法第3条第1項の規定に基く駐車場整備地区内および前条の規定に基く周辺の区域内において，新築に係る建築物もしくは増築に係る部分またはその一部が，次の各号の一に該当する建築物（建築基準法第85条の規定に基く仮設建築物ならびに法第3条第1項の規定に基き駐車場整備地区として指定された日，または前条の規定に基き周辺の区域として定められた日から起算して6月以内に，それぞれの区域内において，工事に着手したものを除く。）を新築し，または増築しようとする者は，次条に定めるところに従い，当該建築物または当該建築物の敷地内に自動車の駐車のための施設（次下「駐車施設」という。）を付置しなければならない。

1．劇場，演芸場，観覧場，展示場，公会堂，集会場，キヤバレー，舞踏場，ホテル，旅館，料理店，百貨店，映画館の用途に供する建築物および放送事業の用途に供する建築物ならびにこれらの二以上の用途に供するもので，床面積の合計が3千平方メートルをこえるもの。

2．事務所，店舗の用途に供する建築物および新聞事業の用途に供する建築物，ならびにこれらの二以上の用途に供するもので，床面積の合計が5千平方メートルをこえるもの。

3．第1号および前号に掲げる用途に供するもので，前号に掲げる用途に供する部分の床面積の合計に5分の3を乗じて得た面積と第1号に掲げる用途に供する部分の床面積の合計を加算して得た面積が3千平方メートルをこえるもの。

（駐車施設の規模等）

第17条　前条の規定により付置する駐車施設は次の各号に定める基準に従い，自動車の駐車台数一台につき18平方メートル以上の規模を有し，かつ，自動車が有効に駐車できるものでなければならない。

1．新築に係る建築物もしくは増築に係る部分またはその一部が，前条第1号に該当する建築物については，同号に掲げる用途に供する部分の床面積の合計が3千平方メートルをこえる部分の面積に対して，4百平方メートル以内ごとに自動車の駐車台数を一台の割合とすること。

2．新築に係る建築物もしくは増築に係る部分またはその一部が，前条第2号に該当する建築物については，同号に掲げる用途に供する部分の床面積の合計が5千平方メートルをこえる部分の面積に対して，6百平方メートル以内ごとに自動車の駐車台数を一台の割合とすること

3．新築に係る建築物もしくは増築に係る部分またはその一部が，前条第3号に該当する建築物については，前条第2号の用途に供する部分の床面積の合計に3分の2を乗じて得た面積を前条第1号の用途に供する部分の床面積の合計に加えた面積が3千平方メートルをこえる部分の面積に対して，4百平方メートル以内ごとに自動車の駐車台数を一台の割合とすること。

（付置の特例）

第18条　第16条の規定の適用を受ける建築物を新築し，または増築しようとする者が，当該建築物の構造または当該建築物の敷地の位置により，知事がとくにやむを得ないものと認めた場合において，当該建築物の敷地よりおおむね2百メートル以内の場所に前条の規定による規模を有する駐車施設を設ける場合は，第16条の規定にかかわらず，当該建築物または当該建築物の敷地内に駐車施設を付置しないことができる。

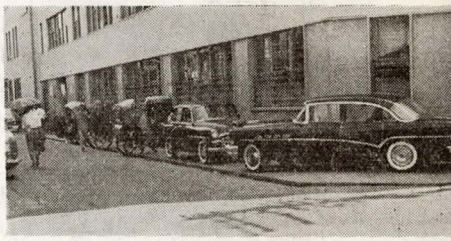


写真 10　船場における後退建築線による後退部を利用した駐車

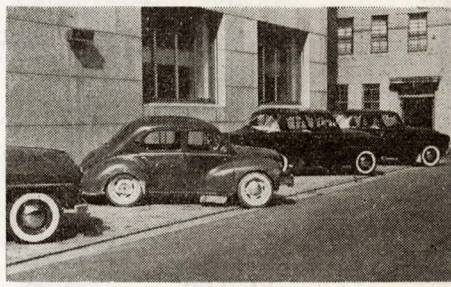


写真 11　同様に後退部分に斜角駐車している

（筆者　大阪市立大学大学院特別研究生）

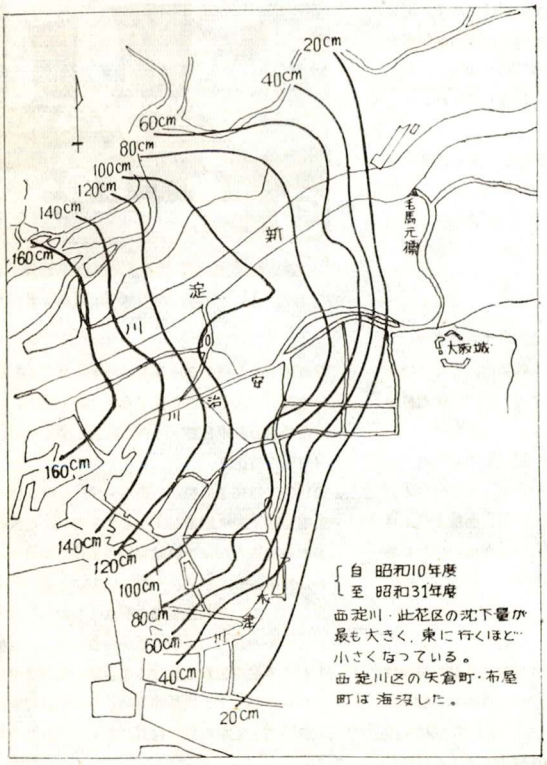
大阪市の地盤沈下とその対策について

八木健二

上村正人

I はしがき

西大阪の臨海地区における地盤沈下は，すでに昭和の初期から知られており，その沈下量は最大 2m に達するほど激しいものである。最近においては，この臨海地区のみならず，北区を中心とした市中心部における沈下が，急速に増大しつつあり，さらに，寝屋川流域においても沈下の徴候が現われている状況にある。これらの沈下区域はいずれも，工場，ビル等の密度の大きい，したがって，地下水の汲上げの多い地区に当る。



第1図 沈下等量線図

地盤沈下の被害としては，排水不良化，橋梁桁下高の不足，各種構造物の不等沈下等いろいろあるが，元来，地盤高の低い大阪では，台風時における高潮による水害が，もっとも危険なものである。このため，ジェーン台風による大水害を契機として，昭和25年以降，200億以上の巨費を投じ，防潮堤の建設，港湾地帯の全面盛土等を実施してきたが，最近の急速な地盤沈下は，これらの工事の効果を減殺しつつあり，一刻も早く，沈下そのものを防止する対策をたてなければならない状況下にある。

II 地盤沈下の概況

地盤沈下の調査データとしては，大阪市で実施している水準測量と，市内7カ所に設けられた地盤沈下観測所における沈下量および地下水位の自記計による記録が基本的なものである。

前者の水準測量は，毛馬閘門上の元標の高さ O.P. 4m 697 を基準として，市内各点の高低測量を行うもので，昭和9年以降，毎冬1回，続けて実施している。これにより，地盤が年々どう変るかがわかる。

後者の自記計による観測方法の原理は，直径30cm程度の長い鉄管を地中に打ち込んで，下端を砂利層に固定すると，その鉄管の深さに相当する土の層が沈下収縮すれば，見かけ上，鉄管の頭が地表から抜け出る形となるから，これを拡大して自記装置に書かせれば，時々刻々の沈下量がわかる。また，このような管を数本，1カ所に設ければ，その地点で，沈下量が，どの深さで，どれくらい起っているか，その垂直分布を知ることができるわけである。また，鉄管の下端にストレーナーを入れておけば，その水位を測ることにより，その滞水層内の地下水圧の変動状況を知ることができる。

以上の，二種類の観測によるデータを用いて，大阪の地盤沈下の概況を説明する。

a) 沈下等量線図

第1図は，昭和10年より31年までの合計沈下量の分布を示すもので，もっとも沈下の大きい地域は戦前では此花区，戦後は西淀川区で，この地区の沈下量は最大 2 m に達し，西淀川区西端の約1km²ほどは，すでに海没してしまった。最近では，北区附近の沈下が著しく大きくなっている。

b) 沈下量累計図

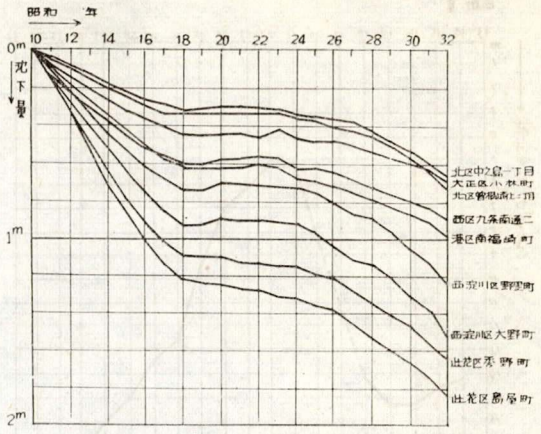
第2図は，市内代表点における地盤高の年々の変化を示す曲線である。各点の曲線が同様の傾向を示すから，その原因も，同一の共通のものであることが予想されよう。戦前の昭和 9 年より17年頃までは，急激な沈下を生じており，沈下量の最大は，年間15cmに達している。この急激な沈下も昭和18年頃，急に減少し，昭和25年頃まで，ほとんど停止している。それを過ぎると再び沈下をはじめ，最近の沈下量は，戦前の最盛期と同程度に近づきつつある。このように沈下――停止――沈下と劃然と3時期に分けられる点は，重要なことである。

c) 月別沈下量図

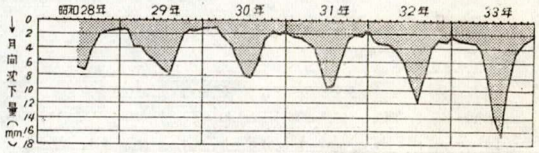
第2図により地盤沈下量の経年的変化はわかるが，1年間における沈下量の変動を知るには，前述の自記計によるデータによらなければならない。西区九条における観測所のデータより各月の 1 カ月間の沈下量を求めてみると**第3図**が得られる。一見してわかるように，夏期における沈下量は冬期に比し著しく大きく，1年間の沈下量の大半が夏期に生じており，また，夏期と冬期の沈下量の比は年々，大きくなる傾向にある。このように，沈下量の季節的変化がきわめて顕著なことが，大阪の地盤沈下の特徴である。

d) 沈下量の垂直分布

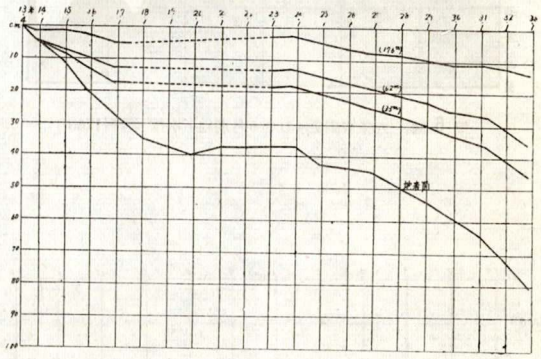
前記九条観測所には，30m，60m，176m の 3 本の井戸および，附近の地表面に水準点があり，その管頭および水準点を毎年 1 回測量することにより，どの地層で，どのくらい沈下しているかがわかる。これを示したのが**第4図**である。これによると，全沈下量の半分ほどが，地表より30m くらいの層で起っていることがわかる。したがって，大阪市内における土木建築の構造物の基礎を支えているいわゆる天満層自体も，地表面の沈下量の半分ほど，沈下しているわけである。なお，176m 以深における地盤沈下量が，最近，急増しているのは注目すべき現象である。



第 2 図　沈　下　量　累　計　図



第 3 図　九条観測所における月別沈下量図（管長176m）

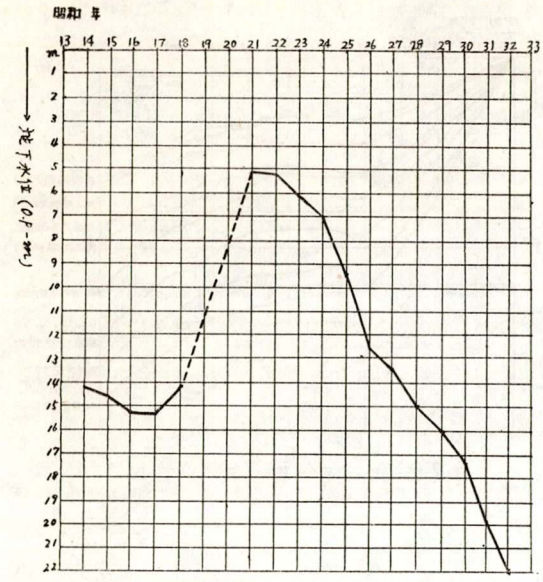


第 4 図　九条観測所における深度別沈下量図

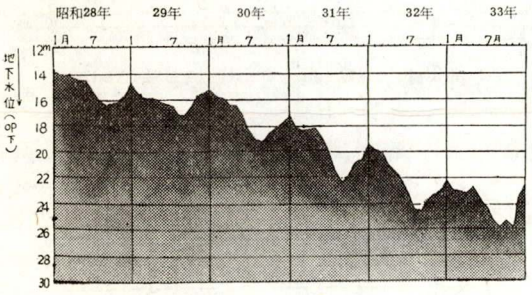
Ⅲ　地盤沈下の原因

今日では，地盤沈下の原因は，地下水の過剰汲上げであるというのが定説である。これは，日本各地の例でも同様であるし，また，米国各地の沈下でも，同様な結論になっている。しかしながら，当初は，いろいろな原因説があったわけである。たとえば，1) 地塊運動説，2) 土の自重により沈下するという説，3) 重量建築物によるという説，4) 舗装，下水施設のため雨水の滲透分が少くなり地下水が少くなったためという説などであるが，いずれも，昭和18～25年の沈下停止や，沈下が冬小さく夏大きくなるという事実を説明できない。

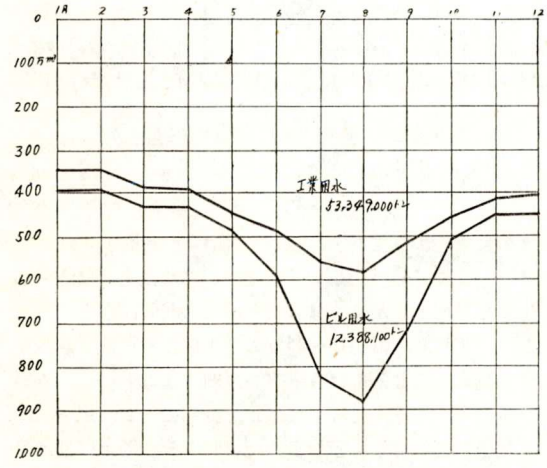
この点，地下水説によればよく説明できる。地下水は工業用水としてもっとも多く使われ，その汲上げ量は工業生産と密接な関係がある。したがって，昭和の初期，とくに昭和10年台においては工業生産の増大により，地



第5図　九条における平均地下水位



第6図　九条観測所における月別地下水位（管長176m）



第7図　地下揚水量調（昭和32年調）

下水の揚水量も多く，したがって，沈下も大きかった。昭和18～25年は，戦争末期，終戦直後の混乱期で，工業生産がおち，地下水の使用量も少なかったため沈下が停止していたが，昭和25年より，工業生産の活発化とともに，再び沈下も増加してきているわけである。事実，九条観測所における地下水位平均値の記録をみると，**第5図**のごとくであり，この間の事情を裏書きしている。

また，沈下量が夏に大きくなることは，市中心部にある多数のビルの冷房用冷却水として，多量の地下水が夏に集中的に使われるため，地下水の揚水量が，夏に急増することから説明できる。九条観測所の地下水位の自記計のデータ（**第3図**）を**第6図**の沈下量図と比較すれば両者の間に，密接な関係があることが了解されよう。

Ⅳ　地下水汲み上げ量調査について

昭和32年度の大阪市内のさく泉調査（大阪府港湾課調）によると，総数845本，内工業用495本，冷房用350本で，年間の総揚水量は約6,600万トンとなっている。これを月別にすると**第7図**のごとくになり，1月の使用量400万トンが，8月には880万トンと2.2倍に増加しているが，これが，前節にのべた夏期における地盤沈下の急速化の直接原因なのである。

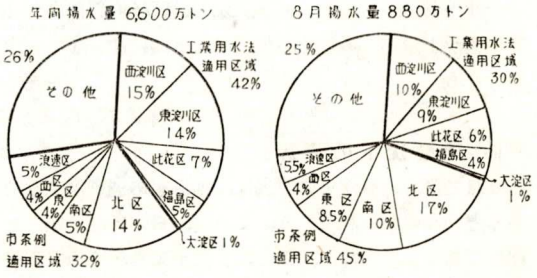
冷房，雑用等のビル用水の比率をみると，年間，1,240万トンで，2割弱であるが月別でみると，1月に50万トンで1割強であるのが8月には300万トンと，全揚水量の34%にも達し，夏期における揚水量増加，ひいては，地盤沈下を促進する大きな原因になっているわけである。

工業用地下水も夏期に増加するが，とくに，製氷関係における増加が目立っており，冷房と製氷の両者が，夏期の揚水量増加の大部分を占めている。

また，地区別に年間および8月の揚水量を示すと**第8図**のようになり，市中心部における揚水量の割合が，いかに大きいかがわかる。

Ⅴ　大阪市内冷房施設調査

冷房用地下水が，地盤沈下に大きな影響があるのは，



第8図　地区別揚水量（昭和32年調）

前述のとおりであるが，この地下水は，冷房用冷凍機のコンデンサー（凝縮器）部の冷却用水として使用されており，室内の空気から奪った熱を地下水に捨てているわけである。しかし，この熱の捨て場所は，何も地下水に限ることはなく，大気でも，あるいは大地でもよいわけである。大地を利用する方法は，まだ実用化されていないが，大気の方は，すでに，Cooling-tower により，広く利用されている。この方法は，循環して利用するため，少量の水でよく，上水道ですむので，フィルターの必要がなく，水量の確保が確実等の利点があるが，何といっても地下水に依存する必要がないため，地盤沈下の副作用のない点が優れている。**第1表**は，市中心部内の冷房施設について，業種別および冷却方法別に調査したものである。水道水や，Cooling-tower が意外に多いということは，反面，地下水が出にくいという事実を示すものであろう。とくに，最近，地下水では，必要冷却水量の確保に不安があるため，新築ビルの Cooling-tower の利用が多くなっている。

Ⅵ　大阪市地盤沈下防止条例

地盤沈下の理論については，いろいろあり，まだ決定的なものはないが，地下水が原因であるという点は，どの理論にも共通しており，したがって地下水の汲み上げの制限が，沈下防止のもっとも有効な方法であることは間違いない。

このため大阪市では，昭和29年来，工業用水道の施設を作り，地下水を地表水に転換させるべく努めているわけであり，此花，福島区では日量 52,500 トンが給水され，34年度からは，東淀川，西淀川区に40,000トンが送られる予定である。

また，これらの地域には，34年1月より，工業用水法による井戸の新設の取締りが行われている。このように，工業用地下水に対しては，対策がとられているのであるから，市中心部のビル等の地下水汲み上げを放置することは，片手落であり，当然，これをも規制する必要がある。このため大阪市では，今度これらの地下水を対象とした条例を制定した次第である。この条例は，その性質上，工業用水法に類似したもので，井戸の基準等も同一であるが，井戸の代替施設として工業用水法が工業用水道を前提としているのに比し，この条例では冷却塔を考えていること，また，既設井戸の転換に対し助成の道を開いている点が異っている。以下，この条例の主な条項を列挙する。

大阪市地盤沈下防止条例抜粋

（目　的）

第1条　この条例は地下水の採取が地盤沈下を誘引すると認められる地区内における地下水の使用を制限することにより，地盤の沈下を防止し，公共の安全を確保することを目的とする。

（定　義）

第2条　この条例で「井戸」とは動力を用いて地下水（温泉法による温泉ならびに製造業（物品の加工修理業を含む。）電気供給業及びガス供給業の用に供する地下水を除く。以下同じ。）を採取するための施設

第1表　大阪市内（北，東，南，西，浪速区）冷房設備調査（昭和32年調）

（コンデンサー冷却法および業種別総括表）　　R.T.日本冷凍トン

コンデンサー用水別 / 施設能力 / 業種別	井水 ポンプ吐出口 2inch以上			井水 ポンプ吐出口 2inch以下			水道水			クーリングタワー			その他（河川水等）			不明			計		
	冷凍機設備		冷凍能力	冷凍機設備		冷凍能力	冷凍機設備		冷凍能力	冷凍機設備		冷凍能力	冷凍機設備		冷凍能力	冷凍機設備		冷凍能力	冷凍機設備		冷凍能力
	件数	台数	R.T.	件数	台数	R.T.	件数	台数	R.T	件数	台数	R.T.	件数	台数	R.T.	件数	台数	R.T.	件数	台数	R.T.
1 ビルデイング	18	34	5,075.14	1	1	2.0	1	1	13.78	12	27	4,314.02	1	3	1,200.6	2	3	21.16	35	69	10,626.7
2 クラブ　協会	4	6	186.06	1	1	3.2	7	9	49.29	1	1	24.49							13	17	263.1
3 商社　商店	18	20	1,741.48	11	14	51.64	50	58	272.37	16	21	1,085.68				7	8	54.93	102	121	3,206.1
4 銀行保険証券会社	17	29	2,576.99				38	54	315.28	33	54	1,938.12	3	3	434.96	1	1	4.6	92	141	5,270.0
5 映画館劇場	23	41	3,069.78				1	1	17.4	7	8	1,413.56							31	50	4,500.8
6 ホテル　旅館	8	12	380.88	7	8	47.38	15	16	54.95	2	2	503.5				6	6	32.75	38	44	1,019.5
7 料理屋バー喫茶店	29	49	637.35	38	38	163.15	239	258	780.86	17	19	163.03	10	14	69.22	23	24	73.4	356	402	1,887.0
8 キヤバレーダンスホール	15	22	809.33	2	2	7.55	9	9	65.03				2	2	12.7	2	2	40.39	30	37	935.0
9 新聞社 放送テレビ 電話局	15	28	1,970.96				6	13	58.9	8	11	1,236.16				1	1	2.23	30	53	3,268.3
10 百貨店	9	30	9,463.94				6	29	67.55	2	4	2,100.0							17	63	11,631.5
11 パチンコ店	12	15	205.88	2	2	13.28	23	26	127.53	2	2	13.1				12	12	72.51	51	57	432.3
12 食品	4	5	14.3	16	20	43.96	39	42	74.87							4	4	4.51	63	71	137.7
13 病院　研究室							5	10	16.58										5	10	16.6
14 その他	4	5	191.47	2	2	7.32	16	16	26.03							1	1	1.08	23	24	225.9
計	176	296	26,323.6	80	88	339.5	455	542	1,940.5	100	149	12,791.7	16	22	1,717.5	59	62	307.6	886	1159	43,420.4
比　率	20	25	61	9	8	1	51	47	4	11	13	29	2	2	4	7	5	1	100	100	100

（河川法による河川及び河川附近の土地の区域内のものを除く。）をいう。

（許　可）

第３条　地下水の採取が地盤沈下を誘引すると認められ，かつ，上水道その他の水源を有する地域で市長が指定する区域（以下「地盤沈下防止区域」という。）内の井戸により地下水を採取しようとする者は，井戸ごとに，そのストレーナー（集水孔）の位置及び揚水機の吐出口の断面積（吐出口が二以上あるときは，その断面積の合計。以下同じ。）を定めて，市長の許可を受けなければならない。ただし，揚水機の吐出口の断面積が二十一平方センチメートルをこえない井戸については，この限りでない。

（大阪市告示第95号）

大阪市地盤沈下防止条例第三条の規定に基く地盤沈下防止区域を左記のように指定する。

北，東，南，西，浪速区の全部。ただし，公有水面を除く。

（許可の基準）

第５条　市長は，第三条の許可の申請に係る井戸のストレーナーの位置および揚水機の吐出口の断面積が市長の定める技術上の基準に適合していると認めるときは，許可しなければならない。

（大阪市告示第96号）

条例第五条に規定する技術上の基準は，左記の通りとする。

1. 揚水機の吐出口の断面積が四十六平方センチメートル以下のものについては，井戸のストレーナーの位置が地表面下八十メートル以深であること。
2. 揚水機の吐出口の断面積が四十六平方センチメートルをこえるものについては，井戸のストレーナーの位置が地表面下百八十メートル以深であること。

（経過措置）

第６条　市長が地盤沈下防止区域を指定したさい，その区域内に現に存する井戸により地下水を採取している者は，その井戸について，そのストレーナーの位置および揚水機の吐出口の断面積により，第三条の許可を受けたものとみなす。

2．前項の規定により第三条の許可を受けたものとみなされた者は，その地域が地盤沈下防止区域となつた日から一月以内に，届出書を市長に提出しなければならない。

（使用者に対する措置）

第15条　市長は，地盤の沈下を防止するため，必要があると認めるときは，使用者に対し，地下水の使用方法の改善又は地下水を使用しない冷却塔式その他の方法を示して，許可井戸による地下水の採取を廃止し，又は採取量を減少すべき旨を指示することができる。

（助　成）

第16条　使用者が前条の規定による指示に基いて従来の施設を改める場合は，予算の範囲内において，市長の定めるところにより，設備資金を貸しつけ，または助成金を交付することがある。

以上が，本条例の骨子であるが，要するに，井戸の新設を制限してゆけば，井戸の耐用年数（５～15年）がきて，順次数が減るし，また，積極的に，助成措置を講じて，これを転換させて行けば，地下水の汲み上げを減少させることができ，したがって，沈下を減少させることができるという考え方に立っているわけである。

なお，この条例は本年４月１日より施行されているが，この条例で今後問題となる点としては，１）揚水機の吐出口の断面積が 21 cm² 以下の井戸は，許可を要しないこと，２）21cm² 以上でもストレーナーの位置が80mあるいは 180m 以深なら許可しなければならないこと，３）既設井戸の転換を指示はできるが，命令できないこと，などが考えられるが，これらは，いずれも，工業用水法により制約されるもので，現段階では，やむを得ないものである。

Ⅶ むすび

大阪の発展は淀川水系の豊富な地下水によるところが大きいが，いかに豊富とはいえ，自ら限度がある。この限度を，はるかに上廻るほど，多量の地下水を，単に安上りという理由から，多くの工場やビル等が汲み上げ，そのために，地盤沈下をひきおこし，一般市民に大きな損害を与えているのが現状である。原因のすべては市内約千本の井戸にあり，これらの井戸を廃止すれば，沈下は自ら止ることは明白である。だが，井戸の全面禁止は，経済的，社会的に影響が甚大で到底不可能であり，さらに，地下水汲み上げが土地所有権の一部と考えられ，なんらの制約をも受けないといういままでの法規上の観点からも，困難である。

しかしながら，すでに，地下水が無尽蔵と考えられた時代は過ぎ去り，河川水と同様に，地下水に対しても，厳重な規制を必要とする時代になっており，地下水利用に関する新しい法規を必要とするわけである。工業用水法と，大阪市地盤沈下防止条例は，これに応ずるもので，前者は，工業用地下水を，後者は，冷房，雑用等工業用以外の地下水を対象とするものである。

この両者による規制で，どの程度，地盤沈下が減少するかは，今後の地下水汲み上げ量の減少程度に大きく左右されるものである。したがって，循環使用等による地下水の効率的使用法，あるいは冷却塔以外に地下水を利用しないで冷房，冷却を，経済的にやれる方法等の研究が望まれる次第である。

（筆者　八木：大阪市計画局計画課長　上村：同第二計画係長）

× × ×

× × ×

特許　防火シヤッター全般
小俣式
電動式～箱型・ウオーム・スパー
手動式～自動・鎖オートマチック
株式会社 小俣製作所大阪支店
（旧田中シヤッター）
大阪市北区若松町30　TEL ㉞9016
本社及工場・埼玉県与野町
東京事務所及工場・東京都北区田端町

大阪駅前改造計画について

堀　　新　　次

(一)

大阪駅前一帯の地域の整理のことが問題となったのは，遠く大正年代のことである。もとこの地は西成郡曽根崎村の一部であって，明治七年梅田ステーション（今の大阪駅）ができた当時は一面の菜種畑であって，人々は弁当持参でこの菜種畑から珍しい岡蒸気の発着を見物したといわれている。明治三十年大阪市域に編入された前後から，鉄道の発達に伴って急速に発展して現代に至ったものである。従って駅前の広場といったようなものも極めて狭く，また附近一帯は往時の畑道がそのまま市街地と化したために道路は狭隘でしかも無秩序であり，その両側には旅館，下宿屋，土産物屋，飲食店等の木造建物が雑然と建竝んでいたのであった。（図1）

この状態を近代都市化しようという議が起ったのは大正十五年の十一月で，内務，鉄道両省，大阪府，大阪市その他の関係者が集まって協議会を組織して，協議の結果，一つの成案を得て内閣に内申をしたのであった。この案は関係当局でさらに慎重に審議検討された上，都市計画大阪地方委員会の諮問を経て昭和3年5月内閣の認可を得たのである。

その内容は大阪駅前に約4千2百坪の広場を設け，ここに数条の地下道を開さくすることとし，また御堂筋，梅田九条線を根幹として，その中間地帯に20米ないし22米の都市計画街路を東西ならびに南北に六線を配し，高層建築物敷地を造成することを目的とした土地区画整理を施行することであった。

かくて昭和10年4月都市計画法第13条および同法施行令第15条の規定によって，駅前地域の北部区域約1万5千坪の土地区画整理施行を，内務大臣から大阪市に対し命令が発せられたのである。

大阪市ではこの命令に基いて事業を施行するため，当時の土木部内に臨時大阪駅前整理事務所を設置して直ちに事業に着手した。

整理面積は前述のごとく，大阪駅前地域の北半分約1万4千7百坪に過ぎない猫額大のものであるが，事業予算は263万円（試みに現在の価格に換算して見ると約10億5千万円）で，全額土地所有者の負担であった。この区域は前述のように大阪駅の発達とともに発達したところであって，家屋は稠密し旅館飲食店その他の店舗が軒を並べてその数394戸あり，居住者の数も約2千5百人であって相当殷賑を極めていたし，またすでに4階建，5階建のビルも4棟程建築されてあったものを全部撤去して，借地権も消滅せしめ，文字どおり更地にした上で土地の交換分合，すわち換地処分を行って，高層建築物敷地に適合した宅地を造成しようという随分思い切った大事業であって，またこのように高度に発達した既成市街地を，災害復興というような特別事情もないときに，土地区画整理の手法を用いて根本的に改造しようということは，当時としてはわが国でも始めての試みであった。従って事業遂行の上にいろいろと困難が伴ったのである。居住者の立退の交渉も他に類を見ないほど困難を極めたし，また土地所有者，借地権者等の利害関係も相当複雑であって，民事訴訟や行政訴訟もいくつか提起

図1　昭和9年頃の大阪駅前の建物の状況



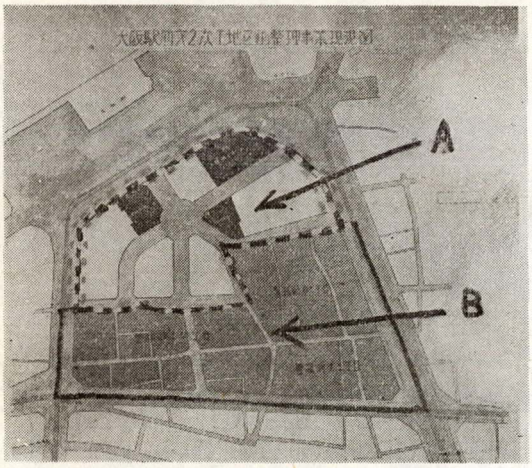


図2　A：第1次施行区域　　B：第2次施行区域

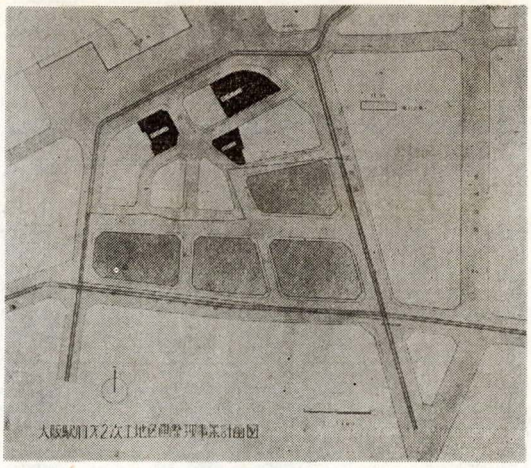


図3　都市計画街路網図

され，これらの調整にもかなり骨の折れたことであったが，しかしながら「3年以内に工事を完了すべし」との内務大臣の命令の期限内には居住者の立退も建築物の収去もほとんど終って，昭和13年の5月に換地の発表をしたのであった。そしてその翌日には早くも槌音も高らかに阪神ビルが建築工事に着手したのであった。

また本整理区域は甲種防火地区，商業地域，美観地区にそれぞれ指定され，さらに建物の高さの最低限度も指定されて，当初の計画どおり近代的な高層建築物街が実現するばかりとなつたのである。

ところが残念なことには，この頃日支事変はいつ果てるとも知れぬ泥沼の様相を呈してきて，時局はいよいよ重大，一切の建築物は禁止され，鉄鋼は砲弾のために回収されることとなって，せっかく組立てられた大阪駅舎の鉄骨も阪神ビルの鋼材も回収されてしまった。つづいて大東亜戦争に突入，やがて敗戦，と苦しいコースを辿ってきたのであるが，建築禁止を喰った大阪駅前はやむを得ず緑の芝生にしておいた。だが，この芝生も敗戦当時の混乱に乗じて第三国人を中心にたちまちに占領されてしまって，所謂闇市，パン宿，阿片窟等大阪市内でも最も恐れられた暗黒街と化したのであった。

時の経過とともに社会の秩序も徐々に回復して，この地帯も一昔前とはよほど変ってきて，日本一の高さといわれる第一生命ビルがまづ完成し，続いて梅田ビルも完成し，阪神ビルも大拡張工事が落成されたし，阪急電鉄も梅田南駅新築のため土地の回復を計りつつあって，駅前北半分の第一次整理区域は遂次本来の姿を取戻しつつあるのである。しかしながら，第一次区域に南接する約1万7千坪の地域は，大阪駅前第二次整理区域として以前より整理の企画はあったのであるが，前述のような事情の下に着手に至らなかった次第である。したがって依然として道路は狭隘で錯雑し，この狭い地域に850戸の木造（極く一部分が堅固の建物）建築が雑然と建並んでいる状態で，保安，衛生，交通防災のいづれの点よりみても，まことに遺憾に堪えないところである。

（二）

人口280万人，わが国第二の大都会である大阪市の陸の表玄関口が，前述のような状態で捨てておかれてよいものであろうか，一日も早く近代都市に相応しい高度の利用方法を講ずべきであるという声は各方面からあがったのであり，また大阪商工会議所方面から大阪市当局に対して要望書の提出もあったのである。このままにしておくわけには行かない。ぜひとも適当な整理を行なわなければならないということは誰しも判っていることであるが，何分にも多額の資金が要ることであり，またちょっとの土地でも争われるような高価な土地柄だけに，施行上大変な困難が予想されるので，簡単に手を下すことはできない。昭和10年から昭和13年に行った第一次土地区画整理の時のように，整理費の全額を土地所有者の負担にすることもできないし，また当時と違って民主主義の発達した今日，居住者全部の移転立退を要求することもでき難い。国家公共団体の負担と責任において，しかも居住者，営業者，建物所有者，その他の権利者の権益を害することなく，むしろこれらの権利者の利益の増進を計りつつ改造整理する方途を講じなければならない次第であるから，容易な業ではない。

ところが昭和30年の4月に施行された土地区画整理法に宅地の立体化，いわゆる立体換地の規定が制定せられた。この規定は土地の所有権，借地権に対する実に画期的な変遷を企図したもので，すなわち一定の条件の下に宅地に換えて，建築物の一部およびその建築物の存する土地の共有持分を与えることができることとなったのである。であるからこの規定を活用すれば案外うまく大阪駅前地域の整理もできるのではないかと考えられたので，大阪市では昨年から計画局整地部の内に大阪駅前整理事務所を設け，大阪駅前地域の基礎的な調査を進める



図4　航空写真でみた整理区域

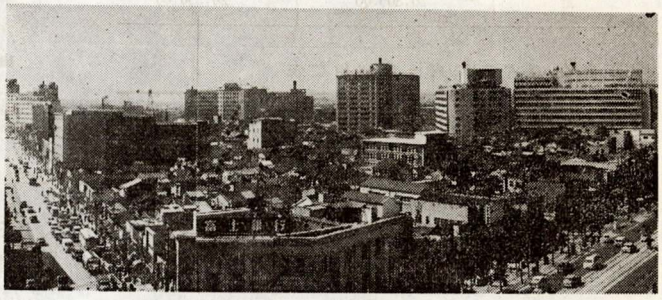


図5　梅田新道上空よりみた整理区域

とともに，建設省計画局の指導を受けながら種々と案を練っている。

また昨年の10月28日には建設大臣より「大阪都市計画大阪駅前第二次土地区画整理事業を施行すべき区域の決定」（**図2**）が告示され，また本年の3月2日の大阪都市計画地方審議会において区域内の都市計画街路網の変更が決定された。（**図3**）一方建設省では本事業を公共事業として認証し，昭和34年度事業費予算を6千万円とし，内2分の1を国庫補助することに内定して本市に連絡があった。

整理案の内容はまだ成案とはいい難いが，以下大体の構想を述べて見ると，

（1）都市改造事業として土地区画整理法第3条の3項の規定によって公共団体たる大阪市がこれを施行する。

（2）立体換地方式による土地区画整理であるから，原則として土地の買収や借地権の収用は行なわないで，換地としてこの土地に新に建築する建築物の一部およびその建築物の存する土地の共有持分を交付する。もっとも土地の所有権者や借地権者から申出がある場合は金銭で清算する。

（3）現在存する建物は特殊のものを除いて全部収去する。（**図4,5**）

（4）施行者において新に高層建築物を建築して，その敷地とともに換地の対象にするとともに，現在の建物の占有者に優先的に利用せしめる。従って現在の建物の所有者や占有者に対しては工事期間中一時仮移転をしてもらうが，他の地域に立退を要求しない。もっとも建物の所有者や占有者の自発的希望があれば，適当な補償金を支払って他に立退いてもらってもよい。

（5）新高層建築物は目下専門家によって研究をしてもらっているが，大体4ないし5棟で地上8階ないし10階建，地下2階とし，地下1階は全建物を相互連絡するようにしていわゆる地下街を形成する。

（6）現在の建物の利用状態は別表のとおりであるが，これらのものが全部新ビルに移転するものとした場合には，例えば一番多い繊維問屋のごときは一つのビルに集めて，繊維館としエレベーターやエスカレーターなどの設備を充分に施すことによって顧客の便利を図り，経営者はそれぞれ異るが，あたかも一つのデパートメントストァーのようにし，また新ビルの1階には数条の通路を設けて，街路に面する部分とともに一般商店街に割当てる。飲食店，バー，スタンド，理髪店，美容院，浴場，遊戯場などは地下1階に収容して1種特別な趣きのある梅田地下街を造る。旅館，ホテル，事務所，洋裁学校などは3階以上に割当てることによって，現在通りの営業の継続を計る。

（7）新ビルは前述のように現在の土地，建物の所有者ならびに占有者に換地として割当て，優先利用せしめることとするが，なお相当の余剰坪数を残すこととなるので，これらは一般に分譲したり，または他の都市計画事業のために移転立退を要する人達で，適当と思われるものに利用せしめることによって建築資金の回収を図る。（**図6**）

（8）施行区域は北区曽根崎上3丁目，上4丁目及中2丁目とし，その面積は2万3百坪とする。

（9）区域内の街路網は第一次区域との関連を考慮して別図のとおりとす。

(10)区域中央部の40米の街路の地下に自動車の駐車場を設けて，新ビルの利用度を高めることとする。

(11)事業費は整理費と建築費の両建とし，整理費は公共事業費として政府の認証を得て半額の国庫補助とする。建築費は全額起債としてこれを賄う。その総額は建築物の規模がまだ確定しないので判然としないが，大体120億円ないし150億円と見込んでいる。

(12)事業施行年度は昭和34年度より7ケ年の継続事業とする。

表1　整理施行前後の地積表

種別	整理前	整理後
宅地	14,154.51坪	11,093.00坪
道路	6,145.49	9,207.00
計	20,300.00	20,300.00

表2　現在区域内土地利用状況

種別	宅地面積 (A)	建築面積 (B)	建築延面積 (C)
数量	14,154.51坪 建蔽率 B/A 91%	12,910.00坪 容積率 C/A 156%	22,122.30坪

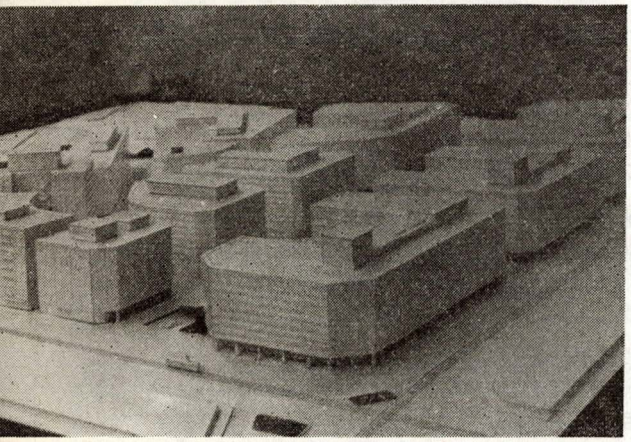


図6　整理予想図

表3　現在区域内建物利用状況

種別	件数	延面積	比率
飲食遊戯店	225	7,669.72坪	34.6%
一般商店	188	3,752.71	17.0
事務所銀行	25	1,954.26	8.8
旅館ホテル	13	1,365.56	6.2
繊維問屋	335	4,591.62	20.8
住宅	43	803.66	3.6
倉庫その他	60	1,984.77	9.0
計	889	22,122.30	100.0

（三）

大阪駅前の整理改造計画は大体以上述べたとおりあでるが，本事業は何分にもわが国で始めての試みである立体換地方式によるものであり，法律，規則の上にも種々と疑問の点もあり，また土地所有者と借地権者，建物所有者と占有者または営業権者などの利害関係も複雑多岐にわたっているので，実施に当っては相当困難な問題に逢着するものと思われるので，各方面の格別の協力支援が必要である。とくにこの事業の成否は地元関係者のよき理解と協力が絶対必要条件となっているので，市当局としては目下地元関係者の理解を深めるために大いに努力中であるとともに，また本事業は莫大な経費を必要とするので，事業費に対する国庫の補助や資金の融資について，政府当局に向って特別の配慮をお願いしている次第であります。

（筆者　大阪市計画局整地部長）

天井・間仕切には軽量鉄骨を・軽量鉄骨は日進式を御採用下さい・
耐震・耐火・軽量・堅牢
防錆完全・中空防音
合理的工法・責任施工
株式会社 奥村重兵衛商店
大阪市北区木幡町五六番地
電話北㉞四一三一～四

杭
株式会社 武智工務所
取締役社長　福留並喜
大阪市東区瓦町3ノ11(井池筋)旭洋ビル3階
電話 ㉖ 3606・4089

NEW TOWN — 大 阪 の 場 合 —

前　田　勇

1. はじめに

"New Town" こんな言葉が日本でも盛んに用いられるようになったのは，確か数年前，住宅公団が千葉県柏市の郊外に光ケ丘団地（960戸）を建設し，鳴物入りの宣伝でジャーナリストなどに大いに使われたのがその走りではなかったかと思う。その後，続々と，いわゆる〝日本一〟の New Town が各地に出現しているが少なくとも現在では，名実ともに日本最大の New Town は大阪府下の公団，香里団地であることに間違いない。しかし，これらの New Town が文字通り〝新しい街〟という程度に軽く解釈されているのなら問題はないのだが，これが英国などでいわれている本格的な New Town と混同され，都市計画や住宅問題の混乱を一気に解決してくれる救世主のように過大評価されては大変だ。もう一つの頼みの綱，市街地再開発の方も羊頭狗肉，徒らに新しい言葉だけを使って，実際問題の解決はかえって悔を千載に遺すのではないかと恐れられているが，"New Town" の方も同じこと。要するに，この二つの現代的手法もそれが基礎になる，しっかりしたマスタープランの上にたち，しかもそれを推進する政治や行政の力が背景にあってこそ始めて救世主たり得るのであって，一知半解，徒らに言葉の新規を衒うのは問題の焦点をはずすだけではなかろうか。ジャーナリストが軽い気持で使うならともかく，少なくとも当事者は，その実態の空虚さを常に反省していなければなるまい。

2. 英国の New Town

それでは一体，いわゆる本格的な New Town，英国の場合はどんなものであろうか。第一次産業革命以来，深刻な社会問題として取り上げられて来た住宅問題を根本的に解決する方策として，大都市中心部の改造と，それに伴う周辺都市の開発とが取り上げられてきた。また同時に，この考え方の大きな背景になっているものとして，一連の社会改良主義者たちの田園的な理想都市のイメージがあった。大都市の混乱を救い，美しい田園と近代生活とが平和に共存する静かな田園都市，住宅と職場とが完全にとけ合ったコミニティ。彼らが信奉したこれらの夢は，いずれも英国の経済，社会，そして美しい緑の田園と恐るべき灰色の大都市とが，長い間に培養してきた一つの良識である。例えば，職場と住居とが一つの街の中になければいけないという考え方はもちろん便利ということもあるだろうが，それよりもっと深い本質的な問題として，彼らの家庭生活の長い伝統を無視するわけには行かない。英国の古い生活慣習によれば，昼休みにすべての人が職場や学校から家に帰り，一家揃ってディナーの食卓を囲む。この習慣は夕食後，煖炉の囲りに一家が集って団欒するというようないくつかの英国らしい家庭生活の主要な行事であった。職場と住居とが完全に分離してしまう大都会での生活が彼らの生活方式にとって，いかに大きな革命的問題となるか。例えば，われわれ日本人にとって長い間の木造住宅をやめ，コンクリートのアパートに住むより以上に大きな生活の変化と考えられているのではなかろうか。また，英国の場合，これらの New Town や大都市中心部の改造は，あくまで総合開発計画の一貫として何十年もの間，検討に検討を重ね続けてきたマスタープランに基いて実施されている。だからこそ住宅建設を主体として工場立地を考えるというような，一見われわれの常識では強引に見える考え方も，充分皆から認められているのであるし，また，逆にいえば，住宅建設の方がそれだけ経済開発や社会改良という，より広い基盤の上で策定されているともいえるであろう。

3. 大阪の条件

ひるがえって，わが国の都市計画の現状を見るとき，はたして，これらの本場の大都市改造や New Town の建設が可能であろうか。またはたして適当なのであろうか。遡れば，わが国の政治，経済，社会の構造の問題になってしまうが，少くとも，このような考え方をそのまま適用するにはあまりにもいろいろな条件が違っている。いまや続々と，いわゆる日本の New Town が建設され，表面的には確かに国際級のものが造ら

れ始めたが，それだけ重大な問題が提起されているのではなかろうか。

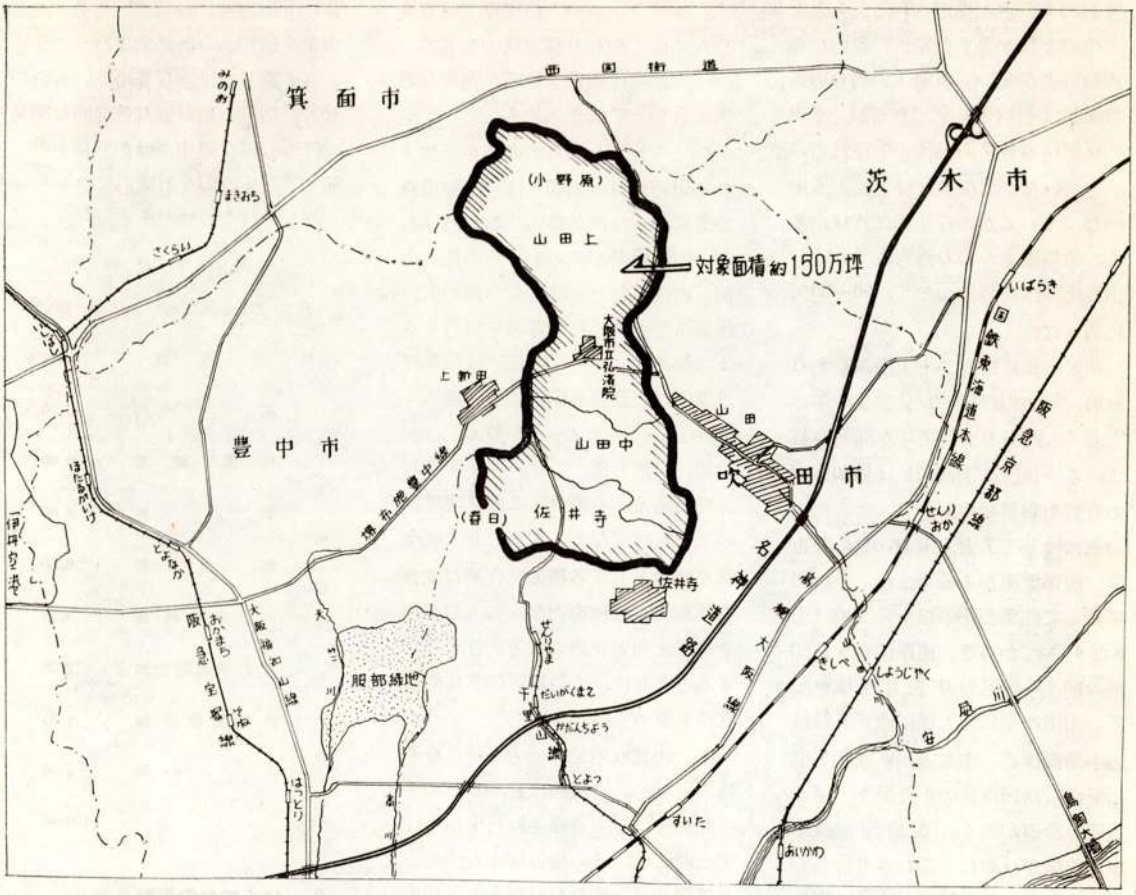
日本で本格的な New Town，職場と住宅とを一緒に考えた新しい衛星都市を考える場合，果して英国で行われている形が，もっとも理想的なものなのであろうか。考え方としては，現在の似て非なる New Town ではなく，職場の問題や自治行政全般について広い視野を持たねばならないということは間違いないのだが，だからといって，英国の New Town の型がそのまま手本になるとは限らない。わが国の場合には職場と住宅との地域的な小さな結合よりもっと大きな範囲での有機的な協力関係が望ましいだろうし，その際，日本人の労働や余暇生活に対する考え方や尨大な潜在的失業問題を考慮しなければなるまい。具体的にいって職場と住居との結合に神聖な宗教的な意味を認めるような伝統のないわが国で，職場と住宅とをそんなに無理してまで小さな街の中で一致させる必要があるのであろうか。快適な通勤機関による住宅地区の分離は望ましくないのだろうか。しかも労働時間の短縮，生活水準の向上，余暇時間の増大，その他いろいろな新しい可能性がわれわれの生活において，いわば再生産的な消費生活のウエートがもっと重くなって行くのではなかろうか。われわれが目標とする新しい近代的な理想郷が人口五万程度の街の中で充足されるとはとても考えられない。わが国の現状では大都市生活の積極的な面をもっともっと肯定しなければならない段階ではなかろうか。とくに大阪の場合，東京の場合とは違って大都市の立地条件としてもロンドンのそれとあまりにも違い過ぎる。東京の場合，いわゆる首都圏としてグレーターロンドンと同じように関東平野に半径40～100キロの大都市圏を画いているが，大阪の場合は半径40キロで神戸，京都，奈良を完全に包含してしまう。さらに地形としても，大体大阪の中心部から20～30キロのところに，標高500メートル以上に達する生駒山系や北摂山系が天然自然のグリンベルトを形成している。また大阪市内に住宅適地が少なく，また私鉄の沿線開発が非常に早くから発達したために，郊外住宅と市内住宅との比重はその量，質ともに東京やロンドンの場合と著しく違っている。大阪の New Town を考える場合，これらの地理的，経済的，社会的な特性を充分考慮して，われわれにふさわしいものを考える必要がある。

4. 「今や住宅問題は転機に立っている」と最近よくいわれるようになった。確かに住宅事情も一頃のような絶対量の不足から，供給対象と家賃の問題とか，都市計画との調整とか，いわば質的な問題に重点が移ってきている。とくに大都市周辺の宅地難が住宅問題の解決に非常に大きな障害となりつつある。

大阪の場合でも既成住宅地はものすごい地価昂騰のため，集団的な住宅建設をほとんど不可能にしてしまった。このため，大阪市の周辺，東淀川区や東住吉区など，比較的開発の遅れている地区に公営，公庫，公団の住宅団地が集中し，上下水道，教育施設など，多くの都市計画上の問題が発生しつつある。また豊中市などの衛星都市における人口増加と，これに伴う住宅ブームは自治体としての機能に致命的な打撃を与えようとしている。このまま放置したのでは，阪神間都市を核とした尨大な市街地の発展が怒濤のように拡がって，世界最大のコーナーベーション，〝大東京〟の愚を繰返すことは必定である。いまや，これら無秩序に行われている住宅建設を始め，各種の事業を有機的に結びつけ，大都市圏の合理的な開発にふみきるときであろう。

それもただ単に入手しやすい土地があるというのではないことはもちろん，また立地条件，地形など，住宅適地としての条件だけでもなく，その附近一帯のより大きな開発計画の一環としての考慮が必要である。例えば，大阪府下においては，このような適地として千里丘陵，香里丘陵，生駒山麓，羽曳野丘陵，和泉丘陵，泉南丘陵などが考えられるが，それぞれの立地条件にふさわしい，それぞれ独自の構想が考えられねばならない。例えば，香里丘陵は淀川左岸の新工業地帯の育成と合せて考えられなければならないし，生駒山麓は東大阪の治水や中小企業の再編成と表裏一体に考えるべきであろう。また，泉南丘陵の開発については，泉南地方産業の振興の一環としてこそ意味があるだろう。このような総合的な視野の中で，思い切って大規模な住宅適地を選定し，公営，公団住宅，その他，全ての住宅建設をはじめ，それに関連した各種開発事業を網羅した総合的マスタープランを作成し，すべての機関がすべての事業を，もっとも効率的に集中するというような思いきった事業を起さないかぎり，住宅建設と都市計画との悪循環を絶つことはできない。

このように大規模な事業を計画的に行うことができれば，でき上ったものも理想的なものになるばかりでなく，事業の採算としてもけっして割の悪いものではない。一挙に用地を買収し，逐年，計画的に宅地造成，道路，下水，河川，公園などの整備を実施し，充分道路，公園，緑地などの公共用地を確保した上で公営，公団などの住宅団地や商工業用地などとして売却し，その収入を事業費の財源と用地費の償還に充当して行く。もちろん，これらの事業に関連して住宅建設，水道，教育施設等の公共的な事業をはじめ，交通施設，電気，ガス，その他の民間企業との充分な協力を保つことはいうまでもない。このように徹底的に大規模な計画を実施することにより，始めて土地の投機的な値上りを排除しながら，合理的な住宅地区をもっと



千里丘陵地区附近見取図

も経済的に造成することができる。

5.

前述したように現在，大阪府下にいくつかの住宅適地が考えられるが，このうち，いわゆる千里丘陵はもっとも大阪市中心部に近く，またその附近の発展状況などから見てももっとも緊急に取りあげねばならず，また，もっとも取りあげやすい地区と思われる。すなわち，吹田市の西北部，豊中市の東部に当る約3,000ヘクタールにおよぶ莫大な丘陵地帯があり，現在まで比較的未開発のまま放置されている。大阪市中心部から，ほぼ15キロの半径内にあり，標高は大体50～70メートルの第三紀層で地形は変化に富み，樹木も多く，大阪市の高級住宅地区として開発するのに非常にふさわしい。地区東南辺には国鉄，阪急京都線，名神高速道路の予定線をはじめ，京阪間の交通幹線が集中し，茨木，高槻方面には新しい工業地帯が発展している。さらに伊丹空港の国際化や国鉄新幹線の建設などを考え合わせると近い将来，この方面の発展は著しいものがあるであろう。それではなぜこんなすぐれた住宅適地が今まで放置されていたのだろうか。もちろん，道路，交通の便が悪かったことが一番大きな原因だろうが，その他にも地形が非常に複雑に入り組んでいて，排水の処理など，小規模な開発ではどうにも手に負えない問題が多かったからだと思われる。しかし，現在すでに周辺から住宅公団をはじめ，各種の宅地造成が散発的に行われ，かなり投機的な傾向も現われはじめている。このまま放置すれば，従来のような無計画な蚕食に終り，無秩序と混乱を招くことは必至と思われる。

6. 地区の現況

われわれが当初計画の対象と考えた千里丘陵地区は標高15～131メートルで，地区全体は西北部から東南部にかけて，ゆるやかに傾斜しているが，大部分が50～70メートルの複雑な丘陵と低地とから成っている。河川は天竺川，高川，糸田川，正省川，山田川が複雑に入り組んで，いずれも神崎川に注いでいる。また，地区全般にわたり，無数の灌漑用溜池がある。

地区内には既存集落として吹田市の山田，佐井寺，春日と豊中市の上新田があり，いずれも古い農村であり，人口は約1万5千，その中，農

家が約8百戸と推定される。しかしその過半数が兼業農家で，家内に都市勤労者が多い。農家1戸当りの耕作面積は平均4反余であるが，水田の反収は大体2石前後で生産性の高い方ではない。低地ははとんど水田になっているが，丘陵部は竹林が多く，果樹園もかなり作られている。山林面積は意外に少なく，20～30%に過ぎない。

地区南部には阪急千里山線があり戦前，阪急の経営した分譲地を中心として，かなりの住宅地が開発されている。地区の南西部には約40万坪の府営の服部緑地があり，さらにその北に接して7万5千坪の大阪市営，服部霊園がある。また，それに隣接して住宅公団の旭ケ丘団地（千6百4戸）がある。道路は旭ケ丘団地の前から地区の中央部を横断して，山田から鳥飼大橋に通ずる府道の中循環線と，南北方向に阪急千里山駅から西国海道の小野原まで達する細い府道がある。中循環線は拡巾，改修が行われ，これと平行してガス，水道の幹線建設が活発に行われている。丁度，中循環線に沿って地区の中央，大阪市へ社会福祉施設，弘済院があり，千人以上の老人や児童が収容されている。弘済院と吹田間，同じく中循環線に沿った上新田から阪急宝塚線岡町までの間に阪急バスが運行している。

7. 計画の基本方針

A. 京阪神間に介在し，とくに梅田ターミナルに依存しない独自の文化的な性格を持つ住宅都市を造る。このため，人口はできるだけ大きくしたい。しかし，大阪の業務中心からの距離が15キロ以内であること，附近の発展傾向，地区の自然環境などを考慮して英国風の工業を含めたNew Townとしては考えず，むしろ積極的に大阪市のビジネスセンターへの通勤を徹底的に便利なものにする。

B. 前述した人口は平均100～150人/ヘクタールの人口密度で収容するために，かなり高密度の公共アパートと低密度の独立住宅を複雑な地形に合わせて混在させる。

C. 今後，かなりの発展を予想される周辺地区との間には，名神道路や北部および西北部の，かなりけわしい陵線地帯があるが，その他，南部，西南部などにはかなり幅の広い緑地帯を設けて独立環境を保持するよう努める。また，西部には服部緑地霊園から箕面公園を結ぶ一連のレクリェーションゾーンを整え，ゴルフ場，自然公園，レゾートホテルなどを考える。その外，この住宅地区のためだけでなく，大きく北大阪全体を背景として各種の文化的な施設を誘致し，大阪市内からの人口を引き出し，通勤交通の一方向性を是正するとともに，この地区の文化的な性格を強めて行く。

D. 用地は地元の協力を得て全面的に買収し，徹底的に府，自らの手で開発を行い，造成された宅地を住宅や商店街，その他各種施設用地として買却し，それを財源として用地費の償却と建設事業費に充当して行く。このため，用地買収，宅地造成，道路建設，排水工事，公園緑地の整備などのための特別会計を設ける。

8. 土地利用計画

以上のような基本方針で，まず特別会計としての資金計画を作成して財政当局との交渉を始めた。その際，ごく簡単なマスタープランを作成したが，その際の土地利用計画の概要は別表のとおりである。もちろんこれらの数字は概略のまた概略ともいうべきものであるし，さらに対象地区が確定すれば基本方針にもさかのぼって変更される性質のものであるが，この程度，かなり理想的に公共用地をとって，なおかつ住宅地の価格はそれほど高価なものにはならない。要するに大規模な開発をやること，どっちみち最終的には自治体にしわ寄せになってくる公共的な事業を最初から計画的に行うことによって意外なほど採算のいいものになる。結局，無計画な散発的な開発では不心得な連中だけが利益を吸い取ってしまうのを計画的にコントロールして行くわけである。

土地利用計画表

利用区分		面積比
住宅用地		45.50%
公共用地	道路	15.00
	公園緑地	20.00
	学校	4.00
	軌道敷	0.50
	一般公共施設	3.75
その他	商工業施設用地	2.50
	誘致施設用地	1.25
	ゴルフ場	7.50
総計		100.00

9. いくつかの問題点

このような大規模な開発計画を行うには，当然数多くの問題点が考えられる。そのいくつかを思いつくままに掲げれば次のとおりである。

A 用地買収

この計画は当初から用地の全面的買収を目標としたが，もちろん，実際の事業としては，このような大規模な用地を一挙に買収することは極めて困難である。吹田，豊中両市をはじめ，地元住民全体の協力を得てはじめて可能なわけだが，それにしても個別的にはむずかしい問題が残ってしまう。残存地を整理するために通常の区劃整理を行うにしても，通常の減歩率では買収に応じた地主との間に大きなアンバランスが生じてしまう。だからといって，土地収用を行うのは自治体としては，やはり極力さけたい。この種，開発計画推進のために根本的な土地取得に対する立法が望まれるゆえんである。

B　住宅の構成

住宅は公団の賃貸住宅を主とし，この外，公営住宅や各種の分譲住宅，会社の社宅をはじめ，さらに従来ほとんど大阪府下には見られなかった高級な住宅地区も造って行きたい。このように各種の，また各階層の住宅をどのような割合で，どんな型に組合わせて行くか，そのためにはまず，この地区に対する住宅需要の性格と内容を分析するとともに，近隣住区の構成や団地との関係，さらには教育施設や商店街との関連についても，その社会的なバランスと統一などを考慮して行かなければならない。また，丘陵地区の開発の特殊性としては複雑な地形と住区の構成をどう関係づけるか，この際，あまり典型的な近隣住区の段階的な構成理論にとらわれず，有機的な Social Pattern の形成に努めたい。Physical な問題としても，丘陵部分を中心としてまとめるのがいいのか谷を中心としてまとめるのがいいのか，その丘陵の型や方位とも関連して創造的に考えねばならない。

C．住宅型式

複雑な地形にかなりの人口密度を保ちながら，できるだけ多くの個人住宅用分譲地を生み出すために（個人分譲地の価格は公共的住宅用地の価格に比して，かなり高く仮定しているし，また充分需要があると思われるので）公共的住宅型式はかなり密度の高いものにしたい。また切土，盛土など，土工事を最小限にとどめ，さらに自然の景観を保つためにもなるべく高層のものを考えたい。思いきってエレベーターのついた高層アパートを考えても，マスプロを前提としての設計，材料，設備，施工について徹底的に企画化，合理化をはかれば，けっしてそう高くつくとも思われない。また，巾の広い Social Pattern をつくり出すためにできるだけ各種の規模のものを混在させる。民間住宅は公営，公団など，公共住宅としてのやむを得ないアンバランスを是正するコンプリメントとして考える。そして，これらの民間住宅に対しては，建築協定の実施や住宅設計についての積極的サービスによって環境を整えるようにしたい。

D．道　路

道路は単なる道路網としては考えず，マスタープランに基く各種建設の動脈や静脈として明確な用途別分類に応じ，それぞれの巾員，断面，勾配，舗装などを検討し，いたずらに従来の概念にとらわれないようにする。

1) 通過幹線

梅田ターミナルと北摂地方を結ぶ幹線新設と地区内を横断する中循環線の改良

2) 地区内幹線

主として地区内のバス輸送のための道路

3) 準幹線道路

主として地区内の自動車のための道路および通過幹線のバイパス。

4) 団地内，アプローチ車道

5) 通勤，通学，購売のための歩道網

6) ショッピングセンター，駅前広場

7) サイクリングコース，および乗馬道

8) ハイキングコース，公園道路など

9) 公園緑地

地区西部のレクリエーション地帯を取り込んで周辺の遮断緑地と地区内の公園緑地とを合せて系統的な緑地帯を整備する。地区内の緑地としては北向きの急斜面を利用する外，とくに景観のすぐれた池附近や展望地などを保存する。地区内の果樹園や竹林もうまい管理の方法があれば積極的に住区景観の中に取り入れて残して行きたい。元来，この地区の樹木は，それほどすぐれたものは少ないが，それだけに貴重なものだともいえる。とくにかなりまとまった針葉樹林は重点的に保存しなければなるまい。

買収に応じなかった農地，とくに水田をそのまま生産緑地として残すことも考えられるが，将来，無計画に宅地に転用されるのを防ぐうまい方法でも考えられないかぎり望ましくないだろう。しかし，もし確実に恒久的に生産農地として確保できるのならば，新しい都市景観として水田もけっして悪いものではあるまい。このため，真面目な耕作継続希望者に対しては積極的な土地改良や耕作施設の充実を計ることも考えられる。

E．その他

以上の問題のほか完全な汚水処理場の建設，中小河川の改修，地区内を縦断する高圧線の処理，サービスインダストリーの規模やその立地，さらに通勤機関としての軌道の敷設計画など，いくつかの主要問題が残されているが，要は充分な調査研究と関係諸機関との協力によって作成されるマスタープランに基いて徹底的に各種の開発事業を計画的に実施することができるかどうかに本事業の成否の鍵がかかっている。

10　あとがき

用地買収の見通しがつかず，内容の発表が充分にできず，いろいろ苦心しながら書いたのですが，中途半端なものになって大変恐縮です。

いま，丁度原稿をようやく書き終ったところで，この事業に関する新聞発表がありました。

今後とも，さらに用地買収の進捗やマスタープランの見当が進むに従って，具体的な内容が決ってくると思いますが，取りあえずわれわれの従来から考えている方針やその問題点を紹介して，1日も早くご叱正をいただきたいのであえて発表させていただきます。なお現在用地買収の見通しがついて正式発表のあった範囲を別図に参考に掲げ，他日，本計画について詳細なご報告ができる日を楽しみに拙文を終ります。

（筆者　大阪府住宅建設課企画係長）

彰国社新刊重版案内

新刊 **住宅の室内気候入門**
建築文庫・104

藤井正一著　本書は，住宅における室内気候の諸事項を質問形式によって理解しやすいようまとめあげたものであります。内容は概論編，気温編，換気通気編，湿度編であります
B6変形判　320頁上製　定価　¥480　〒50

医院
建築写真文庫・67

彰国社編　医院を新築改装する場合の具体的な参考書として本書はさまざまな種類の新しいデザインによる医院を写真によって，その外観・内装・詳細を収録したものであります
B6判80頁総アート・上製　定価¥300　〒30

重版 **建築学大系・14　構造設計法**
編集委員会編　A5判394頁・¥1000　〒100

建築ハンドブック・3　設備
笠尾三吉著　B6判　200頁・¥350　〒40

建築士技術全書・5　施工・積算
久良知丑二郎編　A5判472頁・¥800　〒80

建築写真文庫・34　茶室 2
彰国社編　B6判　88頁・¥300　〒30

建築講座・2　構法
編集委員会編　A5判　206頁・¥350　〒40

建築写真文庫・43　床の間 2
彰国社編　B6判　88頁・¥300　〒30

建築講座・4　構造
編集委員会編　A5判　230頁・¥350　〒40

建築写真文庫・58　洋風喫茶店 3
彰国社編　B6判　88頁・¥300　〒30

現代建築の詳細・III　特種詳細篇
中善寺登喜次著　A4判 98頁・¥900　〒90

1級建築士試験問題全集
建築士連合会編　A5判364頁・¥350　〒40

世界の現代住宅・2　中欧篇
小池・浜口・阿部　A4横106頁・¥1000〒100

日本建築史図集
日本建築学会編　B5判 76頁・¥300　〒30

東京都千代田区平河町2-11　電(33)営業-0293・2851　編集-1745・4523　振替東京173401

伊奈の タイル 衛生陶器

衛陶マーク

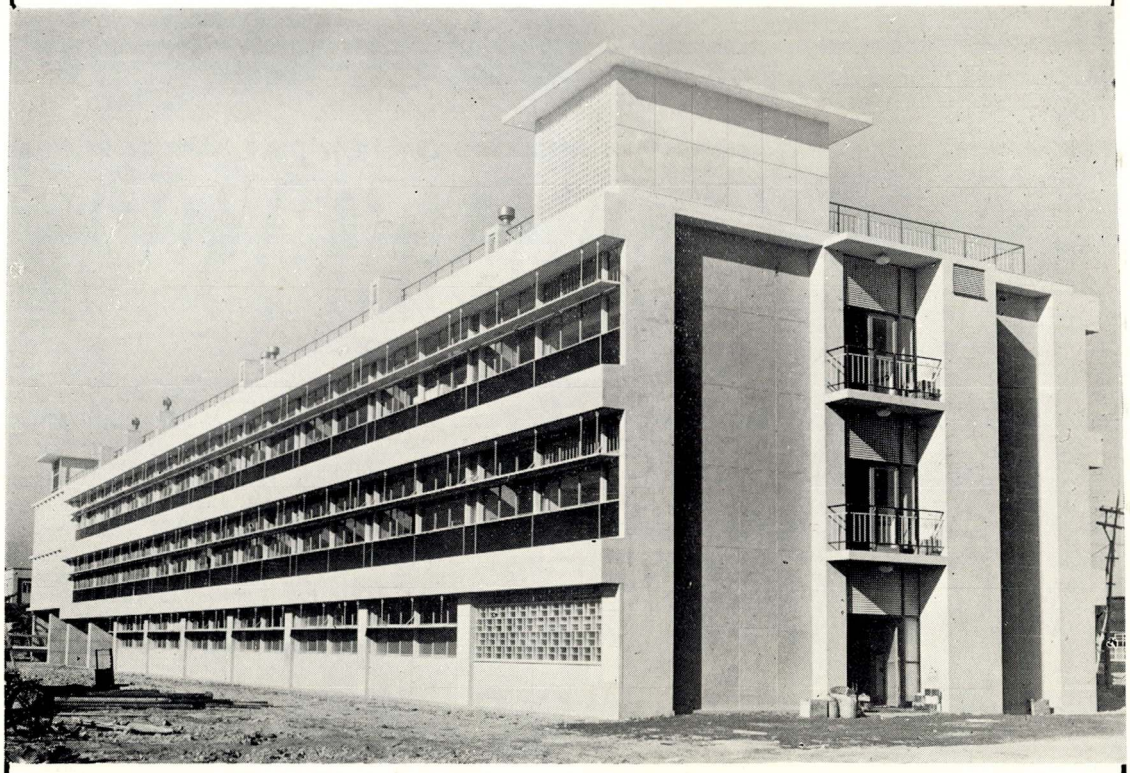
良質と量産を誇る

カタログ送呈

許可番号　第6428号

タイルマーク

衛生陶器は JIS 表示の伊奈の製品を



名古屋市大基礎医学教室
設計・市営繕課
施工・大成建設
納品・ＣＣ130

伊奈製陶株式會社

本社及工場　愛知県常滑市扇面新田　電（代）７００
東京事務所　東京都中央区西八丁堀2—8　電㊺5261—2・5921

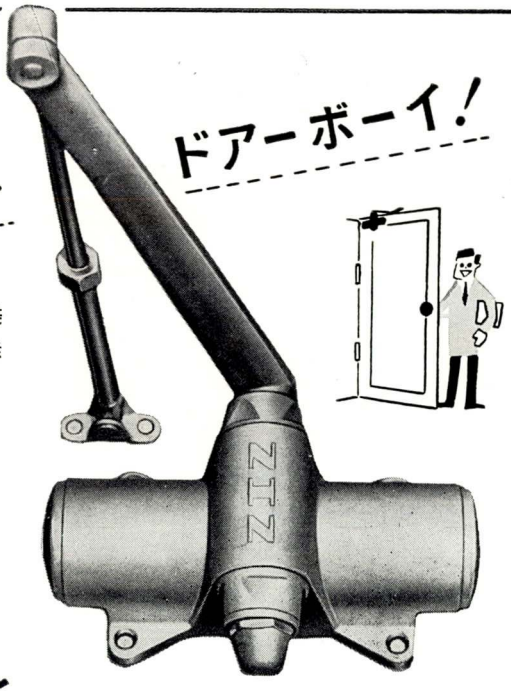
NHN

あなたの忠実な…

ドアーボーイ!

型状優美
故障絶無

日・米・英・独、各国特許



ニッカナ
ドアーチエック

日本金具製作所

製造元 ダイハツ工業株式會社

ORIENTAL

ORIENTAL METAL MFG. CO. LTD.

ASPHALT BLOCK

アスファルトブロック

"For Heavy Duty Floors & Pavements"



用途…橋梁用・プラットフオーム用及耐酸床用
厚サ20-25-38-50粍 巾 120粍 × 長サ 240粍

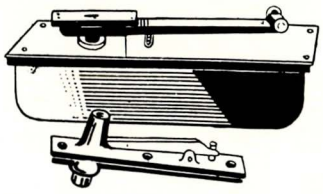
オリエンタルメタル製造株式会社

本社及工場	尼崎市長州字稲川新田44	TEL 大阪（48）4947～9・5920
東京支店及工場	埼玉県北足郡蕨町塚越	TEL 蕨(0889)3252～4
九州支店及工場	福岡県八幡市東浜町16の2	TEL（八幡）723・2512
東北支店及工場	福島県郡山市外富久山町久保田142	TEL（郡山）267
名古屋営業所	名古屋市熱田区三本松町2の35	TEL 名古屋（88）7674

ORIENTAL

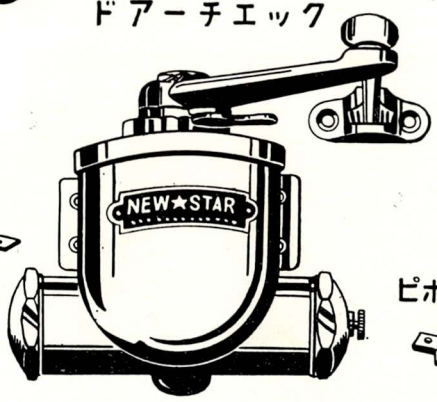
NEW★STAR

創業大正八年

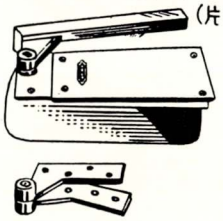


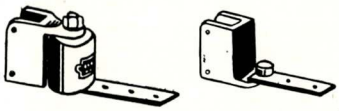
フロアーヒンヂ（両開キ）

ドアーチエック



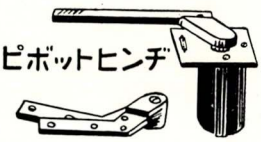
フロアーヒンヂ（片開キ）





ラバトリーヒンヂ

ピボットヒンヂ



輸出　本邦唯一

ニューヨーク・ロスアンゼルス・カラカス・バンクーバー・ロッテルダム・マニラ・シンガポール・香港等へ毎月輸出致しております。

日本ドアーチエック製造株式会社

取締役社長　出向井啓蔵

本社工場　布施市横沼町３丁目１１番地　電話大阪(72)代表6666－９
東京支店　東京都千代田区神田錦町１丁目23　電話東京 (29) 1920・4920
福岡出張所　福岡市舟津町１番地　電話福岡 (4) 2372・3312
名古屋出張所　名古屋市中区下園町１丁目５番地　電話名古屋 (23) ７３６１

仕上りの早い
燃えない

S S S

石膏ボード
ボード用プラスター（略称 SB）
ラスボード
吸音ボード

混合石膏プラスター
純石膏プラスター
キーンスセメント
各種焼石膏

カタログ贈呈

サンエス石膏株式会社

本社　姫路市神屋町４－77　TEL 姫路1220・134
大阪営業所　浪速区北日東町 145　TEL (64) 6695 (54) 2142
東京営業所　新宿区東大久保１－３４０　TEL (35) 0396
名古屋営業所　名古屋市東区駿河町１－18　TEL (9) 4675
福岡営業所　福岡市下名島町２９　TEL (4) 8358

工場
姫路市神屋町４－７７
電話姫路 134・1220
姫路市御国野町国分寺４７４
電話御着 ３２４
姫路市四郷町見野
瀬戸市苗場町 １１３

生きる近代建築

四ツ格

カモア

魂ある文化建材

防火材 高分子系

新

化粧板 ボード・合板

建

吸音・断熱 軽金属製

材

すまいの用材店

西区立花通・電(53)2843

大阪・四ツ橋

株式会社 山本建材

電話(54)1861~5
2131
2233

30メーカー代理店

H 型 鋼 に つ い て

海 野 三 蔵

1. まえがき

最近の建設産業面における鋼材の品種別消費状況を見ると，大形型鋼の需要が減り反対に板物の需要が伸びている。これは溶接技術が大きく進歩して鋼材接合の方法が鋲接から溶接に変ってきたことによるものと思われる。すなわち，わが国の型鋼のプロフィルは約60年前と同じ形のままであって，これらはいずれも鋲接に適したものであるため，溶接接合法が普及発達して，設計者が応力に応じた都合のよい断面を鑼板から自由に作り得るようになれば，当然，型鋼の需要は減退することになる。また，わが国においては鋼材の生産量が少ないため，型別の集約生産が行なわれており，応力にマッチした適当な断面の型鋼がなかなか得られないという不便さも手伝っているためもある。このような傾向は独りわが国だけではなく，ヨーロッパにおいても見られる現象である。

しかし設計者が自分の気に入った形の断面を設計することは簡単であるが，実際にこれを鑼板から作り出すことは必らずしも容易ではない。鋼材の原価はもちろん，溶接費，さらには歪みの問題，溶接部応力の問題等，各種の問題が生じて，結果的にはコストはかえって嵩むというのが現状ではなかろうか。

このような問題に当面して，われわれ構造技術者がいつも考えることは，もっと溶接に適した断面の型鋼が生産されてもよいのではないかということである。実際らえに述べたような溶接で作り出された断面形もこれを統計的に集約してみると，自づとある限定されたいくつかのタイプに整理することができる。すなわち H, T, E の3種ぐらいになるのではないかと思われる。そして，これらのうち，H型すなわち平行ワイドフランヂ型が最も利用範囲が広いようである。この型鋼は周知のように外国では，すでに半世紀も前から生産されて構造材，仮設材，杭材等として広く利用されており，外国における生産量やサイズの一例を示せば Fig.1，表1，表2 のようである。

表1 西独における需要対象

鉱業	0.9%
建設業	42.2
機械工業	8.2
造船工業	0.4
車輌工業	0.2
鋼材変形業	2.8
鉄鋼問屋扱	40.0
その他	5.3
計	100.0%（約27万t）輸出5万t

表2 外国におけるサイズ

	寸法 高さ mm	寸法 フランヂ巾 mm	公称サイズ	セクション数
U. S. Steel	914～127	419～101	43	223
Bethlehem Steel	914～101	419～101	45	227
Inland Steel	610～203	229～101	10	32
D. I. N. 規格	1,000～100	300～100	30	—

2. H型鋼の特長

H型鋼とは在来の I 型鋼に比してフランヂ巾を広げてフランヂを平行にしたものである。

すなわち，Fig.2 からわかるとおり H 型鋼は x, y 両軸に対する方向性が在来の I 型鋼より少なく，形状が美しく，設計上大きな利点があるのみならず，鋼材量の節減，加工費の節約等，建設費を大巾に下げることが可能である。すなわち次のような特長をあげることができる。

2.1 建築材料として

（1）X, Y 両軸の断面性能が近いので，両方向に均等な応力のかかる部材（柱などの圧縮材）には極めて有利である。

（2）フランヂが平行で形状が美しく，そのまま化粧材

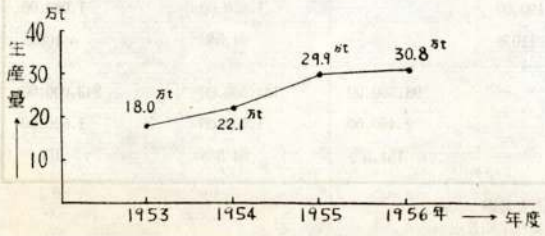


Fig 1 西ドイツにおける生産量

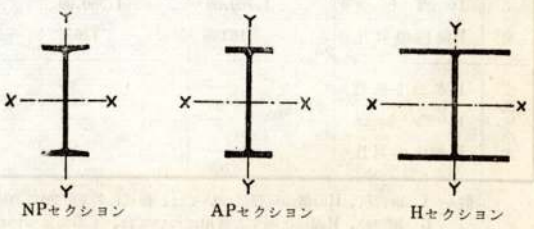


Fig 2 在来のI型鋼とH型鋼

として使用できる。（例，羽田空港郵便局，建築学会賞受賞）

（3）フランヂが平行になっているので，他の部材の取付が容易である。

（4）高層建築物の場合，梁成に比し断面性能が大きいので，天井高をかえずに階数を増すことができる。

（5）ウェブの中央から切断してT型として利用できる。（プレート溶接梁に比してT型部の熱影響が少なく，フランヂに歪みを起させない。）

2.2 杭材として

わが国における鋼杭の利用はまだ3年ぐらいにしかなっていないが，アメリカ等ではすでに今世紀の初めから，各種構造物の基礎杭として利用されており断面性能としては，鐶管に比べて多少不利な場合もあるが次のような特長をもっているので，きわめて常識的に使用されている。

（1）1本の支持力が大きいこと。これは本数を節約し種々の面に費用の節減ができる。

（2）打込みの早いこと。弾性率が大きいため，高い剛性があり，ラムの打込みエネルギーはみな杭に伝わり，その力はみな貫入に用いられるため，他のどんな杭よりも早い。

（3）貯蔵や運搬に場所をとらぬ。

（4）長尺の打込みができる。軟弱層を通し，杭を非常に深い支持層にとどくまで深く打込まなければならぬ地点でも，長尺の1本（15～20m）ものとして使用できる。また，とくに長い物が必要な場合（20～60m）1，2ヵ所の継手も溶接等で十分圧縮強さを伝えることができ，100%信用できる。

（5）難打ちに耐えられる。とくに固い地盤を打抜かねばならぬ場合とか，砂利，硬地盤，または軟岩中の摩擦で高い荷重を杭に持たせねばならぬ場合，あるいは橋の築造のとき，洗堀を考慮して支持力に必要とされる深度以上に打込みを要する場合などに有効である。

（6）杭が打込まれる場合，土の攪乱を最小限度に止めることが要求されるが，H杭は排土量が少なく，とくに好都合である。（とくに密集して杭を打込まねばならぬ場合に有利である）

（7）杭を上部構造との結合が容易である。すなわち杭をそのまま地上に延長して柱として利用できる（例，橋脚）。また上部構造材との結合は他の杭に比して，きわめて容易である。

（8）地震の多いところでは鋼杭のきわめて大きな曲げ強度を利用して設計が行なえる。すなわち水平力に対して所要の抵抗を得ることができる。

（9）杭が昆虫や微生物，白蟻等の被害のおそれがある場合に有利である。なお鋼杭の腐蝕については，わが国における資料はないが，アメリカの例では特別の防錆法をしなくとも，40年ぐらいのものについての実測の結果では，ほとんど心配するほどの断面の減少はないと報告されている。

つぎに八幡製鉄戸畑工場の敷地を想定した場合の各種杭の経済比較を示せば表3のようである。

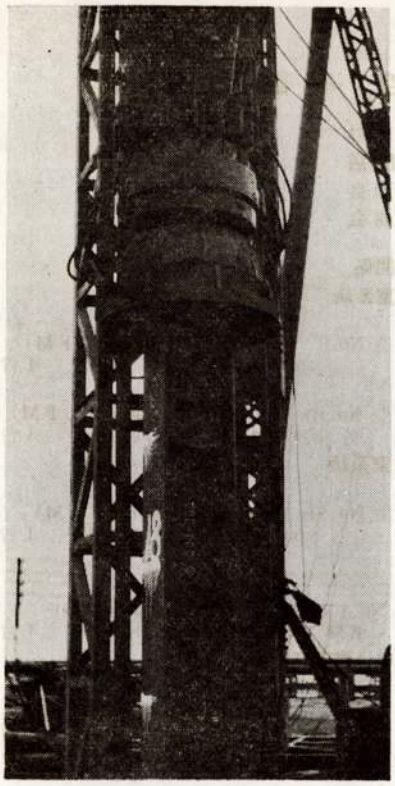
2.3 仮設材として

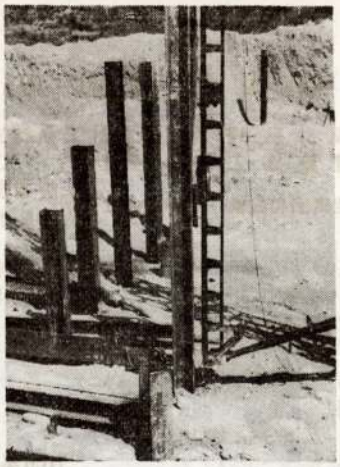
以上のほか大工事の仮設材として，きわめて便利である。すなわち長短自在に長さを変えることができ，また取扱いを便利にするために孔をあけることも自由である。また他の部材との取合せも米松の大材等と比較して，きわめて簡単である。損耗が少ないことも鋼製仮設材の長所の一つであり，工事場の整理整頓にも，きわめ

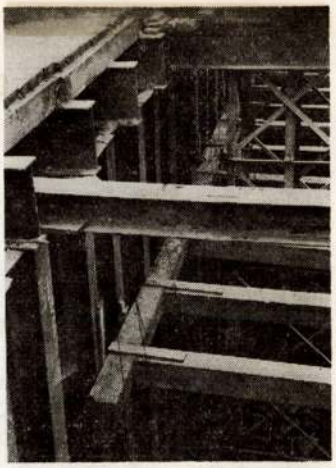
表3 各種基礎杭経済比較表

杭長 ＼ 杭別		コンクリート杭	ペテズタル杭	コアード杭	合成杭	鋼管杭	H鋼杭
	経支持力	径 300φ	径 432φ	径 432φ	径 432φ	径 355.6φ	300×300×10×15
		35～25t/本	50t/本	60t/本	40t/本	120t/本	150
杭長一〇米	1本杭費	21,000.00	35,200.00	36,800.00	—	61,400.00	81,000.00
	1t当り〃	600.00	700.00	610.00	—	510.00	540.00
	H鋼杭の対比	111%	129.5%	113%	—	94.5%	100%
杭長二〇米	1本当り杭費	44,000.00	68,000.00	71,400.00	—	122,800.00	162,000.00
	1t当り〃	1,760.00	1,360.00	1,190.00	—	1,020.00	1,080.00
	H鋼杭の対比	163%	126%	110%	—	94.5%	100%
杭長三〇米	1本当り杭費	—	—	—	98,500.00	184,200.00	243,000.00
	1t当り〃	—	—	—	2,460.00	1,530.00	1,620.00
	H鋼杭の対比	—	—	—	151.5%	94.5%	100%

註— i 鋼管杭、Hの鋼の杭長については、他杭に対し、20%の杭長増しを考慮した。
ii 鋼管杭、H鋼杭に関する費用については、工事実積少いため、甚だ不明な点がある。
iii 上記金額は物価速報 No 259号より算出した。なお工事材料は業者持とした。







① ② ③

① 八幡製鉄戸畑製造所構内におけるH型鋼杭打試験
② 同上打込完了
③ 土木工事仮設材にH型鋼使用状況

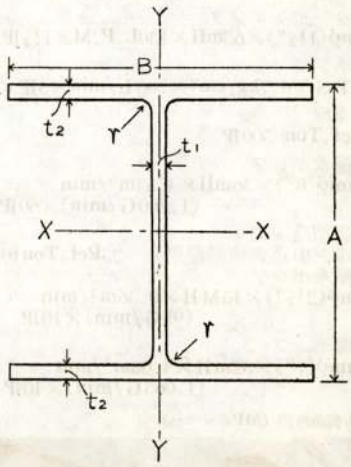
て有利である。

3. むすび

以上のようにH型鋼はきわめて有効な型鋼であり，わが国においても，今後相当に需要が伸びるものと考えられ，八幡製鉄所においても，5月から，この生産を開始したのであるが，わが国の鋼材生産の現状から見て，今すぐ各種類のH型鋼を生産することは，ほとんど不可能で，さしあたり別表の，H－300×300×15を圧延し逐次，H－250×250，あるいは300以上のものを圧延する計画をたてており，1日も早く需要家の要望に沿ったサイズを生産できるように努力している。

（筆者　八幡製鉄所土木部構築鋼材試験課長）

H　型　鋼



呼称寸法	寸法 A mm	B mm	t_1 mm	t_2 mm	r mm	断面積 A cm²	重量 W Kg/M	重心位置 C_x cm	C_y cm	慣性モーメント I_x cm⁴	I_y cm⁴	回転半径 i_x cm	i_y cm	断面係数 S_x cm³	S_y cm³	摘要
H 300	300	305	15	15	16	134.2	105.3	0	0	21,440	7,104	12.6	7.28	1,430	466	34年4月生産可能
H 300	300	300	10	15	16	119.2	93.6	0	0	20,350	6,750	13.1	7.53	1,360	450	〃
H 250	250	255	14	14	14	104.2	81.8	0	0	11,430	3,876	10.5	6.10	914	304	計画中
H 250	250	250	9	14	14	91.7	72.0	0	0	10,800	3,650	10.8	6.31	862	292	〃

住友生命保険相互会社の空気調和設備

設計監理　日建設計工務株式会社
建築施工　株式会社 竹中工務店
空気調和設備　株式会社 大阪電気商会 / 大阪暖房商会

住友生命保険相互会社に使用せる空気調和設備は四季を通じて，室内の温度湿度の調整，室内空気中の塵埃の除去および脱臭，ならびに気流の調整等を目的に設備されている。

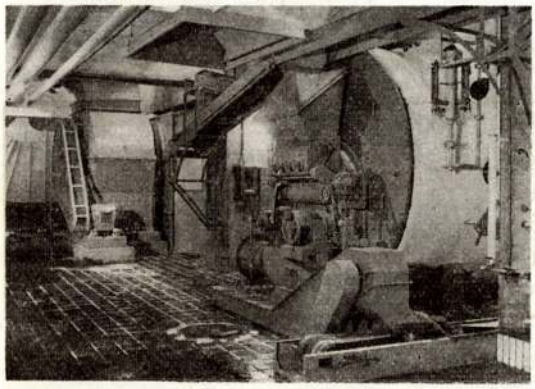
即ち大別して，地三階に設けた冷源熱源設備，四系統に分けた空気調節設備，塵埃の除去を目的とした，効率は最も完全に近い電気式空気清浄設備，送気分布の風道管設備，夏季そして冬季を通じて，送風量は一定のまま外気温度によって変動することなく室内の温湿度を所定に保つよう自動的にコントロールする自動制禦設備，各階各室の温湿度ならびに熱源冷源関係，各系統主要部での温湿度を地三階監視盤室で指示する隔測温湿度指示装置，書庫，湯沸，便所，厨房等の換気設備それに堂島川河畔の道路下に設置した冷房用水処理設備などから成り立っている。

本設備に使用した主要機器類

▶熱源，冷源並に附属機器類

マルチパス型鋼板ボイラー
　実際蒸発量 3000kg/H　制限圧力 5.6kg/cm² 1台
熱交換器
　900mmD×5000mmL 伝熱面積 57.07m² 1基
汽缶給水タービンポンプ
　38mmφ(1½″)×65mH×130L.P.M×7½HP 2台
真空給水ポンプ
　3500TS型0.7kg/cm²×200L/min×3HP×2台 1台
ターボ冷凍機
　400Ref.Ton 500HP 1台
同上用凝縮水ポンプ
　203mmφ(8″)×36mH×4.53m³/min
　(1,200G/min)×60HP 1台
高速多気筒型冷凍機
　(金庫、申込書庫減湿用) 25Ref.Ton40HP 1台
同上用凝縮水ポンプ
　65mmφ(2½″)×45MH×0.36m³/min
　(95G/min)×10HP 1台
冷温水循環ポンプ
　180mmφ(7″)×32mH×4.03m³/min
　(1,065G/min)×40HP 1台

鋼板製蒸汽缶（MPボイラー）



▶空気調和器関係

一般事務室系統

送　風　機
　両側吸込型 No.8　1,615m³/min(57,000CFM)
　×65mmSP(2½″)×50HP　1台
還気ファン
　片側吸込型 No.10　1,132m³/min(40,000CFM)
　×30mmSP(1¼″)×10HP　1台

IBM集会室系統

送　風　機
　片側吸込型 No.5½　357m³/min(12,600CFM)
　×65mmSP(2½″)×10HP　1台

食堂系統

送　風　機
　ターボ型 No.1　100BW 362m³/min(12,800
　CFM)×125mmSP(5″)×20HP　1台

金庫室、申込書庫減湿装置

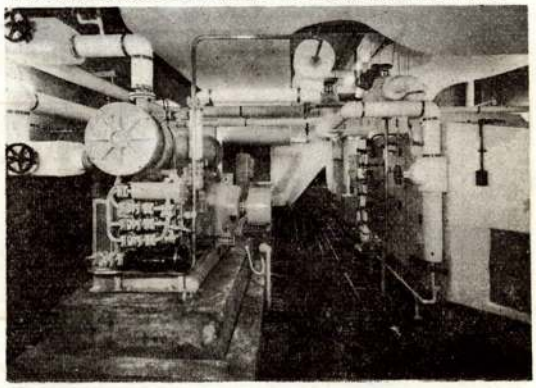
送　風　機
　片側吸込型 No.4½　270m³/min(9,550CFM)
　×50mmSP(2″)×7½HP　1台

▶換気設備

地階給気ファン
　片側吸込型 No.10　1,132m³/min(40,000CFM)
　×30mmSP(1¼″)×20HP　1台
地階排気ファン
　片側吸込型 No.10　1,175m³/min(41,500CFM)
　×30mmSP(1¼″)×20HP　1台
地階排気ファン
　片側吸込型 No.5½　357m³/min(12,600CFM)
　×30mmSP(1¼″)×7½HP　1台
書庫、湯沸排気ファン
　片側吸込型 No.3½　133m³/min(4,700CFM)
　×30mmSP(1¼″)×3HP　1台
便所排気ファン
　片側吸込型 No.6½　530m³/min(18,700CFM)
　×30mmSP(1¼″)×10HP　1台
厨房排気ファン
　片側吸込型 No.4　181m³/min(6,400CFM)
　×30mmSP(1¼″)×3HP　1台

株式会社 大阪電気商会
大阪暖房商会
大阪市西区江戸堀南通1—37　電大阪㊃代5231・8231

高速多気筒型冷凍機ならびに金庫室・申込書庫減湿装置用空気調和器



会　　合　（4月分）

理　事　会

8日　11時半—12時半　於会館集会室
出席者　尾崎会長，鴻池副会長外18理事
　　大倉，山内各支部長
議　事（1）前年度理事会よりの申し送り事項の件
　　（2）理事の会務分掌の件
　　（3）常設委員会の委員委嘱の件
　　（4）受表彰候補者推選委員会の委員委嘱の件
　　（5）事務局職員停年延長の件
　　（6）その他
　　（イ）工業技術院よりの委員委嘱を承認の件
　　（ロ）日本学術会議会員の選挙に関する件
　　（ハ）建築学会大会後援に関する件
　　（ニ）明治大正時代の著名建築物調査の件
　　（ホ）会館建設借入金の償還金につき寄附懇請に関する件
　　（7）入退会者承認の件
　　（8）報告事項
なお閉会後退任役員と共に会食し懇談。

編集委員会

幹　事　会

11日　3時半—4時　於会館会議室
出席者　塚本委員長，佐々木，谷口各幹事
　8月「工場特集」号の企画について審議

委　員　会

11日　4時—6時　於会館会議室
出席者　塚本委員長外11委員
議　事（1）5月「学校建築特集」号経過報告
　　（2）6月「都市計画特集」号経過報告
　　（3）7月「青年建築家特集」号経過報告
　　（4）8月「工場特集」号企画審議
　　（5）今後の企画についての意見交換

打　合　会

14日　4時—6時　於会館会議室
出席者　塚本委員長，谷口，伊藤両氏
　建材特集号の材料索引の編集につき打合

事業委員会

委　員　会

13日　5時半—7時　於会館集会室
出席者　岩崎委員長外17名
議　事（1）正副委員長，幹事の選任
　　（2）前年度委員会よりの申し送り事項について
　　（3）小委員会と委員の分担決定
　　（4）5月，6月の事業企画について

小委員会（古建築見学会）

15日　5時半—6時半　於会館会議室
出席者　井上主査外2委員
　本年度の企画案を協議決定

小委員会（若い会員の集い）

18日　正午—1時半　於会館会議室
出席者　松村主査外4委員
　本年度の企画案を協議決定



小委員会（講演会）

20日　12時半―1時半　於会館集会室
出席者　内藤主査外2委員
本年度の企画案を協議決定

小委員会（新建築見学会）

20日　1時半―2時半　於会館会議室
出席者　八十島主査外3委員
5，6月の見学予定先並に見学先の調査方法などについて協議

教育委員会

22日　4時―6時　於会館談話室
出席者　奥島委員長外7委員
議　事（1）委員長幹事の選任
（2）前年度委員会からの申し送り事項について
（3）本年度の事業企画について
（4）小委員会と委員の分担決定

災害委員会

28日　3時半―5時　於会館会議室
出席者　越田委員長外13委員
議　事（1）委員長幹事の選任
（2）前年度委員会より申し送り事項について
（3）本年度の事業企画について
（4）小委員会並に主査の決定

見　学　会

大阪能楽会館見学会

設　計　双星社竹腰建築事務所
施　工　大林組
8日　4時半―5時半　参加者40名

寿屋山崎工場見学会

製麦工場設計　安井建築設計事務所
同　施　工　三和建設株式会社
17日　1時半―5時半　参加者33名
役員，委員の見学会として実施



明治製菓大阪工場第二期工事見学会

設　計　日建計工務株式会社
施　工　大林組
21日　2時―5時　参加者30名
P.S.コンクリート施工見学

大阪金属工業K.K.堺製作所見学会

23日　1時―5時半　参加者30名
冷凍，エヤコンその他各種機械の製作

新建材展示会見学会

於大阪木材センター
9日　1時―5時半　参加者70名
「壁面と床」用の建材展示と新建材説明会

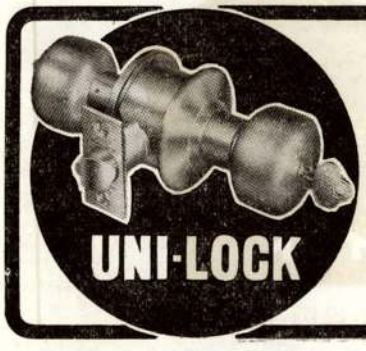
観　能　会

於大阪能楽会館
19日　10時―5時
竹腰前会長外本会関係者演能

後援した会

サーリネン氏講演会　　来会者約70名

1．演　題　私の見る建築（スライド併用）
1．日　時　4月2日　5時―7時半
1．場　所　京都アメリカ文化センター講堂
1．主　催　京都アメリカ文化センター
1．後　援　本会，日本建築学会支部
日本建築家協会支部



建築界待望の新扉錠……！
ゴールユニロック
GOAL
日本住宅公団・公営住宅御指定
株式會社 谷山製作所
シリンダーレバーハンドル錠
押ボタン式シリンダー錠
アンチ式シリンダー錠
シリンダーナイトラッチ
シリンダー抽斗錠
各種高級彫込錠
大阪市東淀川区三津屋北通四丁目　電話(37)3117．5871．7724

関西建材協会の会名改称を祝して
（社団法人日本建材協会と改名）

日本建築協会会長　尾崎久助

わが日本建築協会と極めて密接な関係にある関西建材協会は，今般その会名を日本建材協会と改称したとのことである。同会は昭和25年に戦後再スタートした匿名団体であったが，逐年堅実な歩みを続けて会員も増加し，その分布も当初は近畿あたりに限られていたが，最近はそれ以外の地域におよび事業範囲も非常に拡大されつつあるので，一昨年法人認可を得，昨年は福岡に展示場分室を設置し，さらに本年は四国，中国にも進展の企画と聞くような状態で，このたび発展的に改称されたわけであるが，まことに喜ばしいことと祝福申しあげる。

新しい建築資材は建築技術に先行して作られるのが多いようだ。真剣な研究工夫によって新材料が出現し，それが，建築の進歩に与って大いに力あるものと認めねばならぬ。それについて平素気付いていることのいくらかを記して希望してみる。

1，展示物に価格が表示してないのは物足らぬ。
2，カタログやパンフレットには良いことばかり記してあるように受取れるが，使途によって欠点となるようなことは注意を与えて善用に導くよう正直に記してもらいたい。
3，とくに新しい材料には仕様書を発表されたい。
4，展示物以外の商品でも，建材協会に照会したらあらゆるもののカタログ等が入手でき，また係の事務員は概ね質問に答えられるよう訓練されているようありたい。

以上，思いつきの老婆心を述べて，会名改称の祝詞に代えるとともに，その名に相ふさわしい発展隆盛を祈る次第である。

月刊
プラスチックス・エージ
PLASTICS AGE
プラスチックス建材一覧表が掲載されている総アート大判雑誌
300円
大阪市南区東清水町34番地
TEL.（27）0822・5712・6012
振替・大阪 2 1 1 1 3
東京都中央区日本橋本町4丁目5番地
TEL.（24）5 3 2 0

因みに日本建材協会の昭和34年の新役員はつぎの通りである。

会長　中村文夫
副会長　青木友一
理事長　金光五郎
副理事長　笠原悌治郎　村石秋吉
常務理事　大和栄衛
監事　若井伝次郎　中山明治
大阪展示場委員長　高田良
福岡展示場委員長　山本康雄
同　副委員長　辰元喜蔵　松本周三

理事（事業）　大鶴滋保　戸谷周円　中森菊次郎　青盛繁男　安田金吾　三宅康介
（総務）　平田伊三郎　高橋進　田村史郎
（宣伝）　太田敏郎　鈴木松雄　細谷四郎　蟷川智造
理事（会勢）　鈴木清市　土田吉堯　丹司奈良一　横田喜一郎　田中政二
（会計）　臼井良吉　安田誠一　福頼圭蔵
（記念事業）　室谷山水　井上浄夫　伊藤長太郎

日本建築学会賞　昭和33年度表彰業績

日本建築学会　1959年5月

部門	表彰題名	受賞者名	職名
第1部（論文）	• オーディトリアムの室内音響設計と施工に関する研究	正会員　石井聖光君	東京大学生産技術研究所助手
	• 特殊骨材を用いるコンクリートの仕様に関する研究	正会員　大島久次君	関東地方建設局営繕部建築第2課長
	• 都市大火の性状に関する研究	正会員　亀井幸次郎君	損害保険料率算定会火災保険部嘱託
	• 日本中世住宅の研究	正会員　川上貢君	京都大学助教授
	• 建築構造の耐震工学的基礎研究	正会員　小堀鐸二君	京都大学助教授
	• 鉄骨鉄筋コンクリート構造に関する実験的研究	正会員　若林実君	東京大学生産技術研究所助手
第2部（作品）	• 法政大学	正会員　大江宏君	法政大学教授
	• 中国電電ビルディング	正会員　大沢秀行君 正会員　三宅敏郎君	東京電気通信局建築部長 電電公社建築局設計課第3設計係長
	• 関東通信病院	正会員　国方秀男君	電電公社建築局調査役
第3部（その他の業績）	• 調査事業「建築請負工事費積算の合理化」	正会員　斉藤立実君 正会員　広田美穂君 正会員　益田重華君	建設省営繕局建築専門官 建設工業経営研究会業務部長
	• 技術指導「農村建築の改善指導に関する業績」	正会員　竹内芳太郎君	
	• 建築行政「静岡県下における都市不燃化事業の推進」	正会員　三宅俊治君	静岡県建築課長

社団法人 日本建材協会4月会報

(旧関西建材協会)

会合と事業

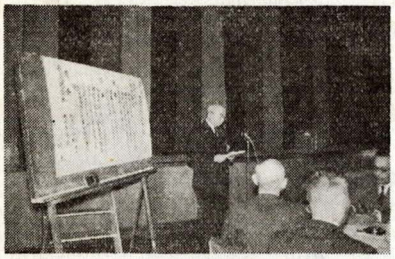
会計検査　2日～3日　2日間　7.30分迄　於3階
住友信託KK調査部に托し，34年度決算書ならびに帳簿その他会計に関する書類の検査を受けた。

理事会　9日　1.30～3時
33年度決算検討と総会事項。

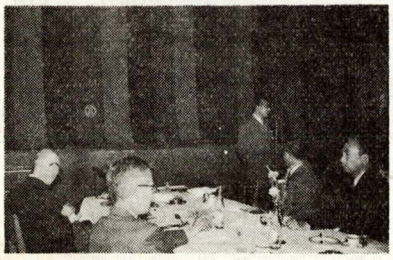
評議員会　9日　3～4.30時　於4階
33年度決算事項承認。

定時総会　13日　於今橋クラブ　3～7.30
中村会長以下125名委任状共出席。監事1名，評議員20名選挙，会名改正，33年度決算，34年度収支予算，定款一部変更議決，建材会館建設に関する件を協議した。

開会挨拶する青木副会長



本会特別会員白石博士の祝辞



評議員会　18日　11～1時　4階
34年度議長副議長互選，理事半数改選を行ない終って新旧議員引継中食会催す。

新旧理事会　23日　2～8時　於松春
理事長金光五郎，副理事長笠原梯治郎，村石秋吉互選，その他職務分担定め退任者感謝等。

建材説明会打合　24日　正午～2時　於地下
広島，福岡開催の建築講演と説明会出講7社打合す。

建物保全部会　24日　3～5時　於地階
パンフレット出版の件，部会の進み方協議。

不燃都市促進会　27日　11～3時　於商工会議所
理事会，総会，大和事務局長出席。予算決算規約一部訂正，役員改選を議す。

展示委員会　28日　3～5時　於3階
出品者会，表硝子文字，地下案内等検討。

日誌

4日　試傭中の養父職員病気のため本日限り辞す。

6日　東京装備工業KKホームレール新製品につき，大阪営業所に大阪業界紙を招き披露，大和常務理事司会斡旋。

7日　久保，中山監事決算書検閲。

8日　5時より鈴木理事と大和常務理事は北方面5カ所車にて土地調査。

14日　大和理事は旭化工板KKに火災見舞した。

17日　鹿児島市中村金物株式会社社長来会。同店に展示室設置相談あり

20日　アルバイト高見健君本日より出勤。

21日　田中政二理事と日建榊氏訪問土地の件協議。

30日　室谷，金光，村石新旧理事長および大和常務理事。11.30分中村会長訪問会務につき協議した。

会員動勢

移転

三和プラスチックKK では商事部，経理部を東区北久太郎町2の45（幸ビル）に移転。（27）代7591～3

滝川セルロイドKK 本社を東区北久太郎町2の45（幸ビル）へ移転。（26）代3161.5691

東亜工業KK 本社は八尾市竜華町字太子堂629に移転。八尾2308.3039

東洋陶器KK大阪営業所を東区高麗橋5の32に移転。㉜4518～9.1424

電話変更

大阪窯業セメントKK　大代表（36）1231に変更。

大阪生コンクリートKK　大代表（36）1231に変更。

社名変更

KK菅商店は**菅機械工業KK**に変更。

合資会社船津侃司商店は **大阪装飾工業KK 福岡営業所**に変更。

新入会員紹介

社名，代表者	取扱品	住所	電話	紹介者
大阪装飾工業KK 深江実	床材	広島市幟町22	広島(2)2521	東洋リノリューム
KK布施真空成型研究所 多木八之助	プラスチック成型	布施市御厨32	(72)7456	三和プラスチック
熊尾金属製作所 熊尾武夫	建築金物	大阪市都島区都島中通4の46	(35)6507	事務局
中村金物KK 中村繁	建築金物	鹿児島市武町570	鹿児島(4)1141	事務局

本部・大阪市東区北浜三丁目近畿建築会館　電話（23）7172・9908番
大阪展示場　同上会館一階・地下100有余小間喫茶談話室あり是非御立寄り御利用賜度
福岡分室　福岡市万行寺前町14番地（駅前通松下ビル横入ル）櫛田神社正門通
60有余小間電話福岡③1225・1226

新発売！

ベネシャンブラインド百葉

装飾と実用性を誇る…

カタログ贈呈

88cm×91cm… 700円
88cm×121cm… 800円
88cm×152cm… 900円
121cm×152cm…1300円
152cm×152cm…1600円
182cm×152cm…2000円

別註寸法の場合は
一～二割高です

株式会社 ライト製作所
大阪市城東区野江東3（京阪野江駅前）
TEL 代表㉝1751～4・3638
東京・広島・和歌山

田中式 スカイライト

スチールサッシュ
スチールシャッター

オペレーター
スチールドアー

ベンチレーター

田中工業㈱大阪出張所

設計施工

大阪出張所 兵庫県尼崎市南竹谷町2－89 電話㊽0545
本社第一工場 東京都墨田区錦糸町1－25 電話(622)0790・(623)0106～8
第二工場 東京都墨田区吾嬬町東4－122 電話㊽0870・0970
小倉工場 小倉市赤坂上の宿37 電話小倉0653・2833
川崎出張所 神奈川県川崎市東渡田3－43 電話 川崎②4540
札幌出張所 北海道札幌市北三条東7－4 電話 札幌③0515
盛岡出張所 岩手県盛岡市木伏179 電話 盛岡2554
名古屋代理店 名古屋市西区西菊井町2－12岡田建材店 電話 西㊸0121

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事

専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地 電話大阪(34)207～8・4836～7

——特命又は指名の場合は本欄をご利用の程お願い致します——

暖・冷房・空気温湿度調整装置

設　計　施　工

高砂熱学工業株式会社大阪支店

大阪市北区中ノ島3丁目3番地（朝日ビル7階）
電　話　大　阪　㉓　7　6　4　1（大　代）
本　社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和装置、各種冷凍機
設　計・製　作・施　工

東洋キヤリア工業株式会社
大　阪　支　店

大阪市北区堂島船大工町五三番地（毎日大阪会館内）
電　話　大　阪　㉞　局　8　3　5　6（代表）
本　社　東京都中央区日本橋兜町三丁目二四番地
支　店　東　京・名古屋　出張所　九　州
工　場　東　京　都　足　立　区　下　沼　田　町　3　6　0　番　地

給　排　水：衛　生
暖　冷　房：換　気　設計施工

株式会社 大阪城口研究所

代表取締役　城　口　庸　平

大　阪　市　北　区　高　垣　町　一・電話大阪㊲7575～7
京都市東山区大和大路大仏前・電話京都⑥4945～6
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸④5892

電気・暖冷房・水道・衛生設備
設　　計　　施　　工

株式会社 大阪電気商会
株式会社 大阪暖房商会

取締役社長　菅　谷　三　郎

本　　店　大阪市西区江戸堀南通一丁目三七番地
電　話　大　阪　㊹　代　表　{5231番 / 8231番}
支　　店　東　京・名　古　屋
出　張　所　京都・神戸・岡山・高松・広島・福岡
熊本・札幌・仙台・新潟・金沢・福井

水道・衛生・煖冷房・其他管工事
設　計　並　施　工
特許ＹＭ式ルーフドレイン製造販売
（旧斎藤久孝事務所）

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市南区順慶町通一丁目四四番地
電話大阪㉘代表4496～8・4993～4番
本　店　東京都千代田区丸ノ内2ノ8仲12号館5号
電　話　28　局　6505～8番
金沢営業所　金沢市高岡町三五　電話金沢本局②2074
福井出張所　福井市城之橋下町一〇　電話　福井2436
高松出張所　高　松　市　二　番　丁　九　電話　高松5195

創　　業　**暖冷房・換気・空気調和**
大正二年　**病院諸機械・給排水・衛生**

株式会社 斎藤省三商店

東　京　店　東京駅前丸ビル6階676区
電話和田倉⑳3761・3762・3763・3764
大　阪　店　大阪市西区土佐堀通大同ビル714号
電話土佐堀㊹1568・1569・2594
札　幌　店　札幌・北四・西四（札幌駅前）
電話　札幌　②　0010・0956　③　4661
名古屋店　名古屋市中区南大津通一丁目千代田ビル522号　電話　中局㉔1766

暖房・冷房・衛生・水道・電気・厨房・築炉
鋼製建具・軽量間仕切・工事設計施工
電縫鋼管・荷役機械・製造販売

三機工業大阪支店

大阪市東区高麗橋三丁目壱番地・電話代表26局　2951 3076

本社　東京都千代田区有楽町壱丁目十番地
支店・出張所　名古屋・福岡・札幌・広島
工　　場　川崎・鶴見・中津・六郷

暖房・冷房・水道・衛生工業設備
設　計　施　工

須賀工業株式会社

大阪市西区土佐堀通1丁目14番地
電　話　㊹　代　表　5　1　7　1　番
東京支店　東京都港区芝田村町6丁目　電話㊸代表7121
名古屋支店　名古屋市中区材木町1丁目　電話㉓代表7856
京都支店　京都市下京区烏丸通松原下ル電話⑤1989・2255
神戸支店　神戸市生田区北長狭通2丁目　電話③代表5101
福岡支店　福岡市千代栄町　電話②代表4735

給水・排水・衛生設備・暖房設備
汚水浄化装置・都市廃物処理装置

株　式　会　社

西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通二丁目五一番地
電　話　福　島　㊺　3　4　1　5（代）
東京事務所　東京都港区西芝浦三丁目一番地
電　話　三　田　㊺　5281（代）

空気調和装置・設計施工

株式会社 建材社
大　阪　支　店

大阪市北区中ノ島二丁目（新朝日ビル5階）
電話北浜㉓6041（代）
本社及東京支店　東京都中央区八重洲三丁目七
営　業　所　名古屋市中区西万町二丁目一

暖冷房・水道・衛生設備
設計施工
山田工業株式会社
取締役社長 山田文次
本社 大阪市西区京町堀上通1丁目7
電㊹代2613・2061
営業所 神戸市生田区北長狭通7丁目1の1
電④1778・4386
出張所 名古屋市中区梅ケ枝町2の3 電⑨1765
〃 東京都北区上十条1の10 電⑨1②2346
〃 広島市西魚屋町31 電②1375

暖房・冷房・水道・衛生設備
設計施工
株式会社 **三晃商会**
本社 大阪市北区堂島北町一四 ㉞代表7031
出張所 東京都港区芝琴平町四〇 ㊿9278
名古屋市中区新栄町二丁目一 ⑨1820
福井市宝永上町一〇五 1596
広島市石見屋町五五 ②1938
福岡市養巴町二二 ④1158

煖冷房・水道衛生工事
設計施工
株式会社 **栄興商会**
取締役社長 中山俊人
本社 大阪市福島区上福島北二丁目一番地
電話福島㊺3391～5番
支店 東京都新宿区荒木町一九番地
電話㉟2177～8番
出張所 神戸市生田区下山手通八丁目三三
電話元町④3035番

煖房・冷房水道・衛生
温湿度調整装置
設計施工
株式会社 **朝日工業社**
大阪市北区中之島4－39 電㊹6671～5
東京支店 東京都港区芝浜松町2－7 電㊸7341～5
北海道出張所 札幌市北四条西15丁目 電②2203・③5374・5969
仙台出張所 仙台市元寺小路(五城ビル) 電②8061・③9261
名古屋出張所 名古屋市中区東陽町6－5 電㉔1270・1484
広島出張所 広島市中町3 電③7949
福岡出張所 福岡市薬研町3 電④0788・⑤0296

温湿度調整装置、煖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工
第一工業株式会社大阪支店
大阪市北区富田町30 電話大阪㉞(代表)0977
0978～9・0970
本社 東京都千代田区丸ノ内2－10
電話㉘2631－5
仙台支店 仙台市新伝馬町60
電話7332
名古屋出張所 名古屋市東区東門前町3－6
電話⑨2893

温湿度調整・煖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工
日本管工業株式会社
代表取締役 市川進男
本社 京都市中京区両替町通リ姉小路上ル
電話②2290・5532・6945
大阪営業所 大阪市北区天満橋筋1－37(天満橋北詰)
電話㉟8829
四日市営業所 四日市市浜田西末広町 電話7503・3665
津営業所 津市栄町2－111 電話3610

暖冷房・換気・空気調和
給排水・衛生・電気
設計施工
日本熱学工業株式会社
取締役社長 牛田正郎
本社 大阪市東区唐物町5丁目10
電話大阪㉕(代)5171～3・3643
東京営業所 東京都千代田区神田和泉町1
電話東京(866)7683・7716
下関出張所 下関市大和町33 大和ビル9号室
電話②5578

煖房・冷房・温湿度調整・衛生設備
設計施工
大嘉熱工業株式会社
取締役社長 嘉幡政四郎
本社 大阪市北区高垣町二三 電話大阪㉟2085・5725
東京営業所 東京都千代田区神田司町2の10船木ビル二階
電話㉙5038
四国出張所 愛媛県川之江市川之江町古町
電話川之江603

暖・冷房・空気温湿度調整装置 設計施工
各種送排風機・エロヒンヒーター・キャビネットヒーター
冷却塔・各種レヂスター・アネモスタット類製作
藤本鉄工株式会社
本社並工場 大阪市旭区赤川町三丁目二八 電話㊴1264－6
梅田営業所 大阪市北区神明町五〇 電話㉞1144－5
名古屋出張所 名古屋市東区駿河町一丁目三 電話⑨4594・5118
寝屋川工場 寝屋川市大字太間一九五 電話(寝屋川)0404

工業用及建築用各種石灰製造販売
小野田セメント特約販売店
樫野石灰工業株式会社
大阪支店
大阪市北区曽根崎新地三丁目五十三ノ一
(市電桜橋停留所前) 電話大阪㉞1274～6
支店・徳島・神戸・姫路・東京

電気工事設計施工
電気冷蔵庫・電気洗濯機
修理販売

工藤電気株式会社

大阪市北区野崎町八〇
電話・大阪㊱2891—5番
工場　大阪市西淀川区御幣島東一丁目二〇
電話　淀川㊼3477・3478
営業所　東京・名古屋・神戸・岡山・広島

各種電気工事設計施工

淺海電気株式会社

取締役社長　**浅海正雄**

大阪市東区北浜二丁目六九
電話　北浜㉓5273—5・5451—2
営業所　東京・札幌・沖縄・福岡

電気工事
設計・施工

朝陽電気株式会社

取締役社長　山本博三

本社　大阪市北区中之島三丁目三　朝日ビル7階
電話　大阪局㉓9531（大代表）
営業所　大阪市西区土佐堀通り四丁目十一番地
電話　大阪局㊹5201番(代表)～3
出張所　京都市中京区壬生桧町20
電話　㉞3481

電気工事全般設計施工

中央電気工業株式会社

取締役社長　**今村　騰**

本社　大阪市北区梅ケ枝町二五番地
電話　大阪㉞8131代表～4　㊱7263
営業所　東京・新宮・御坊

電気工事設計施工
三菱電機・冷凍機工事特約店

株式会社　野上工業所

取締役社長　野上清二郎

本社　大阪市東区北浜三丁目四七　電話北浜㉓770～3
支店　福岡市上東町十五　電話東③5010
支店　松阪市本町電話2480～2
出張所　東京・名古屋・神戸・直方・田川・大分・四日市

電気工事設計施工

株式会社　**ヤマト電気商会**

取締役社長　山本龍太郎

本社　大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪㉞代3056
東京営業所　東京都中央区銀座東8丁目4番地
全国燃料会館607号室　電話東京㊺7464
出張所　名古屋・四日市・福山・福岡

電気工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長　嘉納傳三

本社　大阪市北区絹笠町50（堂ビル3階）
電話㊱3862・1141
倉庫　大阪市大淀区浦江北2丁目51
電話㊺5148・6646
支店　東京都千代田区飯田町2—15（飯田橋ビル4階）電話㉝8520・8527～9
出張所　名古屋・光

電気工事全般設計施工

株式会社　**三興社**

取締役社長　坪井大（タケシ）

本社　大阪市北区絹笠町50番地（堂ビル703号室）
電話　大阪㊱2138代表・5018
支店　東京都中央区日本橋箱崎町三丁目二番地
電話　兜町㊼1478・1479・1470番
出張所　大阪堺・名古屋・下関

電気工事設計施工

江東電気株式会社

取締役社長　猪飼幸次郎

本社　大阪市生野区勝山通9丁目72
電話大阪㊸代表4035　㊹3515
支社　東京都新宿区淀橋533
電話　淀橋㊲6203
出張所　金沢・名古屋・高知・広島

電気設備工事・設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長　中本正明

本社　大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話　大阪㉝5143・5373
機器工場　大阪市城東区野江西之町三丁目一一三
資材倉庫　電話　大阪㉝2193・2134

リグノイド床・床材料

製造・販売・施工

福屋工業株式会社

本　店　大阪市西区南堀江上通一丁目三一
電　話　新町 ㊸ 3426～7

PAINTING CONTRACTOR

塗装工事請負

株式会社 **林　塗装店**

TEL. 大阪 ㉕ 1756—7・東京 ㉙ 1335

雨風に強く
緩勾配に最適

大和洋瓦（だいわ）

超軽量荷重（坪当37貫）和型より安い

発売元

大仏組　大仏瓦・各種和洋瓦 工事請負一式

本　店　京都市東山区今熊野池田町九　⑥3555
大阪営業所　大阪市東区内淡路町一丁目　㉞ 975

陶管・ベンチレーター

株式会社 **三幸商会**

大阪市北区曽根崎上一ノ四一
電話 大阪 ㉞ 3145

ヒューム管

コペンハーゲンリブ

商月報無料送呈

井田ベニヤ **井田商事株式会社**

大阪市浪速区西円手町一〇一七番地 湊町駅貨物八号門前
電話　(53) 4890・(54) 0808～9

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量



ナニワ緩勾配瓦

3寸緩勾配最適軽量 水止付(空葺)瓦

ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町二丁目七四二 電話(64) 五六五

特許植物性　型枠離剝塗料

サンヒット

関西代理店　株式会社 **金剛商會**

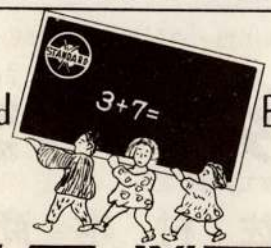
大阪市西淀川区野里町1231　阪神国道電車　野里電停前
製造元 東京 坂巻サンヒット商会　電 淀川㊼0417・4091

タイル 衛生陶器

販売と施工
奉仕感謝の店

株式会社 **川岸窯業**

大阪市西区靱南通二の二五（市電靱南通電停前）
電話 ㊹ 2571・2764 番



Standard Board&Slate

フタバ黒板

大阪市東住吉区桑津町三丁目101番地　電話天王寺(74)4692番

耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売



建築陶器の百貨店

株式会社 **吉田芳雄商店**

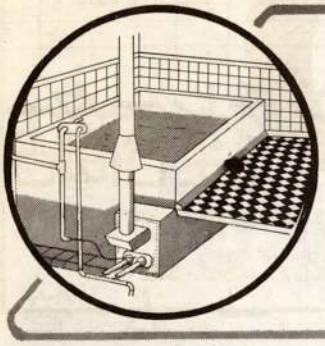
大阪市北区南森町交叉点
電話大阪 ㉞ 2403・3904

鈴木式防火シヤタア

鈴木シヤタア工業株式会社大阪出張所

株式会社 鈴木シヤタア商会

大阪市北区茶屋町33　電話㊲0098・5837・8729



田中のガス風呂

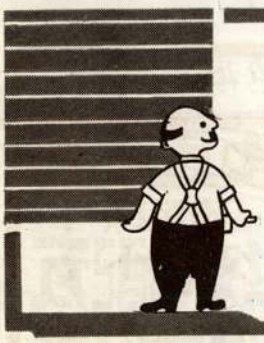
清

各種銅鉄風呂釜一式
箱風呂・ボイラー・
ガス風呂

大阪ガス会社指定

田中風呂製作所

大阪市浪速区元町1丁目742　但シ賑橋電停前　電話㊹5313・8128



平和式

親切・丁寧
ヒ御照会

軽量シヤッター

株式会社 平和シヤッター製作所

大阪工場　大阪市浪速区河原町2丁目　電㊹5750・8444
東京工場　東京都太田区糀谷町4丁目　電㊸0160・1733



エンドレス（長尺もの）

スタンダードメタル

PATENT Standard

谷樋・屋根に是非どうぞ

スタンダードーメタルの大島化学
エバーブライトの大島化学
（アルミ箔ルーフイング）
オーシマライトの大島化学
（ポリエステル樹脂積層板）

大島応用化学工業㈱

本社工場　大阪市城東区野江東ノ町4丁目　電話城東㉝3679・4481・8471
第二工場　大阪市城東区古市中通2丁目　電話城東㉝8813
支店　新居浜市西原町　電話2327・2938・3255
営業所　名古屋市 電(中)7025・広島市 電③7582 出張所 四日市市 電2065

〔広島営業所開設〕

各種陶管・大正便所・S.P.石綿パイプ・モルタル製敷ブロック・腰掛ブロック・スペンサー
セメント煉瓦・流司洗濯槽・塵芥箱・空気抜・ヒューム管
各種セメント製品・コンクリート製品製造・販売

三舟建材商會

大阪市住吉区上住吉町三一番地
電話㊼2420番

赤褐色・銀黒色・青緑色及瀬戸焼色瓦

平安瓦

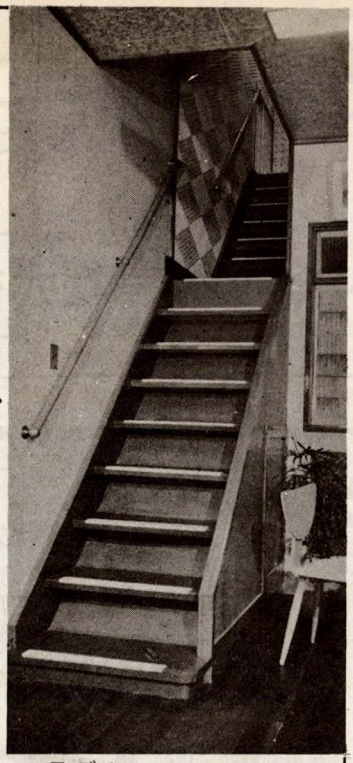
耐台風に
耐震に
優雅な瓦

各種瓦葺工事請負業

合資会社 佐村木商店

大阪市東区京橋前之町2（市電京阪東口停前）
電話㊹7016・7017・1528番

リブ付塗装合板
美装パネル
吸音多孔合板
ベニヤトーン
日楽の繊維板
ヤマハボード
二重色調浮出杢
カラーボード
織物の壁貼材料
オーツカクロース
線條塗装合板
ラインボード
ビニール合板
ビニライト
立体塗装合板
カーベライト
九つの特長を誇る
九徳天井板



モデルルームへどうぞ

一歩でも時代感覚に先駆しようと努力しています

大阪市浪速区幸町通3丁目20
浪速合板
電話 新町(53) 2201−3番

工場 大阪市住吉区西加賀屋町4丁目81・電話 住吉(67)5109

吸音テックス
Acoustic Tex



株式会社 **室谷商店**

本社 神戸市生田区長狭通四ノ一地産ビル
TEL 三宮 ③0881〜3
支店 大阪市北区絹笠町五〇 堂ビル5階
TEL大阪㊱2021・3486・1141

燃えない建築資材
耐火ボード
タイガー印
石膏デスボード
タイガートーン
絶対に亀裂を生じない劃期的下塗壁材
Y.N石膏プラスター
キーンスセメント
各種焼石膏
吉野石膏大阪支店

大阪支店 大阪市西区土佐堀通1−1(大同ビル)
電話 (44) 3694・0131
本社 東京都丸ノ内・三菱東九号館四号
電話 東京 (28) 2391 (代表)
九州営業所 福岡市相生町1−1 電話西(2)7420

木毛セメント板



東邦商会
本社 大阪市東住吉区桑津町3丁目59
電話大阪㉞1296〜7
出張所 和歌山市新堀6丁目13
電話和歌山②0298・9435

建築技術者の照会

就職転職希望者は履歴書と希望条件と給料00円以上と明記の事。
採用者は希望条件と本採用臨時あるいは一現場限りなどの区別併に給料00円以上00円以下と明記の事。

相方の氏名は採用確定まで極秘として発表せず。
就職希望者は一切無料。採用者側は採用確定の時に限り通信費等の実費の一部を申受ける事あり。
官公庁会社等の勤務者にて夜間空費の時間に**アルバイト**希望の方はお申込置き下さい。仕事のあった場合にお知らせします。この場合は仕事の依頼者にも**アルバイト**する方の氏名は極秘として知らせません。

泉大津市助松708 建築士長田 TEL 1105
大阪連絡所 TEL (54) 919 長田

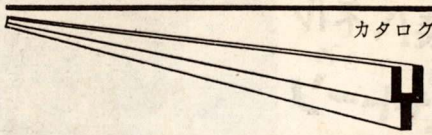
軽量鉄骨
設計・施工
新鋼建設工業株式会社
取締役社長 吉田信武

本社 大阪市西区新町通2丁目25
電話 ㊸609・6575
工場 神戸市東灘区本庄町青木古堂町53
電話 神戸 ⑧616
広島県御調郡向島町立花3010
電話尾道 2868 向島西19

（ＪＩＳ）製作工場

スチール.サッシュ
スチール.ドア
スチール.シャッター


NS型


LS型

カタログ進呈

パテ切リ不要ノ　〝サッシュバー〟

榮進鋼業株式會社

本社及工場　大阪市城東区野江西之町2丁目2
電話城東㉝-8261～3

出張所 福岡 連絡所 名古屋 広島 長崎 富山

光り 波型ガラス（網入及網ナシ）

ダイニチライト

ポリエステル樹脂
硝子繊維強化板



製造元　**大日本硝子工業株式会社**

大阪支店　大阪市北区玉江町2—4（三菱倉庫ビル）電話土佐堀㊹3389・1389
本　社　東京都中央区京橋3—6　電話㉘ 6926～8

冷蔵庫防熱工事
耐酸モルタル工事

アスファルト専門工事

アスファルト防水工事
アスファルトタイル工事
各種床工事

大阪耐酸工業所

大阪市北区浮田町82番地　**電話豊崎㊲1333番**

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト
モルタル工事

N.G.C式

メタリヤンメッシュD.M38番責任施工
米国パブコ.コンパウンドアスファルト販売

内外工業株式会社

脇山静夫

本社　大阪市阿倍野区旭町一ノ五一　電話㊸3434～6
工場　大阪市阿倍野区旭町二ノ六六

N.G.インシュライト断熱材製造発売元

日本で初めての **年限仕様**

Ⓐ アスタイト防水

地区	組合員名	住所	電話
近畿（順不同）	(株)久保商店	大阪市北区真砂町5	北 ㊵0207～8・4836～7
	(株)木下謹三商店	大阪市西区江戸堀南通5ノ35	土佐堀㊱5408・5486
	(株)明正社	大阪市北区樋ノ上町45	北 ㊵8157～9
	(株)井上浄夫商店	大阪市西区江戸堀下通1ノ7	土佐堀㊱8531
	(株)大和商会	大阪市南区高津町4番丁73	玉 ㊸1588・1905・6687
	(株)石田建材店	大阪市東淀川区元今里北通り1ノ31	豊崎㊼3340・3505
	石井建材有限会社	神戸市兵庫区荒田町1丁目	湊川⑤2140・2697
	タテバヤシ商店	京都市下京区四条大宮南入学校前	壬生㊽4468
	田島応用化工㈱大阪出張所	大阪市西区京町堀上通1ノ14	土佐堀㊱1773～5・809～10
東海	(資)岡田建材店	名古屋市西区西菊井町2ノ12	西 ㊾2057・0121
	(株)名建商会	名古屋市中区宮出町41ノ2	中 ㉔1329・2817・2106
	高橋建材店	名古屋市中区村木町1ノ12	本局 ㉓3295
北陸	北川工業株式会社	金沢市西側町8	金沢②4552～3
	北川工業(株)富山営業所	富山市奥田新町28	富山②2218 ③1014
	小島工務店	高岡市大坪旭町2丁目32ノ3	高岡 2463
	小島工務店富山営業所	富山市神通町3区1003	富山 8221
中国	青盛建材株式会社	広島市鉄砲町108	中 ②2281～4
	青盛建材(株)岡山営業所	岡山市東田町3	岡山②7911・8169
	(有)小野甚商店	岡山市内山下30ノ10	岡山②4272
	(株)浜原豊商店	尾道市若宮町	尾道 2760
	(株)浜原豊商店 防府支店	防府市大林寺	防府 1037
四国	古市断熱工業株式会社	高松市天神前220	高松③4239
	正和商事株式会社	松山市1番町21	松山 525・1159・2159
九州	青盛建材(株)福岡営業所	福岡市万行寺前町14	東 ③1225～6
	暁建材工業株式会社	福岡市薬院町65	中 ④4326
	高稲工業株式会社	長崎市大黒町45	長崎②9228

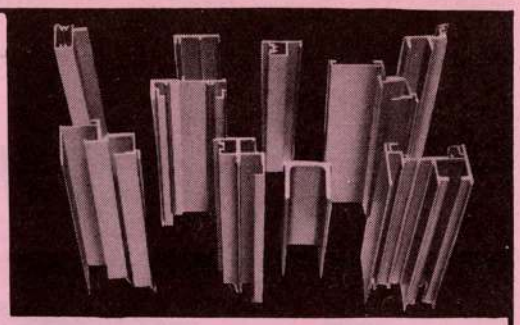
建設省阪建22号認可　　**出資金510万**

三星 西日本アスファルト事業協同組合

大阪市西区京町堀上通一の一四　TEL ㊹代表1773
東京連絡所 東京都足立区小台町六三三（田島応用内）　TEL ㊶代表1181
北陸・東海・近畿・中国・四国・九州

昭和アルミの

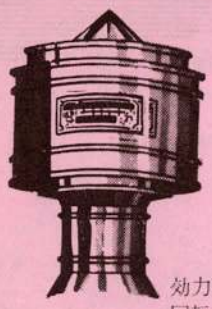
押出型材

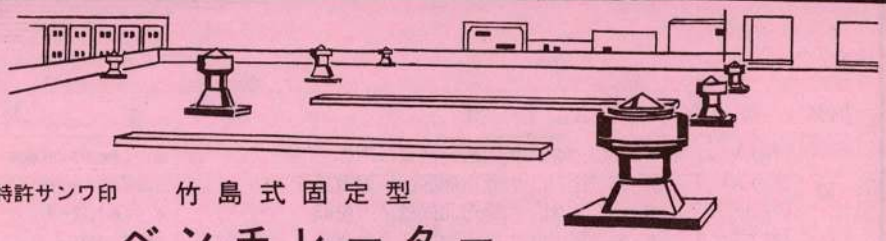


アルミニウムの押出型材は複雑な型状のものが容易に作れ製品コストを下げ、軽く、美しく、錆びず、合金によって鉄鋼に匹敵する強度を持ちます。最近極めて広範囲に使用されています。
アルミニウム工業に於て伝統を誇る当社は最新式押出機により管、棒、線、その他各種の型材を生産しています。

昭和アルミニウム株式会社

本　　社 堺市海山町6の224
TEL 堺3—1181(大代表) 大阪(67) 3522(代表)
東京営業所 東京都中央区日本橋堀留町1の12
TEL 東京(66) 0087, 0715, 1776





特許サンワ印　竹島式固定型

ベンチレーター

全国各地有名金物店に有り

効力絶対責任付
回転式の三倍強
カタログ送呈

製造発売元 三和金物株式会社

大阪市南区南綿屋町
電話(27) 4755—7

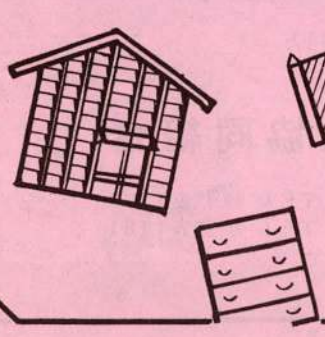
● リーフレットの用意があります　ご請求下さい　● 模造品が一部市場に出ていますからご注意下さい

特許C型カーテンレール

A—10

東京装備工業株式会社 東京都中央区新川1-6 TEL 55|0771-5

住宅や家具につく白アリや害虫を退治します、その上「アリノン」は
くされ・かびにも特効があります。



白アリに アリノン

山宗化学株式会社 東京都中央区八丁堀2丁目3番地 電話(55) 5292・3634・0729
大阪市西区江戸堀下通2～38西船場ビル 電話土佐堀(44) 7715・2803

アスファルト防水の材料と工事は

（アイウエオ順）

◀製造業社		
協和建材工業 k.k.	大阪市東淀川区田川通5丁目91	(37) 6002・857
k.k. 工英社	大阪市西成区橘通9丁目24	(66) 8861～2
k.k. 工盛社	大阪市城東区西鴫野6丁目43	(97) 4460・8288
大恵工業 k.k.	大阪市西淀川区姫島町1690	(47) 3131～2
田島応用化工 k.k. 大阪出張所	大阪市西区京町堀上通1丁目14	(44) 809～10・1773～5
東亜工業 k.k.	八尾市大字太子堂629	八尾（029）2308・3039
日瀝化学工業 k.k. 大阪営業所	大阪市東淀川区堀上通3丁目39	(39) 924～5・2045
日新工業 k.k. 大阪支店	大阪市西区新町北通1丁目40	(53) 5281～3
◀販売業社		
浅野物産 k.k. 大阪支店	大阪市東区瓦町2(三和ビル)	(23) 1731代・2931代
池田商事 k.k.	大阪市東区道修町1丁目11(加藤ビル)	(23) 1345・1346・3381
内田商会	大阪市北区万才町47	(36) 900・2841・2966
梅本石油 k.k.	大阪市西区新町北通1丁目52	(54) 3785～7
枝松商会	大阪市北区道本町41	(34) 8643
大阪朝日瀝青 k.k.	大阪市西区南堀江一番町14	(53) 4520・8401
三友アスファルト k.k.	大阪市東住吉区矢田住道町913	(79) 4427
川崎物産 k.k. 大阪支店	大阪市北区絹笠町50（堂ビル二階）	(36) 774
中西瀝青産業 k.k. 大阪営業所	大阪市北区老松町2丁目7	(34) 4305
k.k. 長野商店	大阪市北区中之島6丁目8	(44) 853・5196
日本建設興業 k.k.	大阪市東区北浜4丁目19	(23) 2771～2
前田商店	大阪市西区江戸堀北通5丁目35	(44) 5223～4
村井工業所	大阪市生野区生野田島町94	(73) 2514
山文商事 k.k.	大阪市西区土佐堀1丁目13	(44) 0255代・5392代
◀工事業社		
旭化建工業 k.k.	大阪市北区茶屋町38	(37) 6555～7
k.k. 井上浄夫商店	大阪市西区江戸堀下通1丁目7	(44) 3520・4564・1005
k.k. 石田建材店	大阪市東淀川区元今里北通1丁目31	(37) 3340・3505
大阪耐酸工業所	大阪市北区浮田町82	(37) 1333
大島応用化学工業 k.k.	大阪市城東区野江東之町4丁目104	(33) 3679・4481・8471
k.k. カナヱ商店	大阪市北区空心町1丁目30	(35) 2922
共栄瀝青工業 k.k.	大阪市東区船越町2丁目34	(94) 5561～2
k.k. 木下謹三商店	大阪市西区江戸堀南通5丁目35	(44) 5408・5486
k.k. 久保商店	大阪市北区真砂町5	(34) 207～8・4836～7
清水興業 k.k.	大阪市北区鶴野町34	(37) 1383・2933・9377
k.k. 大和商会	大阪市南区高津四番丁73	(64) 1588・1905
友田工業株式会社	大阪市都島区都島中通6丁目41	(35) 4779・0997
内外工業 k.k.	大阪市阿倍野区旭町1丁目51	(64) 3434～6
日本瀝青工業 k.k. 大阪営業所	大阪市北区富田町40	(34) 1804
k.k. 双葉商会	大阪市東淀川区木川西ノ町2丁目6	(37) 3375
松本瀝青工業 k.k. 大阪支店	大阪市都島区都島本通7丁目45	(35) 9231
マルヱス工業 k.k.	大阪市福島区上福島南通1丁目152	(45) 2360・2030
k.k. 明正社	大阪市北区樋ノ上町45	(34) 8157～9
米田工業所	大阪市天王寺区南玉造町43	(75) 7271
石井建材有限会社	神戸市兵庫区荒田町1丁目	湊川（5）2697
k.k. 中出商会	神戸市兵庫区上沢通6丁目9	湊川（5）4630
三信工業所	神戸市兵庫区神田町439	元町（4）6930
中村瀝青工業株式会社	神戸市生田区北長狭通6神鐵共栄ビル	元町（4）5884
有限会社 小野甚商店	岡山市内山下30ノ10	（2）4272
k.k. 浜原豊商店	尾道市若宮町	尾道2760
青盛建材 k.k.	広島市鉄砲町108	中（2）2881～2
古市断熱工業 k.k.	高松市天神前220	高松 4239
正和商事 k.k.	松山市一番町	松山525・1159・2159
k.k. 山本商会	松山市茅町2丁目95	松山 2717
▶賛助会員		
丸善石油 k.k.	大阪市南区長堀橋筋3丁目	(27) 1251(代)



パールカラー

美しい

耐蝕性

新しいALUMINUM時代をむかえるには

不二のFR型（レディメード）アルミサッシで

軽い

アルミサッシ・アルミドア・アルミスパンドレル・アルミサッシ・アルミドア・アルミスパンドレル

錆びない

経済的

営業品目
アルミサッシ
アルミドア
アルミスパンドレル
スチールサッシ
スチールドア
スチールシャッター

株式会社 不二製作所（フニサッシ）

本　　社：川崎市中丸子135番地　電話 72—4261(代)
東京事務所：東京都中央区銀座西6～5　電話 57—5526(代)
大阪支店：大阪市西淀川区御幣島町中3～4　電話 47—1454
営業所：福岡・名古屋・金沢・仙台・札幌　工場：川崎・大阪

広告目次

(50音順)

ア アスファルト同業会関西支部 11
青山鋼材kk ……14
浅海電気kk …… 4
kk 朝日工業社…… 3
伊奈製陶kk ……中挟
泉石綿工業kk ……16
井田商事kk …… 5
kk 岩住鉄工所……15
岩元工業kk ……14
kk 栄興商会…… 3
栄進鋼業kk …… 8
kk 荏原製作所……表紙 4
オリエンタルメタル製造kk 中挟
大阪建材工業kk ……22
kk 大阪城口研究所…… 2
kk 大阪電気暖房商会…… 2
大阪耐酸工業所 …… 8
大島応用化学工業kk …… 6
kk 奥村重兵衛商店……66
奥山化工業kk ……20
織本特殊構造研究所 ……17
カ 樫野石灰工業kk …… 3
kk 川岸窯業…… 5
川口ゴム工業kk ……前付
河津装飾kk ……前付
kk 関西機械建材社……18
関西ペイント ……目次対抗面
関西三星タイル会 ……22
工藤電気kk …… 4
kk 久保商店…… 1
kk 建材社…… 2
kk 工英社……表紙 2
江東電気kk …… 4
kk 小俣製作所……62
kk 金剛商会…… 5
サ サンエス石膏kk ……中挟
斎久工業kk …… 2
kk 斎藤省三商店…… 2
三機工業kk …… 2
kk 三幸商会…… 5
kk 三興社…… 4
kk 三晃商会…… 3
三宝電機kk …… 4
kk 三和シヤッター製作所…前付
三和金物kk ……10
敷島金物kk ……目次対抗面裏
彰 国 社 ……75
昭和アルミニウム kk……10
新鋼建設工業kk …… 7
kk 新興建材工業所……19
須賀工業kk …… 2
鈴木シヤタア商会 …… 6
セメダインkk ……前付
タ 田島応用化工kk ……表紙 4
耐酸化学工業kk ……15
田中工業kk …… 1
kk 田中風呂製作所…… 6
田辺工業kk ……76
田村商会建材部 ……21
kk 谷山製作所……76
第一工業kk …… 3
大嘉熱工業kk …… 3
大建ウォールボード工業kk …前付
大日本硝子工業kk …… 8
大日鋼業kk ……18
大 仏 組 …… 5
高砂熱学工業kk …… 2
kk 武智工務所……66
中央電気工業kk …… 4
朝陽電気kk …… 4
東邦商会 …… 7
東京鋼板工業kk ……14
東京装備工業kk ……10
東洋キヤリア工業kk …… 2
東洋陶器kk ……前付
東洋リノリュームkk ……前付
東洋レーヨンkk ……目次対抗面
ナ ナニワ瓦kk …… 5
内外工業kk …… 8
内外土木建材社 ……15
中谷シヤッター製作所 ……16
中本電気kk …… 4
中之島製鋼kk ……前付
浪速合板 …… 7
浪速建材工業kk ……21
日本管工業kk …… 3
kk 日本金具製作所……中挟
日本サッシュ協会賛助会員 前付
kk日本シヤッター製作所 ……表紙 3
日本セメント防水剤製造所 ……表紙 3
日本ドアーチエツク製造KK ……中挟
kk 日本ドアーチエック製作所 ……16
日本熱学工業kk …… 3
日本ハードボード工業kk ……18
日宝蛭石kk ……15
日瀝化学工業kk ……前付
西日本アスファルト事業協同組合…… 9
kk 西原衛生工業所…… 2
kk 野上工業所…… 4
ハ 八保鋳鉄工業kk ……16
kk 林塗装店…… 5
kk 汎建製作所……17
kk 日立製作所……表紙 2
kk 平川鉄工所……前付
フタバ黒板 …… 5
プラスチックス・エージ ……79
藤本鉄工kk …… 3
福屋工業kk …… 5
藤森建材kk ……前付
kk 不二製作所……12
kk 平和シヤッター製作所…… 6
豊国セメントkk ……14
マ 水谷ペイントkk ……76
kk 美素工業所……目次対抗面裏
kk 三高製作所……17
kk 三谷製作所……前付
kk 峰岸商店……20
三舟建材商会 …… 6
kk 室谷商店…… 7
ヤ 山田工業kk …… 3
山宗化学kk ……10
kk 山本建材社……中挟
kk ヤマト電気商会…… 4
kk 油脂化工社……表紙 3
kk 吉田芳雄商店…… 5
吉野石膏kk …… 7
ラ kk ライト製作所…… 1

特別広告関係 (順不同)

kk 竹中工務店…… 2
三井建設kk …… 2
kk 片山鉄工所…… 3
大阪市大正区南恩加島町1 電㊀3931(代)
栗原工業株式会社 …… 4
東洋キヤリア工業株式会社
大阪支店… 4
三機工業kk …… 5
kk 大阪電気商会大阪暖房商会 5
東京鋼板工業kk …… 6
東洋リノリュームkk …… 7
東洋オーチスエレベータkk … 7
大阪市北区中之島 (三井ビル)
電㊀8651 (代)
kk 矢橋大理石商店…… 7
kk 鈴木シヤタア商会…… 8
三木塗装店 …… 8
大阪市西区新町3—16 電㊀2618—8884
亀井kk …… 8
kk 平田タイル…… 9
kk 不二製作所…… 9
小野田セメントkk …… 9
小野田レミコンkk …… 9
東芝商事kk 大阪支店……10
大阪市北区堂島浜通1—15
電㊀1101(大代)
日新工業kk 大阪支店……10
kk 竹中工務店……11
須賀工業kk ……12
近畿電気工事kk ……13
鈴木シヤタア商会 ……14
浅海電気kk ……14
kk 大阪熊平金庫店……15
大阪市南区順慶町通り2—49電㊀2984～6
kk 川島織物……16
軟水工業kk ……16
大阪市北区鳴尾町10 電㊀6349・305
kk 矢橋大理石商店……16
日本建鉄kk 大阪営業所……16
大阪市北区玉江町2丁目4—1 電㊁代表4677
東京鋼板工業kk ……17
kk 荏原製作所大阪営業所……18
荏原インフイルコkk ……18
大阪市北区中之島(朝日ビル) 電㊀6621
kk大阪電気商会大阪暖房商会 19
淡陶kk 大阪支店……19
日本板硝子kk ……20

アルミニウム
ステンレス　サッシュ・ドアー
スチールシヤッター

東京鋼板工業株式会社

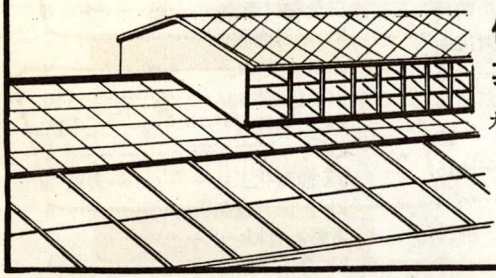
本社及工場　東京都荒川区尾久町5ノ1000
電話 ㊽ 8131～6
大阪支店　大阪市北区絹笠町18番地（聚暉ビル3階）
電話 ㉞ 0621・0628
名古屋支店　名古屋市中区大池町24（丸菱ビル）㉔3048・4593
代理店　広島・福岡・富山・札幌

豊国セメント株式会社

本社　福岡県苅田町
事務所　小倉・大阪・東京

岩元式

スカイライト並固定筒型コンチニアスベンチレーター



サッシュ、ドアー、シヤッター
伸縮扉、オペレーター、門扉鉄柵
其他金物一式製作施工

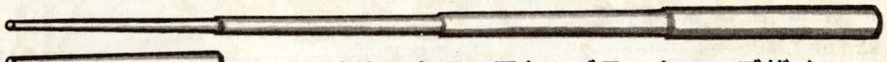


カタログ進呈

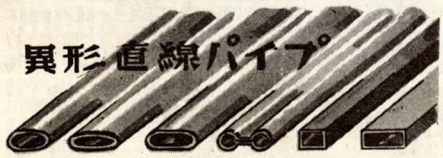
岩元工業株式会社

本社　大阪市東成区東今里町4の40
電話 ㊽ 0616・0617

段付テーパー
テーパーパイプ



アラヤの新製品
異形特殊パイプ



建築・家具・電気のデラックス　デザインに

アラヤ特殊パイプは本邦唯一の製法による電縫管で（ステンレス・軽合金・引抜鋼管も製作可能）下記の様な特長をもっております

1. 長尺にても真直ぐな製品が出来ます
2. 表面地肌が非常に美しい
3. 従ってメッキ及び塗装が非常に楽に行われます
4. 製品価格が非常に安い

カタログ・値段表送呈。見本御希望の方は（8本1組）¥370—要

製造元　新家工業株式会社
発売元　**吉山鋼材株式会社** パイプ課
大阪市西淀川区野里町1239ノ8
電話大阪（47）0012・0013・0014・3760

ヒルコン

耐火 断熱 保温 保冷 防音
吸音 結露 防止 に

焼成蛭石

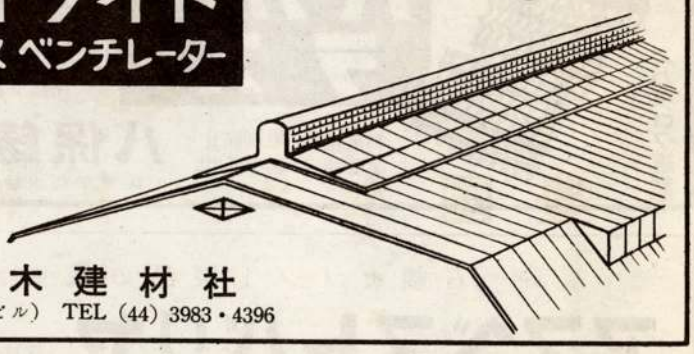
㊝ 日宝蛭石株式会社

大阪市東区高麗橋3～7 TEL(23) 1601.1704.5627.5628.淀川工場・大阪市東淀川区豊里菅原町119 TEL(38) 3101

40年の伝統と経験を誇る

内外式 **スカイライト**
コンチニアス ベンチレーター

体育館アーケードに最適



ベンチレーター（筒型各種）
バーチカルベンチレーター（電動式）
波型硝子屋根完全葺
設計施工

株式会社 **内外土木建材社**
大阪市西区土佐堀船町23（大阪商工ビル） TEL (44) 3983・4396

錆びない
岩住の
サッシ・ドアー

弊社製品の総てに

オートメーションに依る
ポンデライトを
錆止メ塗装は
焼付塗装で

完全防錆を
期しています
是非御採用の程願上ます

株式会社 **岩住鐵工所**
本社 大阪市西淀川区千舟東二丁目三一番地
電話 淀川（47）代表5123・3000



化学工場の建物を酸蝕から守れ！



レヂン化工部
ポリエステルレヂンライニング
ヒタフランエポキシライニング
各種合成樹脂及目地材料
耐酸タイル耐酸塗料

建材部
木毛セメント板ヘキタイト
パブコグリップデック
耐酸アスファルトフローチン
・見本型録呈上・

耐酸化学工業株式会社

大阪市北区高垣町80 電話 大阪 (34) 4957・4958 (36) 0178・4161 (代)

NA式軽便シャッター

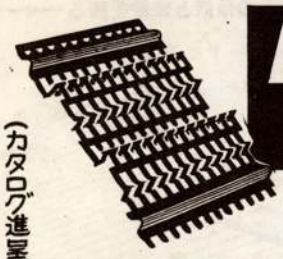
防火、盗難予防用　軽快にして堅固なり

NAKA

中谷シャッター製作所

営業所　大阪市福島区上福島北三丁目137　TEL (45) 7389
出張所　岡山・広島・宇部・福岡

近代建築の花形. ライトゲージ建築にはぜひ!



(カタログ進呈)

ハッポーラス

新案特許

寸法
1820mm×610mm

優良ラスとして日本建築協会が証明する



剥落絶無・亀裂防止
塗着完全・裏板不用

八保鋳鉄工業株式会社

大阪市東住吉区加美福井戸町3－58　電話東住吉㊼9907

石綿セメント製品の最高水準を行く!!

アスベストバリヤ (硬質石綿板)

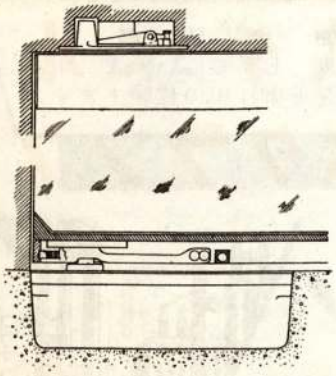
Asbesto. Barrier

建物内外壁、間仕切、天井扉
電気室、発電所、配電室、製鋼
ガラス工場の壁、製糖、製油
製薬工場の床スカート壁など
に最適

呈カタログ

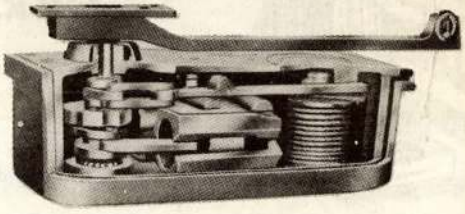
泉石綿工業株式会社

大阪市北区北同心町1丁目11
電話堀川㉟3442・4078



登録 NEWS 商標

ニュース印フロアーヒンヂ



営業品目
ニュース印　ドアーチェック
〃　フロアーヒンヂ
〃　ピボットヒンヂ
〃　ラバトリーヒンヂ
カタログ進呈

株式会社 日本ドアーチェック製作所

尼崎市金楽寺2丁目24番地・電話 大阪 (48) 5855・7273番

三高式 サッシュ.ドアー.シャッター
オペレーター
ドアーハンガー
TRADE MARK
M.T.K.S
株式会社 三高製作所
本社工場 大阪市東淀川区西中島町7－69
電 話 大 阪 37—1 7 5 4(代 表)

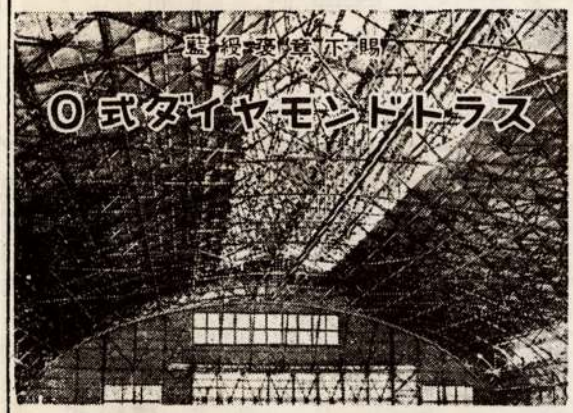
伝統に輝く
優秀な製品

スチール サッシュ
スチール シャッター
スチール ドアー

新規製品
完全密閉片引き窓
気密度極めて高く
開閉軽快・堅牢・低価

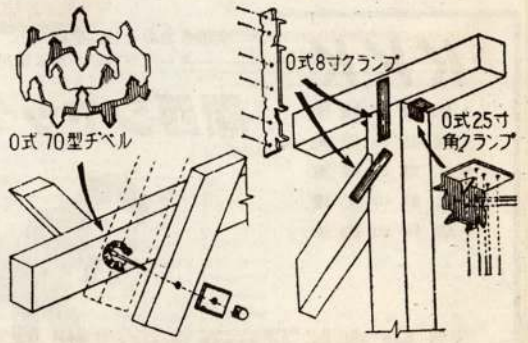
株式会社 汎建製作所
大阪市此花区恩貴島北之町11 電話 此花 ㊻ 2903・4461

鉄材が少くてすみ施工簡易な格納庫・工場・体育館の建築には
"ORIMOTO" DIAMOND TRUSS



設計の御依頼に応じます（施工は御自由です）
カタログ及び設計参考資料贈呈
考案 織本建築設計計算事務所

官公庁御採用 耐震耐風木材接合金具
住宅、工場、学校、集会場、体育館にまた2階梁に
PAT O式ヂベル
PAT O式クランプ

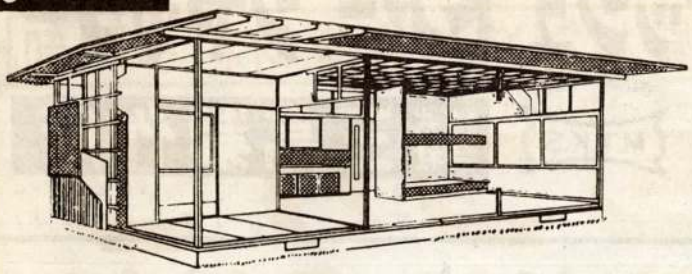


販売 織本特殊構造研究所
東京都中央区日本橋蠣殻町3～2（水天宮交叉点角）TPL（67）6443・7007・7062

Golden BOARD

第3の材質

内装，外装に広い用途を持つ！



ゴールデン
ハードボード

天井から床まで優れた特性を
持ち耐久性が大であります。

いつも適温・しずかな住まい..

ゴールデン

保温・断熱・防音にすぐれた　インシュレーション
建物から家具まで用途が広い　ハードボード
間仕切り用に効用大　サンドウイッチボード

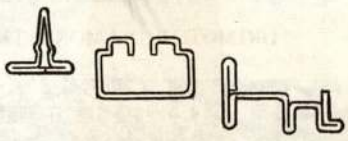
NB 日本ハードボード工業株式會社

本社　名古屋市中区広小路通6の3
東京　東京都中央区京橋2の4
大阪　大阪市西区南堀江上通り1の35(三友ビル)
工場　名古屋市港区汐止町

代理店　CI 伊藤忠商事株式会社　AC 安宅産業株式会社　三菱商事株式会社　住友商事株式会社

R付キ
角出シ

コールド ロールによる
角パイプ
特殊軽量形鋼



呈カタログ　日本特殊形鋼株式会社
発売元　大日鋼業株式会社
大阪市西区立売堀北通七丁目二一
電　話(54)1721・1722・1723

KKK
●伝統の技術
●製品の優美
●工事の確実
●工期の正確
●価格の適正

（カタログ進呈乞御一報）

全国各地の会社、商店・
ガレージ等の戸締に使用される
関西シヤッター



スチールシヤッター
ライトシヤッター
軽便シヤッター
特殊機械扉

押上式
捲上式
横引式

株式会社 關西機械建材社

本社及第一工場　大阪市東淀川区野中北通二丁目三五　電話三　国(39)1864 2397
第二工場　大阪市城東区野江西之町二丁目二　電話城東(33)8263
名古屋出張所　名古屋市中区東陽町十一丁目十六　電話名古屋(24)0372
広島出張所　広島市小網町三九　電話広島(3)1250
福岡出張所　福岡市上州崎町二五　電話福岡(3)6326

特殊壁材製造と左官材料専門卸

★セメント防水剤は世界的水準のJIS合格品のご使用を！

シンケン
防水剤・急結剤



★純日本和室の最高峰　吹付・塗付の京壁
日本壁

★塗付ける繊物　和洋室に最適
パビロン壁

★近代建築の和洋室内壁に防音・保温・落ちぬ塗壁材
いすゞかべ

★劇場・洋室・学校講堂・公会堂の内壁に防音・保温の
チエリーウオール

★純日本趣味の塗り良い優雅な壁……
錦上壁

★セメント・石灰・プラスターの着色に純鉱物性不変色の…
チエリーカラー

★セメントの（アク）でお困りの場合に
シンケン　セメント（アク）止剤

水溶性特殊接着剤〝シンケン糊〟桜印酸化黄
ラスヒゲコ・末広布連其の他特殊材料製造発売
（カタログを各地有名建材店にお申込み下さい）

株式会社 新興建材工業所

黄綬褒章受賞

特許 奥山式 熱工法 冷工法 綜合防水層

カッパー防水帯

C.F #38

COPPER-BOSUITAI
OAM
TRADE・MARK

カッパーメッシュ
コーパータイト

耐酸耐油工事
アスファルト工事一般

製造元 奥山化工業株式會社

東京都中央区銀座西8丁目3番地 ・ 電話 銀座 57 2703 4・2370・4064・0264

ボッシュ電動式ハンマー



カタログ本誌名記入
お申越次第進呈

強力・堅牢・高能率

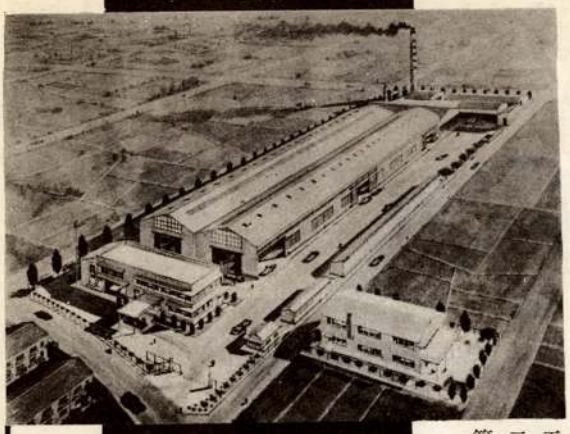
穿孔・削切兼用・(電灯線使用)

コンクリートの穿孔，削切
目粗しに高性能を発揮します。

独乙ロバート・ボッシュ会社製
日本総代理店

株式会社 峰岸商店

大阪出張所
大阪市西区江戸堀上通1丁目8番地
電話 土佐堀 ㊹ 0842・2181



第二工場

浪速式
スチールサッシュ・ドアー
シヤッター・オペレーター
パーカライジングの処理工場完成
—製造販売—

NANIWA
大正十四年
創業

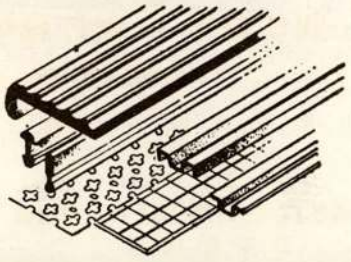
日満ゴムタイル
全國總代理店
責任施工

浪速建材工業株式会社

本社・工場・大阪市城東区野江中之町一丁目九番地　電話城東㊲1171～3番
第二工場・大阪市城東区茨田横堤町四一番地　電話城東㊲6153・6824番
東京営業所・東京都中央区銀座東六丁目木挽館ビル六号館607号室　電話東京㊲4611番
福岡営業所・福岡市天神町三番地（サンビル内）　電話福岡④8462番
出張所・大分市栄町下市三一七番地　電話大分1366番

タムラ　最高の品質・新しい建築資材

金属建材



田村式メタルシーリング
田村式金属タイル
田村式ジョイナー
モリソン式ボードサッシュ
ノンスリップ・目地棒
コーナービード・パンチング

創業明治24年
貿易・木材・建材

田村商會　建材部

本店　神戸市生田区栄町通二丁目三九（安田火災ビル）　電話神戸③0591—3・5032—3・0498
支店　東京都中央区八重洲一丁目一西河岸橋西詰　電話東京㊱局6181・5182

三星の床材

プラスタイル"P"

（Pタイル）

株式会社　木下謹三商店
大阪市西区江戸堀南通5ノ35　電話土佐堀㊵5408

株式会社　久保商店
大阪市北区真砂町5　電話北㉞207～8

三友工業株式会社大阪営業所
大阪市西区南堀江上通1ノ35　電話㊾1278

合名会社　利倉幸商店
大阪市南区長堀橋筋2ノ20（道頓堀電停前）電話南㉕471
京都営業所　京都市中京区河原町夷川下ル　電話③3.299

和泉産業株式会社
大阪市南区日本橋筋2ノ36　電話戎㉔3286

石井建材有限会社
神戸市兵庫区荒田町1　電話湊川⑤2697

タテバヤシ商店
京都市上京区大宮通四条下ル　電話壬生㉔4468

合資会社　岡田建材店
名古屋市西区西菊井町2ノ12　電話㊽0121・2057

株式会社　名建商会
名古屋市中区宮出町41ノ2　電話中㉑1329・2106・2817

日東物産株式会社
本社・名古屋市中区東瓦町39　電話㉔6176～9
岐阜出張所・岐阜市竹屋町27　電話③2201・2360

青盛建材株式会社
本社・広島市鉄砲町108　電話中②2281～4
岡山・岡山市東田町3　電話②7911・8169
福岡・福岡市万行寺前町14　電話東③1225～6

関西三星タイル会員

スチールサッシ・ドアー

アルミサッシ・ドアー

スチールシヤッター・オペレーター



（弊社堺工場事務所）

建　大阪建材工業株式會社

営業所　大阪市南区九郎右衛門町二十一番地　電話　㉕836～839番
工事部　全所　電話　㉕7127・7047番
本社工場　堺市松屋町一丁目六番地　電話堺②3323～3327番
経理部分室　大阪市南区久左衛門町7番地　電話　㉕830番
泉尾工場　大阪市大正区泉尾浜通四丁目六番地　電話　㊺223番
出張所　名古屋・金沢

特許神田式

あらゆるシヤッターの
専門メーカー

日本シヤッター

株式会社　日本シヤッター製作所

本社・大阪工場	大阪市東淀川区田川通6丁目38	(電) 代37-8565
名古屋支店	名古屋市中区宮出町23	(電) 24-4811
東京工場	川崎市新丸子東3丁目1159	(電) 047-5350
九州工場	福岡市榎田町1268	(電) 2-6708
営業所	高知・岡山・高松・姫路	
代行店	全国主要都市ニアリ	

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤

CEMENT WATER-PROOF WOTAITO

ウォータイトB号

株式会社　日本セメント防水剤製造所

本社　兵庫県宝塚市高台上の池北28—1　電話宝塚2153
大阪連絡所　大阪市東区船越町2—31(船越ビル)
電話㊾2626(直通)・9231(ビル代表)
出張所電話　名古屋㉜1331・仙台③0721・札幌⑤7171

仕様書型録贈呈

ウォータイト式防水工事代行店電話
ウォータイト工業　東京㊸0874・安藤工事　福岡③5765
大三工業　高松②8697・豊水建材　広島④3567

紫綬褒章に輝く

JIS合格モルタルコンクリート用

特許特マノール防水剤

特許マノール急結剤　特許マノール接着剤

八幡メタルホームKK推奨品

責任・施工・請負

株式会社　油脂化工社

取締役社長　矢中龍次郎

本社　東京都品川区二葉町1—441　電話荏原㊽1715
大阪営業所　大阪市東成区西今里町2—48　電話㊿4765・0063

昭和二十四年三月十九日
第三種郵便物認可

昭和三十四年六月二十日印刷
昭和三十四年六月廿五日発行（毎月廿五日発行）

エハラ・ターボ冷凍機
ねのくちポンプ



株式會社
荏原製作所

明るい床材
三星プラスタイル
(3.2耗厚)

三星アスファルトタイル
(3.2耗厚)
三星Pタイル
(2耗厚)
三星マチスタイル
(3.2耗厚)
三星ソフトタイル
(3.2耗厚)

★ 各製品毎のカタログ見本御請求下さい

三星ルーフィングの
田島応用化工株式会社

東京・東京都足立区小台町633　TEL 王子(91)代表1181
大阪・大阪市西区京町堀上通1～14　TEL 土佐堀(44)代表1773

売価　一部　金百八十円（送料共）

御入会の御申込は……

「建築と社会」発行所　社団法人 日本建築協会　大阪市東区北浜3—37　電話北浜㉓ 9648・9649・9640
振替口座大阪 39975番